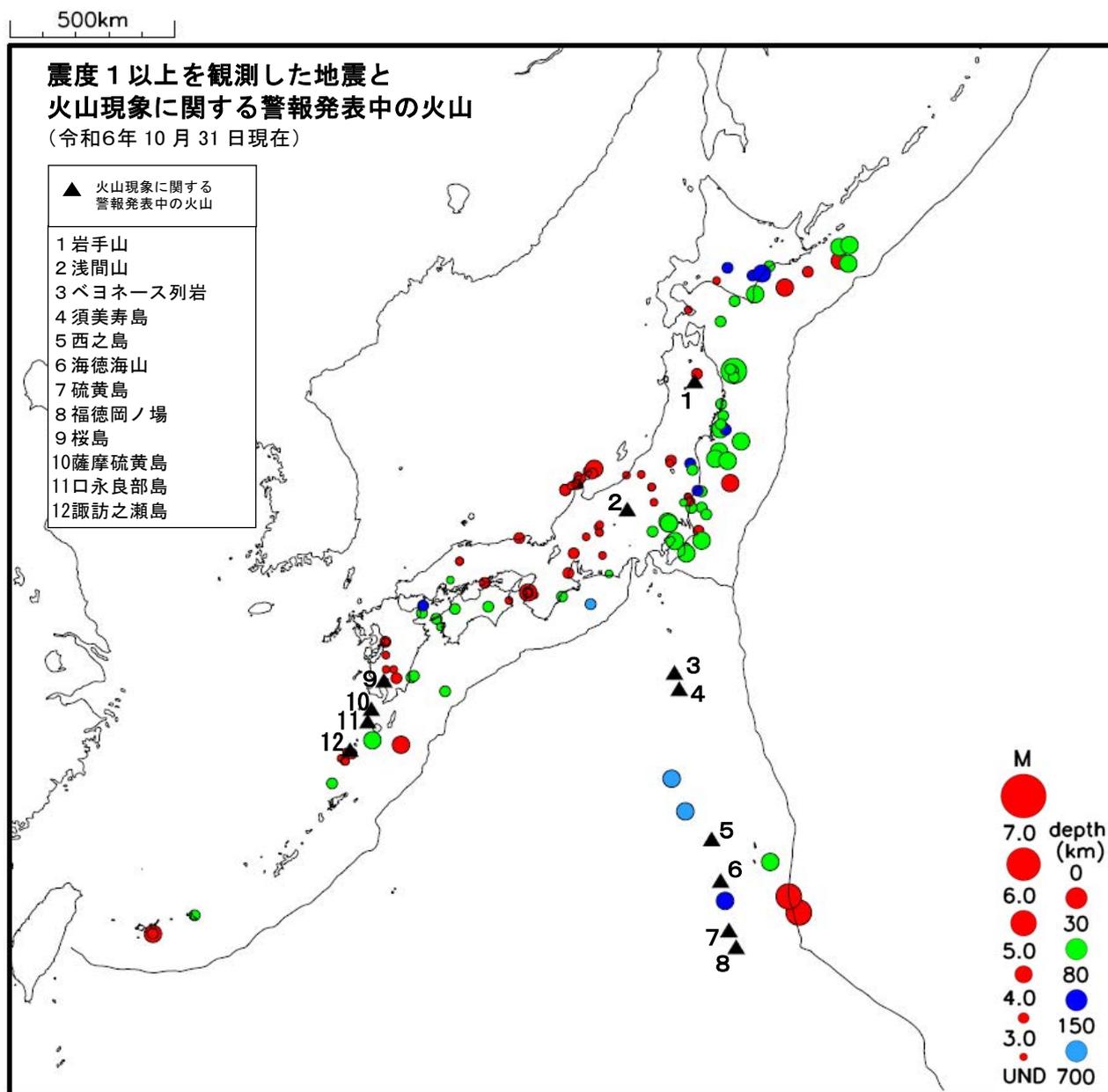


令和6年 10 月 地震・火山月報(防災編)

Monthly Report on Earthquakes and Volcanoes in Japan

October 2024



気 象 庁

Japan Meteorological Agency

令和6年10月 地震・火山月報（防災編）

※ 本資料中のデータについて

気象庁では、平成9年11月10日より、国・地方公共団体及び住民が一体となった緊急防災対応の迅速かつ円滑な実施に資するため、気象庁の震度計の観測データに合わせて地方公共団体*及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものも震度情報として発表している。

また、気象庁では、地震防災対策特別措置法の趣旨に沿って、平成9年10月1日より、大学や国立研究開発法人防災科学技術研究所等の関係機関から地震観測データの提供を受け**、文部科学省と協力してこれを整理し、整理結果等を、同法に基づいて設置された地震調査研究推進本部地震調査委員会に提供するとともに、気象業務の一環として防災情報として適宜発表する等活用している。

注* 令和6年10月31日現在：北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、札幌市（北海道）、千葉市（千葉県）、横浜市（神奈川県）、川崎市（神奈川県）、相模原市（神奈川県）、名古屋市（愛知県）、京都市（京都府）の47都道府県、7政令指定都市。

注** 令和6年10月31日現在：国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

※ 本資料中の図について

本資料中の地図は、『数値地図25000（行政界・海岸線）』（国土地理院）を加工して作成した。

また、一部の図版作成にはGMT(Generic Mapping Tool[Wessel, P., and W.H.F.Smith, New, improved version of Generic Mapping Tools released, *EOS Trans. Amer. Geophys. U.*, vol.79 (47), pp.579, 1998])を使用した。

※ 本資料利用上の注意

・資料中の語句について

M：マグニチュード（通常、揺れの最大振幅から推定した気象庁マグニチュードだが、気象庁CMT解のモーメントマグニチュードの場合がある。）

Mw：モーメントマグニチュード（特にことわりがない限り、気象庁CMT解のモーメントマグニチュードを表す。）

depth：深さ（km）

UND：マグニチュードの決まらない地震が含まれていることを意味する。

N= xx, yy/ZZ：図中に表示している地震の回数を表す（通常図の右上に示してある）。ZZは回数の総数を表し、xx, yyは期間別に示色を変更している場合に、期間毎の回数を表す。

・発震機構解について

発震機構解の図は下半球投影である。また、特にことわりがない限り、P波初動による発震機構解である。初動発震機構解が求められない場合や、十分な精度が得られない場合には、初動発震機構解に替えてCMT解を掲載する場合がある。なお、CMT解はベストダブルカップル解を示す。

・発震機構解の図中の語句について

P：P軸（圧力軸） T：T軸（張力軸） N：N軸（中立軸）

・Global CMT解について

Global CMT解は、米国のコロンビア大学とハーバード大学で行っている、世界で発生した規模の大きな地震のCMT解を求めるプロジェクト（Global CMT Project）により求められた解である。

・M-T図について

縦軸にマグニチュード（M）、横軸に時間（T）を表示した図で、地震活動の経過を見るために用いる。

・震央地名について

本資料での震央地名は、原則として情報発表時に使用したものをを用いるが、震央を精査した結果により、情報発表時とは異なる震央地名を用いる場合がある。なお、情報発表時の震央地名及びその領域については、各年の「地震・火山月報(防災編)」1月号の付録「地震・火山月報(防災編)で用いる震央地名」を参照のこと。

・震源と震央について

震源とは地震の発生原因である地球内部の岩石の破壊が開始した点であり、震源の真上の地点を震央という。

・地震の震源要素等について

2016年4月1日以降の震源では、Mの小さな地震は、自動処理による震源を表示している場合がある。自動処理による震源は、震源誤差の大きなものが表示されることがある。

2020年9月以降に発生した地震を含む図については、2020年8月以前までに発生した地震のみによる図と比較して、日本海溝海底地震津波観測網（S-net）や紀伊水道沖の地震・津波観測監視システム（DONET2）による海域観測網の観測データの活用、震源計算処理における海域速度構造の導入及び標高を考慮した震源決定等それまでのデータ処理方法との違いにより、震源の位置や決定数に見かけ上の変化がみられることがある。

震源の深さを「CMT解による」とした場合は、気象庁CMT解のセントロイドの深さをを用いている。

地震の震源要素、発震機構解、震度データ等は、再調査後、修正することがある。確定した値、算出方法については地震月報（カタログ編）[気象庁ホームページ：<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/bulletin/index.html>]に掲載する。

なお、本誌で使用している震源位置・マグニチュードは世界測地系（Japanese Geodetic Datum 2000）に基づいて計算したものである。

・火山の活動解説の火山性地震回数等について

火山性地震や火山性微動の回数等は、再調査後、修正することがある。確定した値については、火山月報（カタログ編）[気象庁ホームページ：https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/bulletin/index_vcatalog.html]に掲載する。

目次

● 日本及びその周辺での主な地震活動	1
北海道地方の地震活動	4
東北地方の地震活動	5
最近の日本海溝・千島海溝周辺の地震活動	7
関東・中部地方の地震活動	8
近畿・中国・四国地方の地震活動	16
九州地方の地震活動	18
沖縄地方の地震活動	19
その他の地域の地震活動	20
● 南海トラフ周辺の地殻活動	21
● 日本の主な火山活動	24
北海道地方の火山活動	35
東北地方の火山活動	37
関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島の火山活動	39
近畿・中国・四国地方の火山活動	43
九州地方の火山活動	44
沖縄地方の火山活動	48
火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報等の発表履歴	49
● 世界の主な地震	51
● 世界の主な火山活動	53
● 付録	
1. 震度1以上を観測した地震の表	54
2. 過去1年間に震度1以上を観測した地震の最大震度別の月別回数	71
3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード（M）別の月別地震回数	72
4. 長周期地震動階級1以上を観測した地震	73
5. 緊急地震速報の提供状況	74

● 日本及びその周辺での主な地震活動

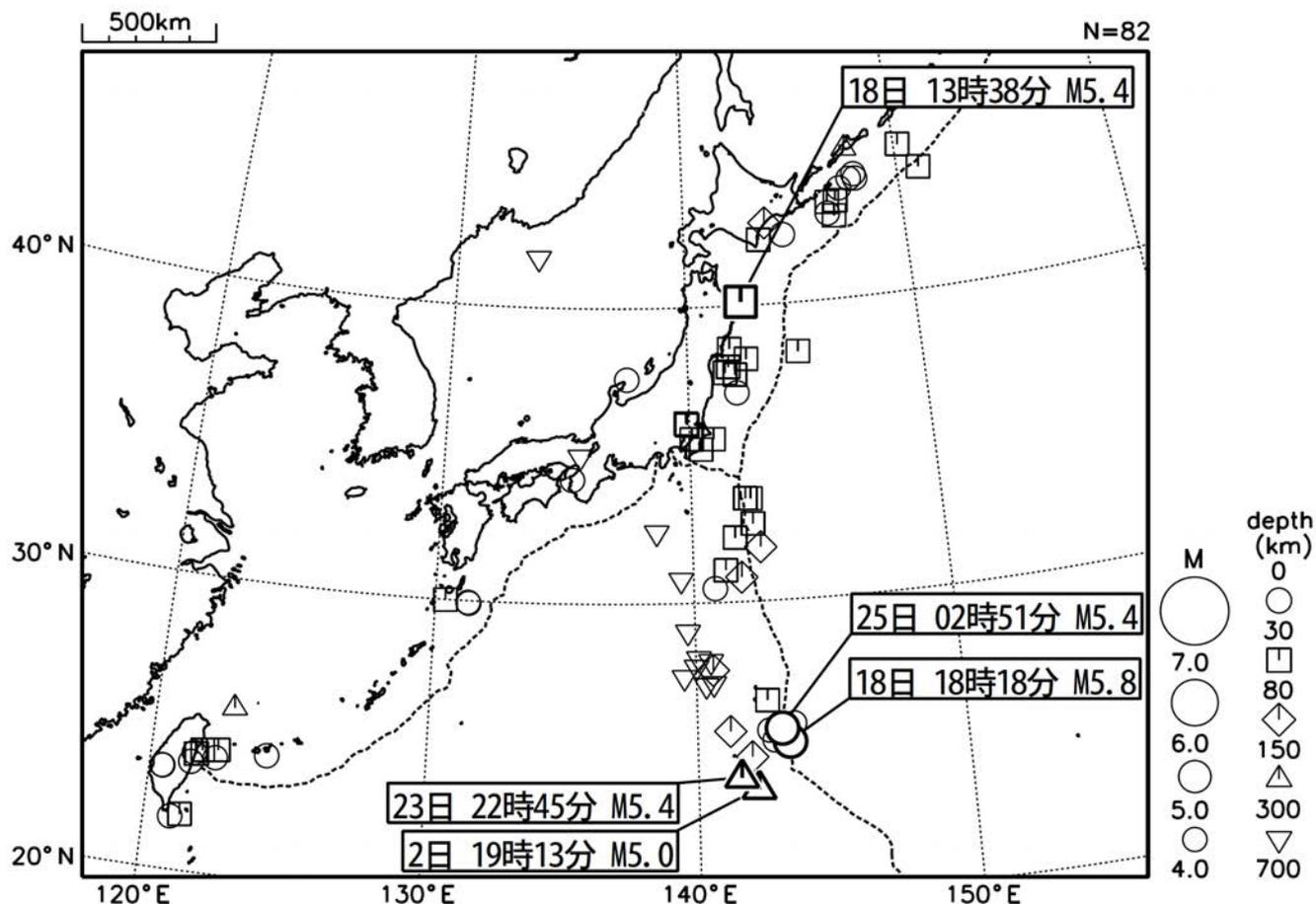


図1 令和6年10月に日本及びその周辺で発生した M4.0 以上の地震の震央分布図

(図中に日時分、マグニチュードを付した地震は M5.0 以上の地震、または M4.0 以上で最大震度 5 弱以上を観測した地震である。)

令和6年(2024年)10月に日本国内で震度4以上を観測した地震はなく(9月は3回)、日本及びその周辺で発生した M4.0 以上の地震の回数は 82 回(9月は 94 回^(注1))であった(図1)。

10月中に発生した主な地震を表1、震度1以上を観測した地震の震央を図2、M4.0 以上の地震の震央を図3に示す。10月中に震度5弱以上を観測した地震及び津波を観測した地震はなかった(9月は震度5弱以上を観測した地震はなく、津波を観測した地震は1回であった)。

(注1) 9月24日の鳥島近海の地震(M5.8)を含む。この地震は震源決定精度がやや劣るものである。

令和6年10月 地震・火山月報（防災編）

表1 令和6年10月に日本及びその周辺で発生した主な地震（注1）（注2）（注3）

No.	震源時 月 日 時 分	震央地名	M	Mw (注4)	M H S T (注5)	最大震度・被害状況等（注6）	掲載 ページ
1	10 14 19 45	東京湾（注7）	4.5	4.6	・ ・ ・ ・	3：埼玉県 草加市中央＊ 朝霞市本町＊ など1都3県40地点	15
2	10 18 13 38	岩手県沖	5.4	5.2	・ ・ ・ ・	3：青森県 八戸市南郷＊ 五戸町古館 など2県9地点	6
3		「令和6年能登半島地震」の地震活動			・ ・ ・ ・	「令和6年能登半島地震」の地震活動 10月中に震度1以上を観測した地震が14回 (震度2：6回、震度1：8回)	9～14
4		和歌山県北部の地震活動			・ ・ ・ ・	10月23日からの和歌山県北部の地震活動 10月中に震度1以上を観測した地震が12回 (震度3：1回、震度2：4回、震度1：7回)	17

- (注1) 主な地震とは、図1の領域内で発生した①M6.0以上、②震度4以上、③内陸M4.5以上かつ震度3、④海域M5.0以上かつ震度3、⑤その他注目した地震を指す。
- (注2) 震源時、震央地名、マグニチュードは再調査後、修正することがある。
- (注3) 空欄については、複数の地震による活動のため、記載していない場合がある。
- (注4) Mw欄の「-」はMwが求められていないことを示す。
- (注5) M H S Tの各項目について、M:M6.0以上の地震、H:被害を伴った地震、S:震度4以上を観測した地震、T:津波を観測した地震、として該当項目にそれぞれの記号を記した。
- (注6) 最大震度の観測点名にある＊印は地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点であることを表す。被害状況について出典の記載がないものは総務省消防庁による。
- (注7) 情報発表で用いた震央地名は「千葉県北西部」である。

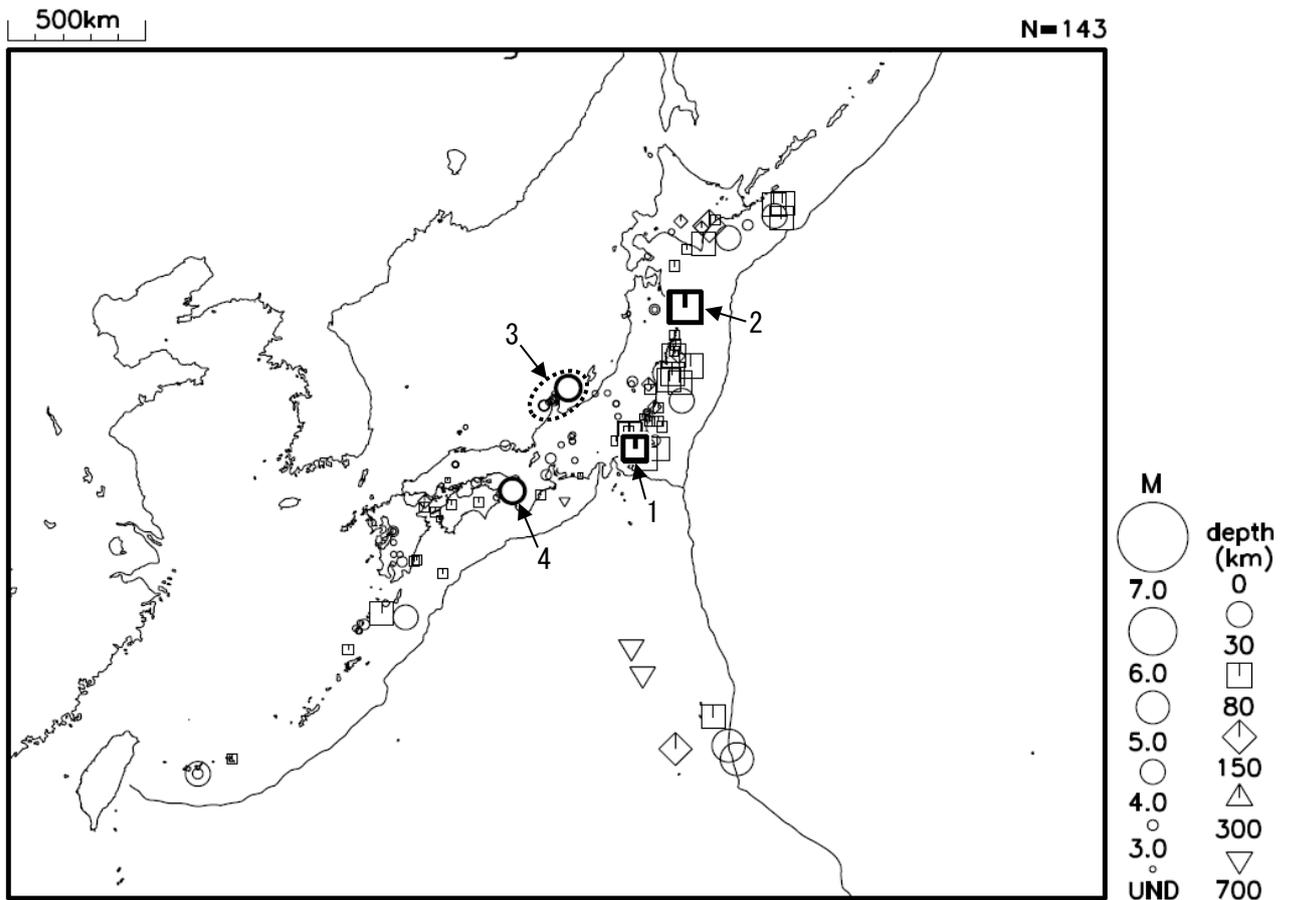


図2 令和6年10月に震度1以上を観測した地震（図中の番号は、表の番号に対応）

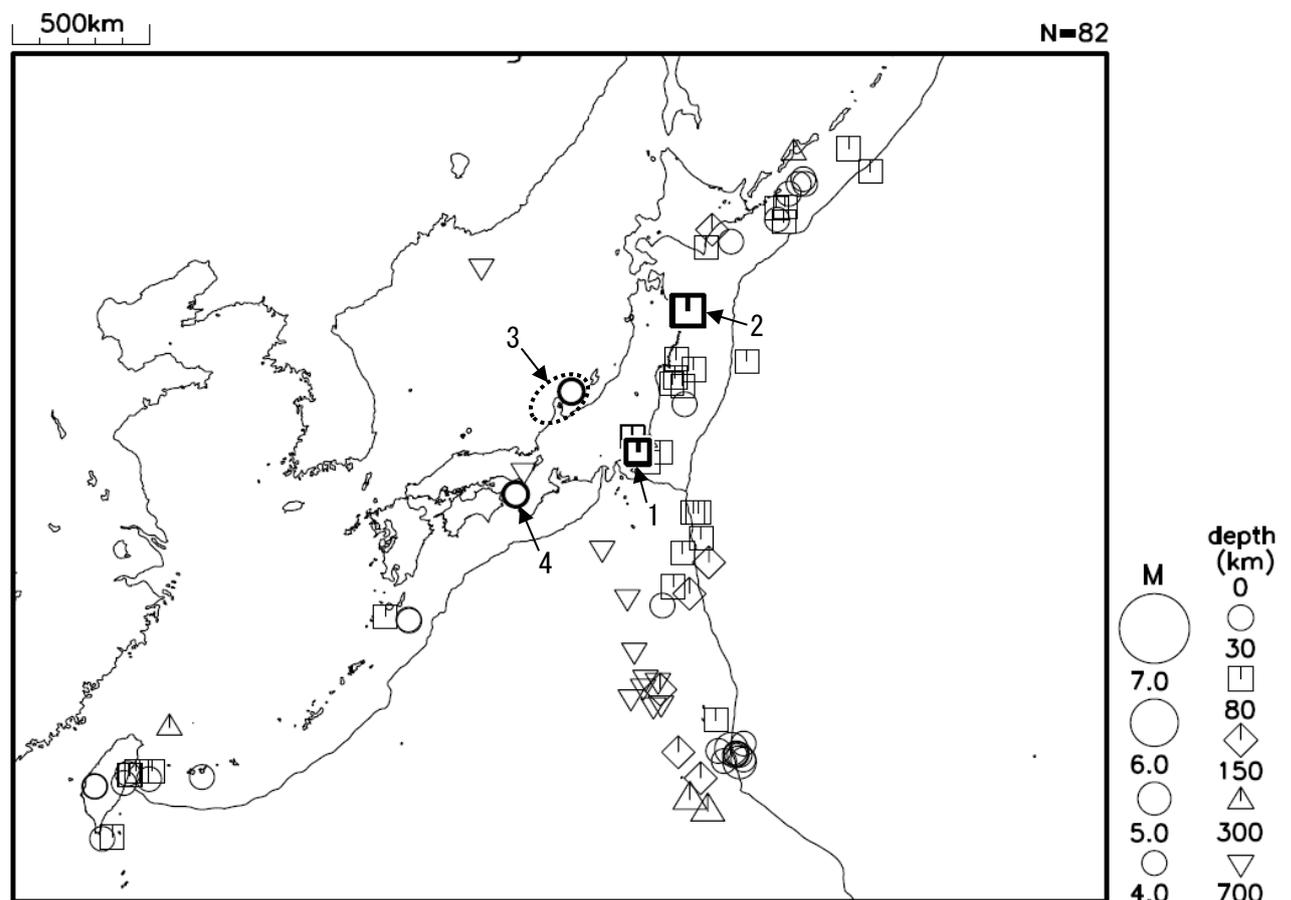


図3 令和6年10月に発生したM4.0以上の地震（図中の番号は、表の番号に対応）

○北海道地方の地震活動

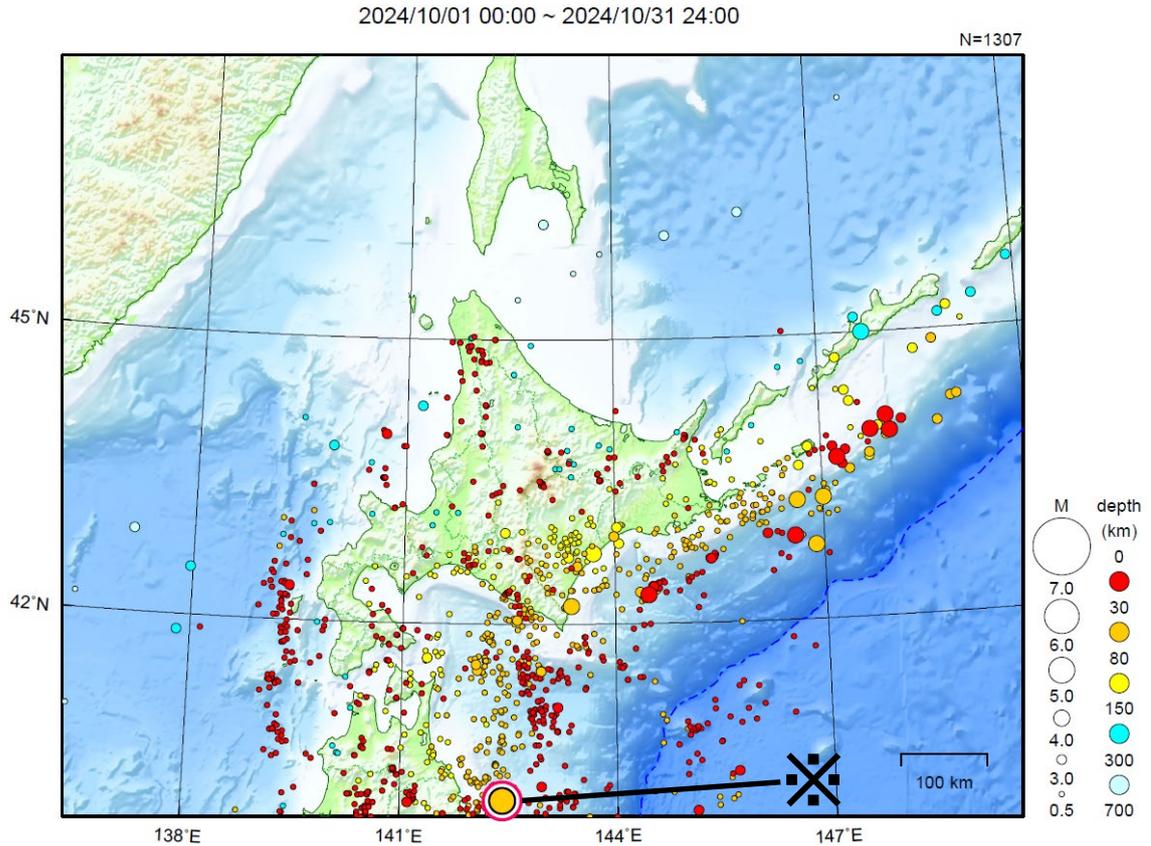


図4 北海道地方の震央分布図（2024年10月1日～10月31日、 $M \geq 0.5$ ）

地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030及び米国国立地球物理データセンターのETOP02v2を使用

[概況]

10月に北海道地方で震度1以上を観測した地震は16回（9月は16回）であった。

10月中、特に目立った活動はなかった。

※ 東北地方の地震活動を参照（p. 5、6 参照）。

○東北地方の地震活動

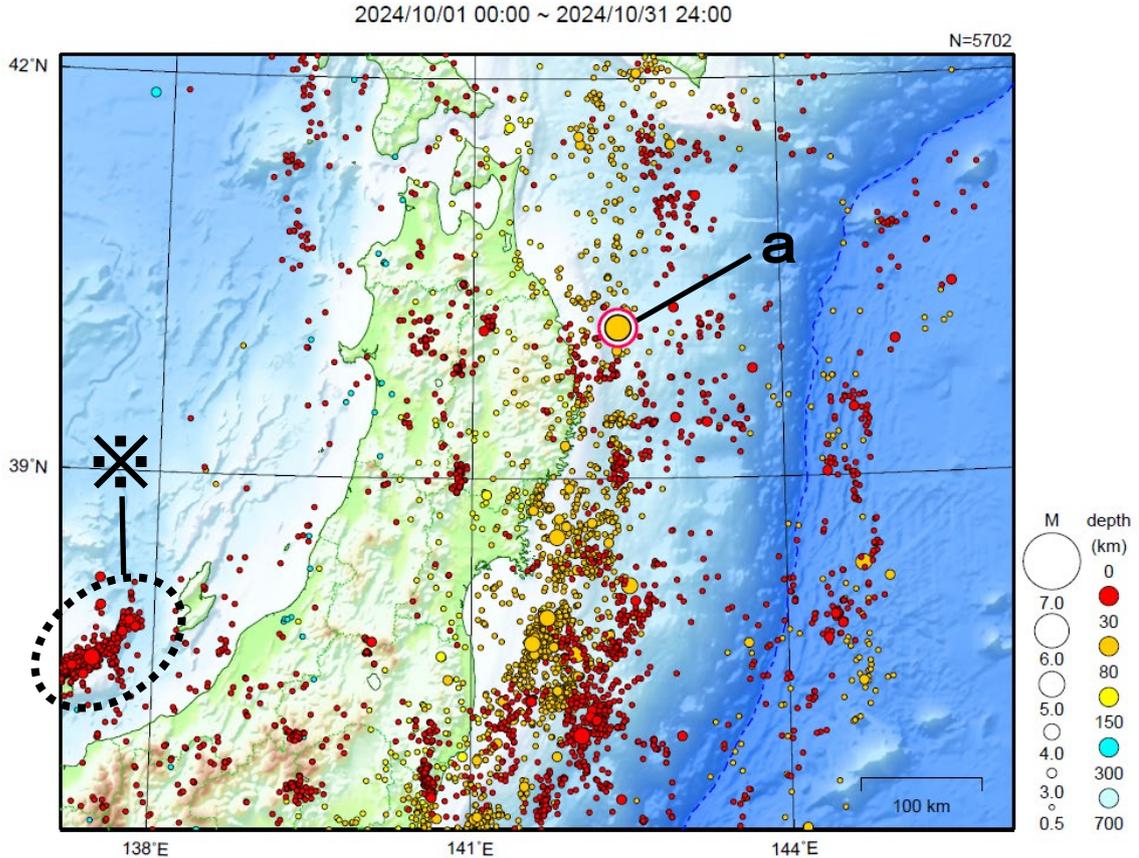


図5 東北地方の震央分布図（2024年10月1日～10月31日、 $M \geq 0.5$ ）

地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030及び米国国立地球物理データセンターのETOP02v2を使用

[概況]

10月に東北地方で震度1以上を観測した地震は30回（9月は28回）であった。
 10月中の主な活動は次のとおりである。

- a 18日13時38分に岩手県沖の深さ40kmでM5.4の地震が発生し、青森県及び岩手県で震度3を観測したほか、北海道及び東北地方で震度2～1を観測した（p.6参照）。

※ 関東・中部地方の地震活動を参照（p.8～14参照）。

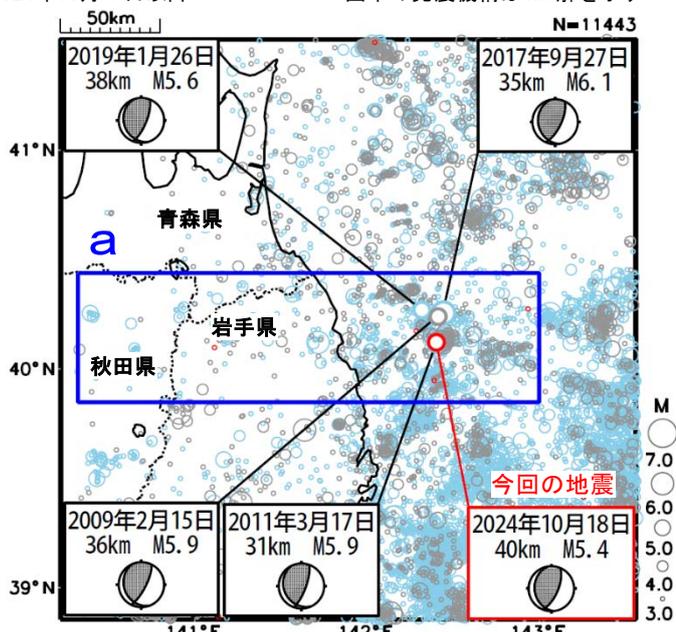
10月18日 岩手県沖の地震

震央分布図

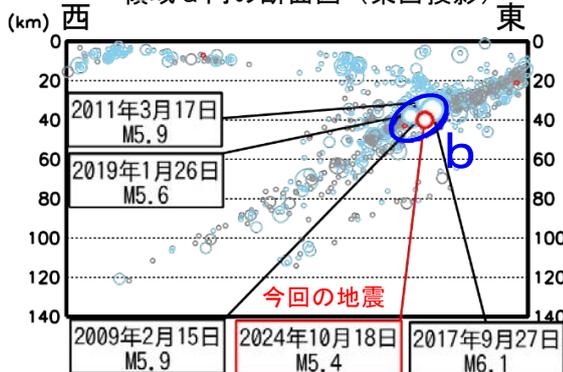
(1997年10月1日～2024年10月31日、
深さ0～140km、 $M \geq 3.0$)

- 1997年10月1日～2011年2月28日
- 2011年3月1日～2024年9月30日
- 2024年10月1日以降

図中の発震機構はCMT解を示す



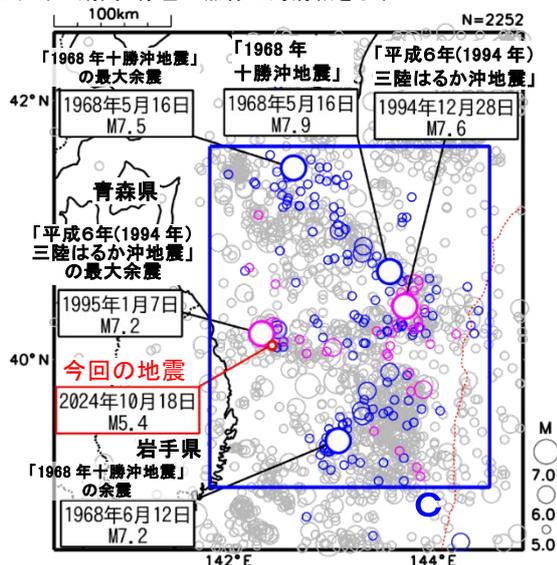
領域 a 内の断面図 (東西投影)



震央分布図

(1919年1月1日～2024年10月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)

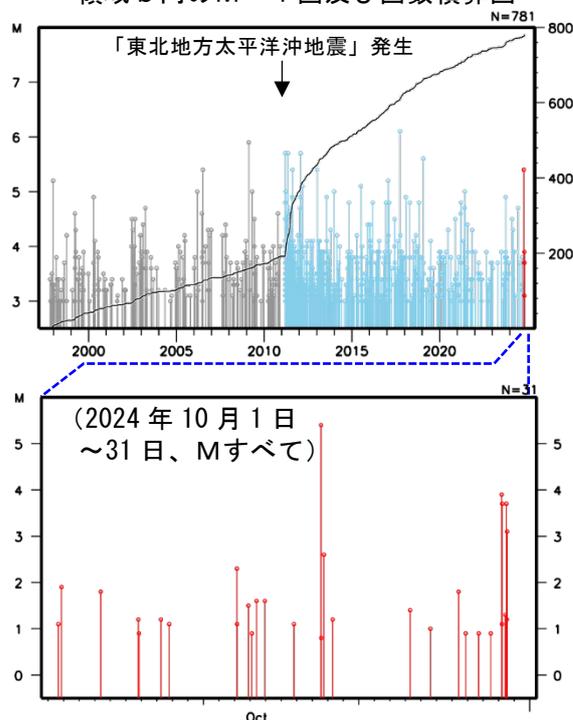
- 1968年5月1日～7月31日
- 1994年12月1日～1995年2月28日
- 2024年10月1日以降
- 上記以外の期間 赤色の点線は海溝軸を示す



2024年10月18日13時38分に岩手県沖の深さ40kmでM5.4の地震（最大震度3）が発生した。この地震の発震機構（CMT解）は西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。今回の地震の震源付近では、30日にM3.9の地震が1回、M3.7の地震が2回（いずれも最大震度1）発生した。

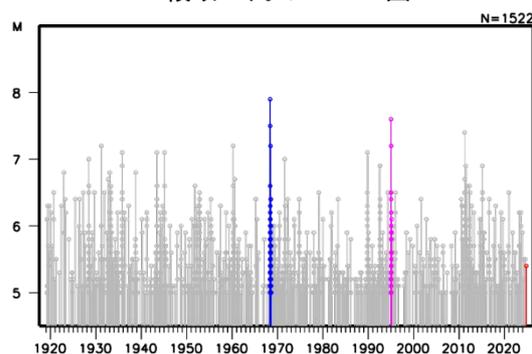
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）は「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」（以下、「東北地方太平洋沖地震」）の発生以降、地震活動が活発で、M5～6程度の地震が時々発生しており、2017年9月27日にはM6.1の地震（最大震度4）が発生した。

領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、1968年5月16日に「1968年十勝沖地震」（M7.9、最大震度5、死者52人）や、1994年12月28日に「平成6年（1994年）三陸はるか沖地震」（M7.6、最大震度6、死者3人）が発生するなどM7を超える地震が時々発生している（被害は「日本被害地震総覧」による）。

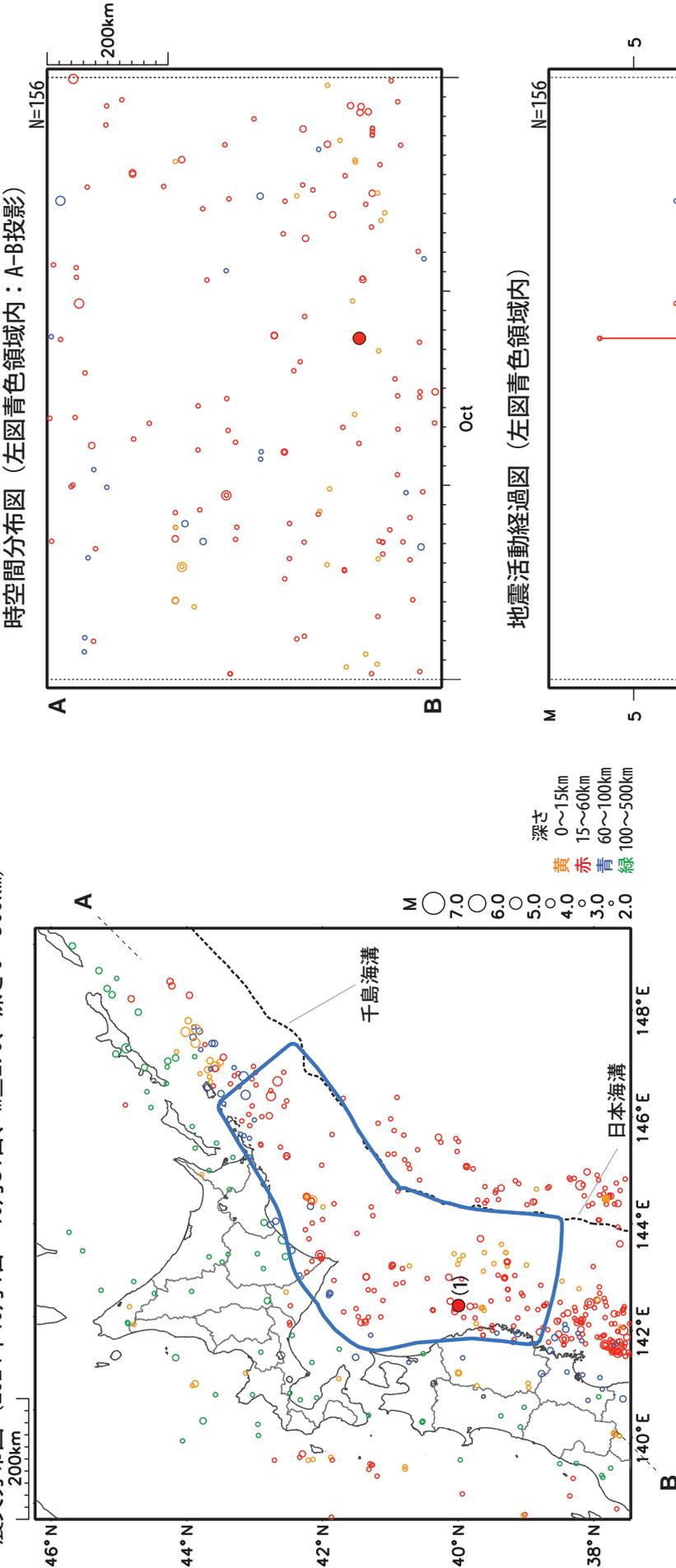
領域 c 内の M-T 図



最近の日本海溝・千島海溝周辺の地震活動

2024年10月1日～10月31日

震央分布図（2024年10月1日～10月31日、M \geq 2.0、深さ0～500km）



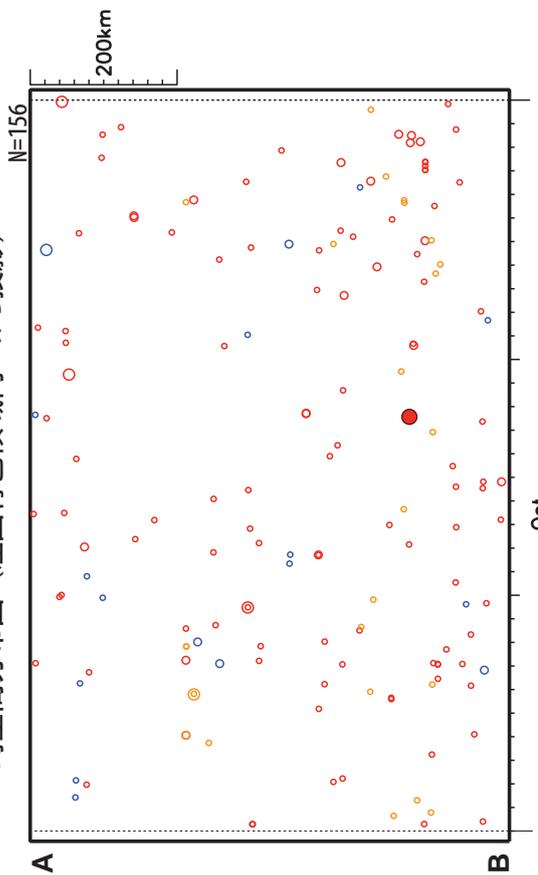
青の実線は日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震の想定震源域のうちの「日高・三陸沖」及び「十勝・根室沖」の領域です。震源時、震央地名、マグニチュード等は、再調査により修正することがあります。

[主な地震活動]

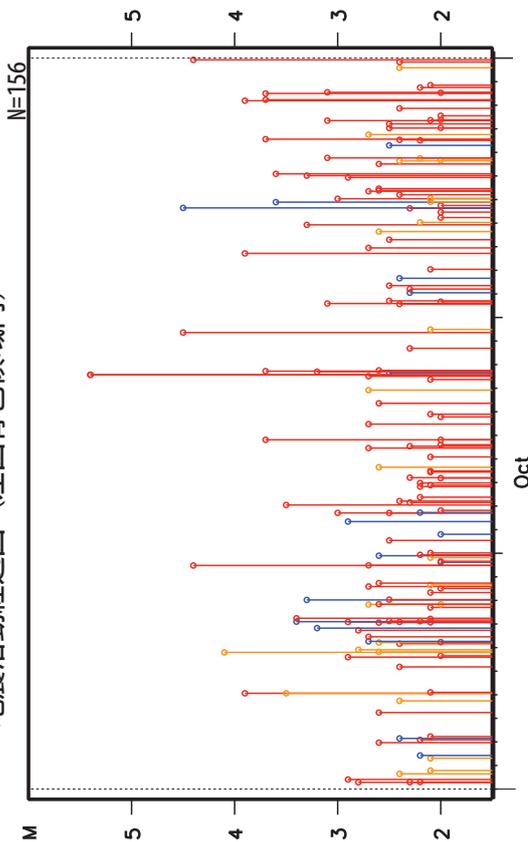
- ・上図青色領域内で発生したM5.0以上の地震（最大5つ）
- ・近接して発生した地震については、最大規模の地震のみ記載

●(1) 10月18日 13時38分 M5.4 最大震度3 岩手県沖

時空間分布図（左図青色領域内：A-B投影）



地震活動経過図（左図青色領域内）



○関東・中部地方の地震活動

2024/10/01 00:00 ~ 2024/10/31 24:00

N=7374

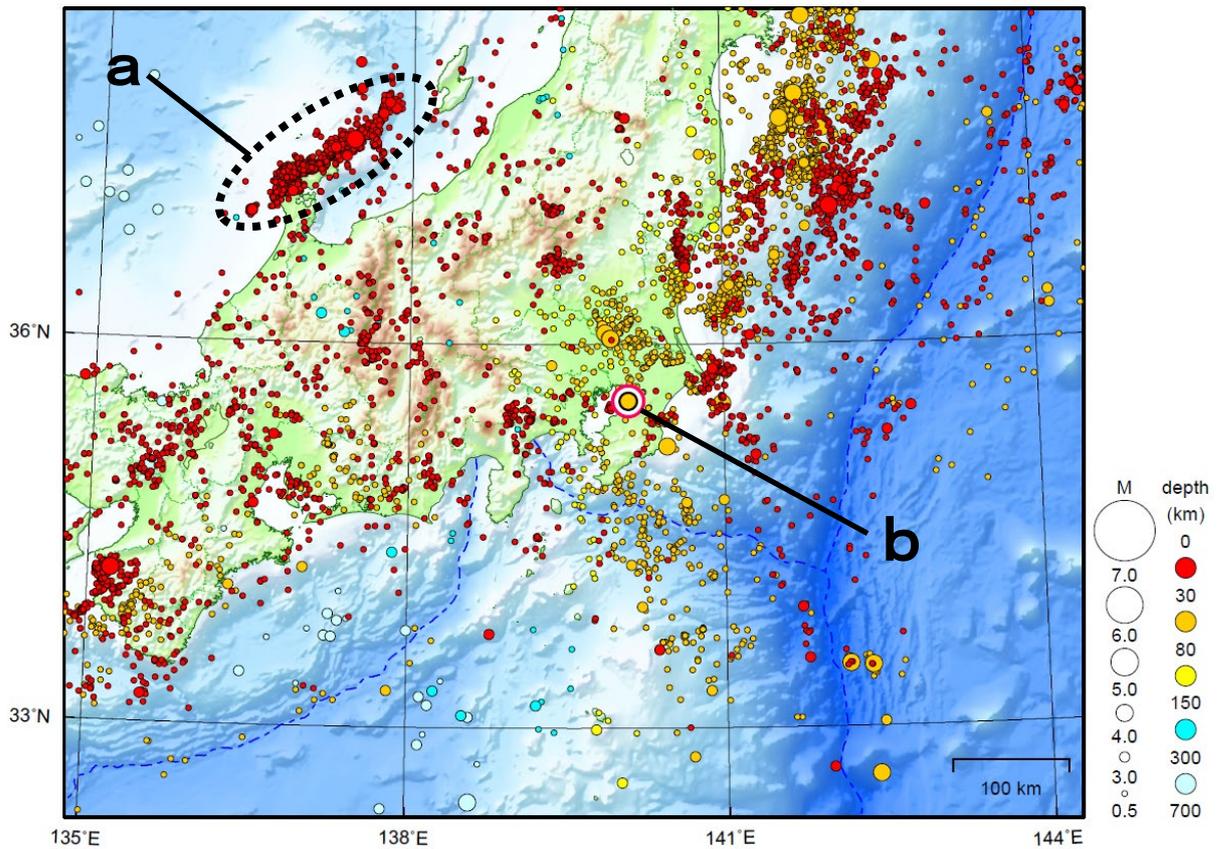


図6 関東・中部地方の震央分布図（2024年10月1日～10月31日、 $M \geq 0.5$ ）

地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030及び米国国立地球物理データセンターのETOP02v2を使用

【概況】

10月に関東・中部地方（三重県を含む）で震度1以上を観測した地震は57回（9月は52回）であった。

10月中の主な活動は次のとおりである。

- a 「令和6年能登半島地震」の地震活動域では、10月中に震度1以上を観測した地震が14回（震度2：6回、震度1：8回）発生した。このうち最大規模の地震は、9日20時19分に能登半島沖の深さ14kmで発生したM4.3の地震で、富山県及び石川県で震度2を観測したほか、北陸地方で震度1を観測した（p.9～14参照）。
- b 14日19時45分に東京湾の深さ71kmでM4.5の地震が発生し、関東地方南部で震度3を観測したほか、関東甲信地方、静岡県及び伊豆諸島で震度2～1を観測した（p.15参照）。
情報発表に用いた震央地名は〔千葉県北西部〕である。

「令和6年能登半島地震」の地震活動

震央分布図

(2020年12月1日～2024年10月31日、
深さ0～30km、 $M \geq 3.0$)

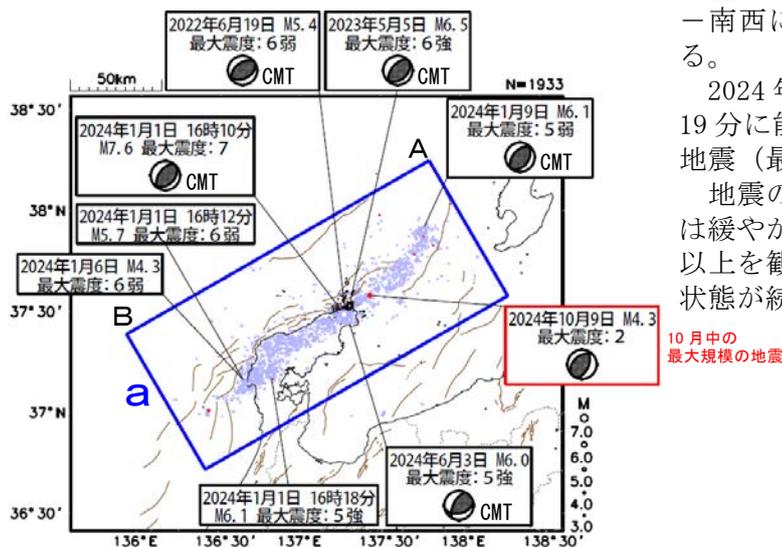
震源のプロット

黒色 2020年12月1日～2023年12月31日

水色 2024年1月1日～9月30日

赤色 2024年10月1日～31日

吹き出しは最大震度6弱以上の地震、 $M6.0$ 以上の地震
及び10月中の最大規模の地震



図中の茶色の線は、地震調査研究推進本部の
長期評価による活断層を示す。

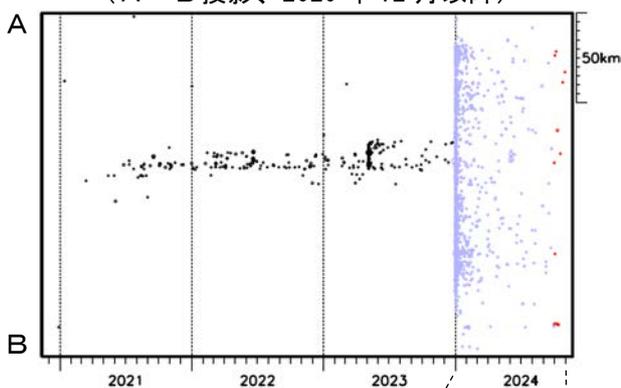
能登半島では2020年12月から地震活動が活発になっており、2023年5月5日には $M6.5$ の地震 (最大震度6強) が発生していた。2023年12月までの活動域は、能登半島北東部の概ね30km四方の範囲であった。

2024年1月1日16時10分に石川県能登地方の深さ16kmで $M7.6$ (最大震度7) の地震が発生した後、地震活動はさらに活発になり、活動域は、能登半島及びその北東側の海域を中心とする北東-南西に延びる150km程度の範囲に広がっている。

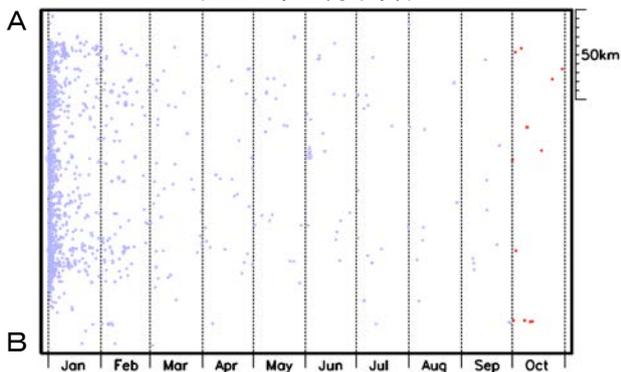
2024年10月中の最大規模の地震は、9日20時19分に能登半島沖の深さ14kmで発生した $M4.3$ の地震 (最大震度2) である。

地震の発生数は増減を繰り返しながら大局的には緩やかに減少してきているが、10月中に震度1以上を観測した地震が14回発生するなど活発な状態が続いている。

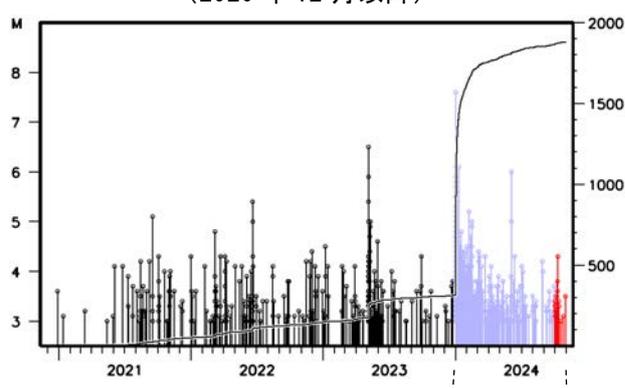
領域a内の時空間分布図
(A-B投影、2020年12月以降)



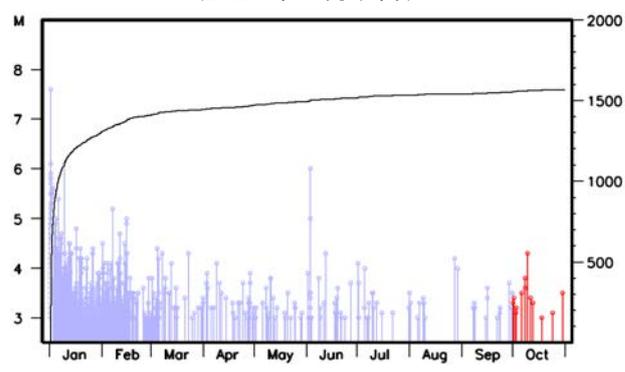
(2024年1月以降)



領域a内のM-T図及び回数積算図
(2020年12月以降)



(2024年1月以降)



令和6年10月 地震・火山月報（防災編）

令和6年10月31日24時現在

「令和6年能登半島地震」の最大震度別地震回数表

（注）掲載している値は速報のもので、その後の調査で変更する場合がある。

【令和6年1月1日以降の日別発生回数】

日別	最大震度別回数										震度1以上を 観測した回数		備考
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	回数	累計		
1/1	131	134	66	19	4	4	1	0	0	1	360	360	
1/2	266	98	37	8	1	1	0	0	0	0	411	771	
1/3	116	39	16	4	0	2	0	0	0	0	177	948	
1/4	60	17	5	3	0	0	0	0	0	0	85	1033	
1/5	57	19	9	1	0	0	0	0	0	0	86	1119	
1/6	37	13	3	1	0	1	1	0	0	0	56	1175	
1/7	19	11	3	3	0	0	0	0	0	0	36	1211	
1/8	19	11	1	0	0	0	0	0	0	0	31	1242	
1/9	25	4	2	0	1	0	0	0	0	0	32	1274	
1/10	30	3	2	0	0	0	0	0	0	0	35	1309	
1/11	13	5	2	0	0	0	0	0	0	0	20	1329	
1/12	21	2	2	1	0	0	0	0	0	0	26	1355	
1/13	14	3	0	1	0	0	0	0	0	0	18	1373	
1/14	15	4	1	0	0	0	0	0	0	0	20	1393	
1/15	5	7	0	0	0	0	0	0	0	0	12	1405	
1/16	13	5	1	1	1	0	0	0	0	0	21	1426	
1/17	9	1	1	0	0	0	0	0	0	0	11	1437	
1/18	9	2	0	0	0	0	0	0	0	0	11	1448	
1/19	12	3	2	2	0	0	0	0	0	0	19	1467	
1/20	8	1	0	0	0	0	0	0	0	0	9	1476	
1/21	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	6	1482	
1/22	8	2	1	0	0	0	0	0	0	0	11	1493	
1/23	5	1	2	0	0	0	0	0	0	0	8	1501	
1/24	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	4	1505	
1/25	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	6	1511	
1/26	8	0	1	1	0	0	0	0	0	0	10	1521	
1/27	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	7	1528	
1/28	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	1534	
1/29	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	1542	
1/30	7	2	1	0	0	0	0	0	0	0	10	1552	
1/31	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	6	1558	
2/1	9	2	2	0	0	0	0	0	0	0	13	1571	
2/2	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	5	1576	
2/3	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	6	1582	
2/4	4	1	1	0	0	0	0	0	0	0	6	1588	
2/5	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1593	
2/6	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	1595	
2/7	6	1	0	1	0	0	0	0	0	0	8	1603	
2/8	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	6	1609	
2/9	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1614	
2/10	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	7	1621	
2/11	1	4	0	1	0	0	0	0	0	0	6	1627	
2/12	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	6	1633	
2/13	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1634	
2/14	6	1	0	1	0	0	0	0	0	0	8	1642	
2/15	3	2	2	0	0	0	0	0	0	0	7	1649	
2/16	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1654	
2/17	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	4	1658	
2/18	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	6	1664	
2/19	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1667	
2/20	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1671	
2/21	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	4	1675	
2/22	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1676	
2/23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1676	
2/24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1676	
2/25	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1680	
2/26	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1683	
2/27	8	0	2	0	0	0	0	0	0	0	10	1693	
2/28	5	0	1	0	0	0	0	0	0	0	6	1699	
2/29	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1702	
3/1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1704	
3/2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1706	
3/3	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1711	
3/4	0	4	1	0	0	0	0	0	0	0	5	1716	
3/5	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1720	
3/6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1722	
3/7	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4	1726	
3/8	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1728	
3/9	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1731	
3/10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1731	

令和6年10月 地震・火山月報（防災編）

3/11	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1734
3/12	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1735
3/13	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1737
3/14	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	1743
3/15	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1745
3/16	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1748
3/17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1748
3/18	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1749
3/19	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1751
3/20	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1752
3/21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1752
3/22	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1753
3/23	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1756
3/24	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1759
3/25	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1762
3/26	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1764
3/27	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1765
3/28	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1766
3/29	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1768
3/30	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1770
3/31	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1772
4/1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1772
4/2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1775
4/3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1776
4/4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1776
4/5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1777
4/6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1778
4/7	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1780
4/8	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1781
4/9	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	1787
4/10	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1789
4/11	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1792
4/12	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1793
4/13	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1795
4/14	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1796
4/15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1796
4/16	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1797
4/17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1797
4/18	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1798
4/19	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1800
4/20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1800
4/21	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1804
4/22	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1805
4/23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1805
4/24	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1806
4/25	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1808
4/26	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1810
4/27	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1811
4/28	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1813
4/29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1813
4/30	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1817
5/1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1820
5/2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1820
5/3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1821
5/4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1822
5/5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1822
5/6	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1823
5/7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1823
5/8	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1824
5/9	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1825
5/10	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1828
5/11	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1829
5/12	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1830
5/13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1830
5/14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1830
5/15	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1832
5/16	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1834
5/17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1834
5/18	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1835
5/19	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1837
5/20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1837
5/21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1837
5/22	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1838
5/23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1838
5/24	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1839
5/25	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1840
5/26	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1841
5/27	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1842
5/28	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1843
5/29	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1845
5/30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1845
5/31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1845

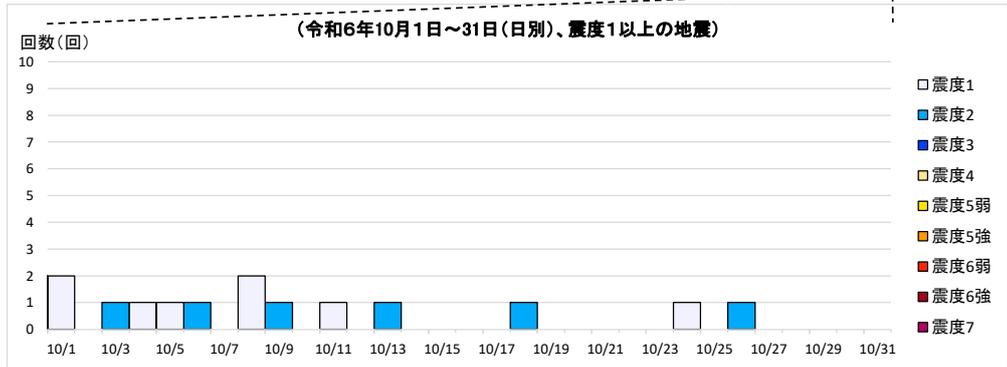
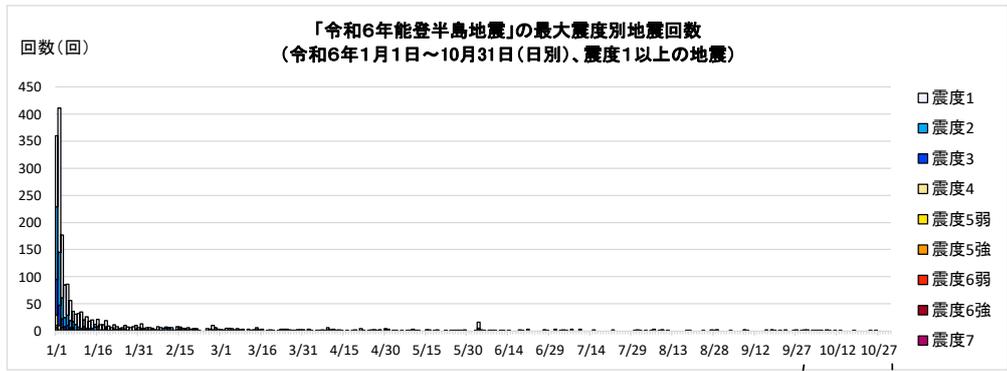
令和6年10月 地震・火山月報（防災編）

6/1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1845
6/2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1846
6/3	11	3	0	1	0	1	0	0	0	0	16	1862
6/4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1864
6/5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1865
6/6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1865
6/7	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1866
6/8	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1867
6/9	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1868
6/10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1868
6/11	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1869
6/12	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1870
6/13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1870
6/14	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1871
6/15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1871
6/16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1871
6/17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1871
6/18	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1873
6/19	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1874
6/20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1874
6/21	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1877
6/22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1877
6/23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1877
6/24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1877
6/25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1877
6/26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1877
6/27	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1879
6/28	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1880
6/29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1880
6/30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1880
7/1	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	1883
7/2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1883
7/3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1884
7/4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1886
7/5	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1887
7/6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1887
7/7	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1890
7/8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1890
7/9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1890
7/10	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1893
7/11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1893
7/12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1893
7/13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1893
7/14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1893
7/15	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1895
7/16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1895
7/17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1895
7/18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1895
7/19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1895
7/20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1895
7/21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1895
7/22	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1897
7/23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1897
7/24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1897
7/25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1897
7/26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1897
7/27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1897
7/28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1897
7/29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1897
7/30	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1898
7/31	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1900
8/1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1901
8/2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1901
8/3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1902
8/4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1902
8/5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1903
8/6	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1906
8/7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1906
8/8	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1907
8/9	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1909
8/10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1909
8/11	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1910
8/12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1910
8/13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1910
8/14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1910
8/15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1910
8/16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1910
8/17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1910
8/18	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1911
8/19	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1912
8/20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1912

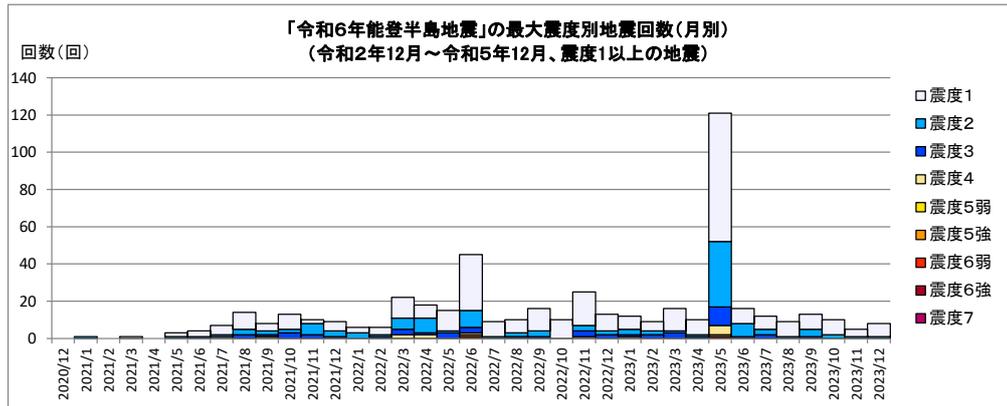
令和6年10月 地震・火山月報（防災編）

8/21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1912
8/22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1912
8/23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1912
8/24	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1913
8/25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1913
8/26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1913
8/27	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1915
8/28	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1916
8/29	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	1918
8/30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1918
8/31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1918
9/1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1918
9/2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1918
9/3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1919
9/4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1919
9/5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1919
9/6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1919
9/7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1919
9/8	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1921
9/9	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1922
9/10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1922
9/11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1922
9/12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1922
9/13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1922
9/14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1922
9/15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1922
9/16	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1924
9/17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1924
9/18	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1926
9/19	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1927
9/20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1927
9/21	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1928
9/22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1928
9/23	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1930
9/24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1930
9/25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1930
9/26	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1931
9/27	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1933
9/28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1933
9/29	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1934
9/30	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1936
10/1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1938
10/2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1938
10/3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1939
10/4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1940
10/5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1941
10/6	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1942
10/7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1942
10/8	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1944
10/9	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1945
10/10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1945
10/11	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1946
10/12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1946
10/13	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1947
10/14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1947
10/15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1947
10/16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1947
10/17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1947
10/18	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1948
10/19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1948
10/20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1948
10/21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1948
10/22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1948
10/23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1948
10/24	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1949
10/25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1949
10/26	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1950
10/27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1950
10/28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1950
10/29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1950
10/30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1950
10/31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1950
総計(1月1日～10月31日)	1215	483	184	49	7	9	2	0	1			1950

令和6年10月 地震・火山月報（防災編）



【令和2(2020)年12月～令和5(2023)年12月の発生回数(月別)】



【令和2(2020)年12月以降の発生回数(年別)】

年別	最大震度別回数										震度1以上を観測した回数		備考
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	回数	累計		
2020/12/1 - 12/31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
2021/1/1 - 12/31	39	19	10	1	1	0	0	0	0	0	70	70	
2022/1/1 - 12/31	130	39	18	6	0	1	1	0	0	0	195	265	
2023/1/1 - 12/31	151	61	21	6	0	1	0	1	0	241	506	2023/6/1～12/31の震度1以上を観測した回数 合計73回 月平均10.4回 月中央値10.0回	
総計(2020～2023)	320	119	49	13	1	2	1	1	0	506	506		

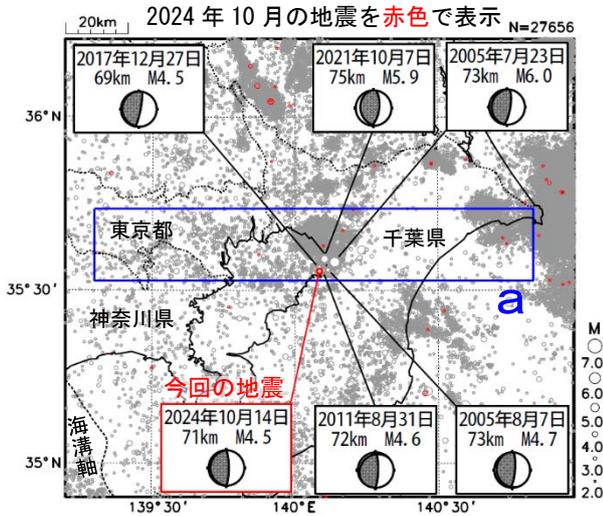
2020～2023	320	119	49	13	1	2	1	1	0	506	506
2024/1/1 - 31	941	395	159	45	7	8	2	0	1	1558	2064
2024/2/1 - 29	95	34	12	3	0	0	0	0	0	144	2208
2024/3/1 - 31	49	17	4	0	0	0	0	0	0	70	2278
2024/4/1 - 30	32	9	4	0	0	0	0	0	0	45	2323
2024/5/1 - 31	20	6	2	0	0	0	0	0	0	28	2351
2024/6/1 - 30	27	5	1	1	0	1	0	0	0	35	2386
2024/7/1 - 31	16	3	1	0	0	0	0	0	0	20	2406
2024/8/1 - 31	13	4	1	0	0	0	0	0	0	18	2424
2024/9/1 - 30	14	4	0	0	0	0	0	0	0	18	2442
2024/10/1 - 31	8	6	0	0	0	0	0	0	0	14	2456
総計(2020/12/1～2024/10/31)	1535	602	233	62	8	11	3	1	1	2456	2456

※2024/1/1以降は地震活動の領域が広がったことから、対象領域を拡大して地震回数をカウントしている。

10月14日 東京湾の地震

情報発表に用いた震央地名は〔千葉県北西部〕である。

震央分布図
(1997年10月1日~2024年10月31日、
深さ0~140km、 $M \geq 2.0$)

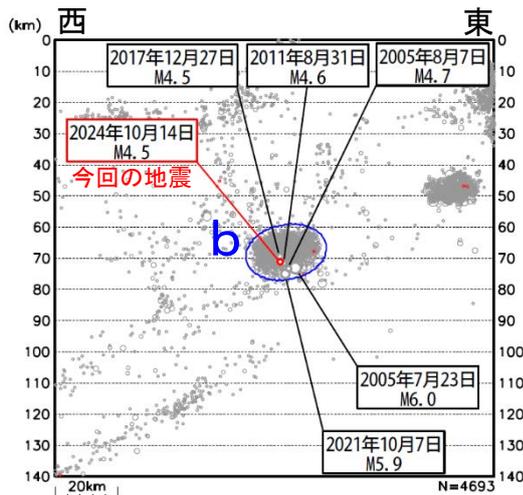


2024年10月14日19時45分に東京湾の深さ71kmでM4.5の地震（最大震度3）が発生した。この地震は、発震機構が東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートとフィリピン海プレートの境界で発生した。

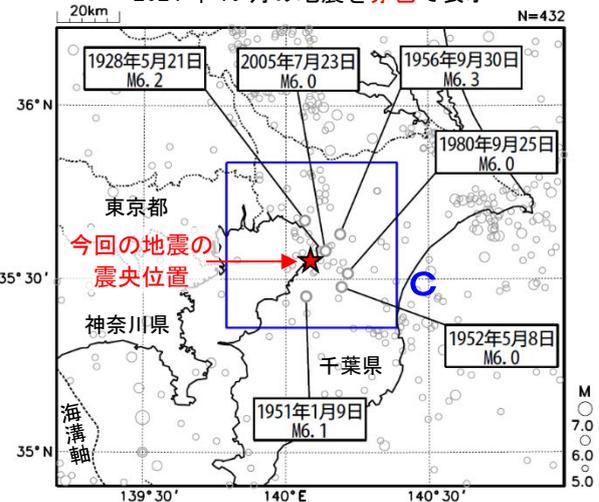
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）は、M5.0以上の地震が時々発生するなど地震活動が活発な領域であり、「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」（以下、「東北地方太平洋沖地震」）発生以降、地震活動がより活発になっている。最近では、2021年10月7日に発生したM5.9の地震（最大震度5強）により、負傷者49人、住家一部破損72棟などの被害が生じた（被害は総務省消防庁による）。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、M6.0以上の地震が時々発生している。1980年9月25日に発生したM6.0の地震（最大震度4）では、死者2人、負傷者73人などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

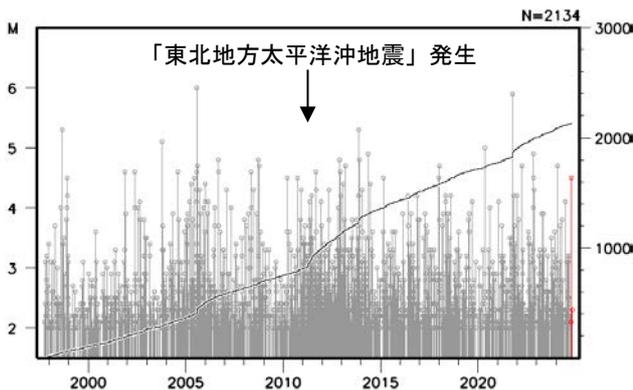
領域a内の時空間分布図（東西投影）



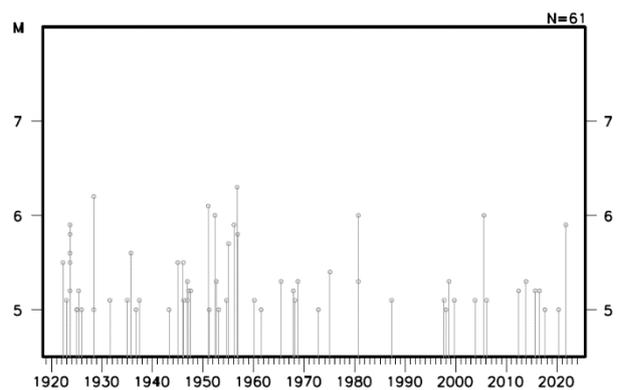
震央分布図
(1919年1月1日~2024年10月31日、
深さ0~150km、 $M \geq 5.0$)
2024年10月の地震を赤色で表示



領域b内のM-T図及び回数積算図



領域c内のM-T図



○近畿・中国・四国地方の地震活動

2024/10/01 00:00 ~ 2024/10/31 24:00

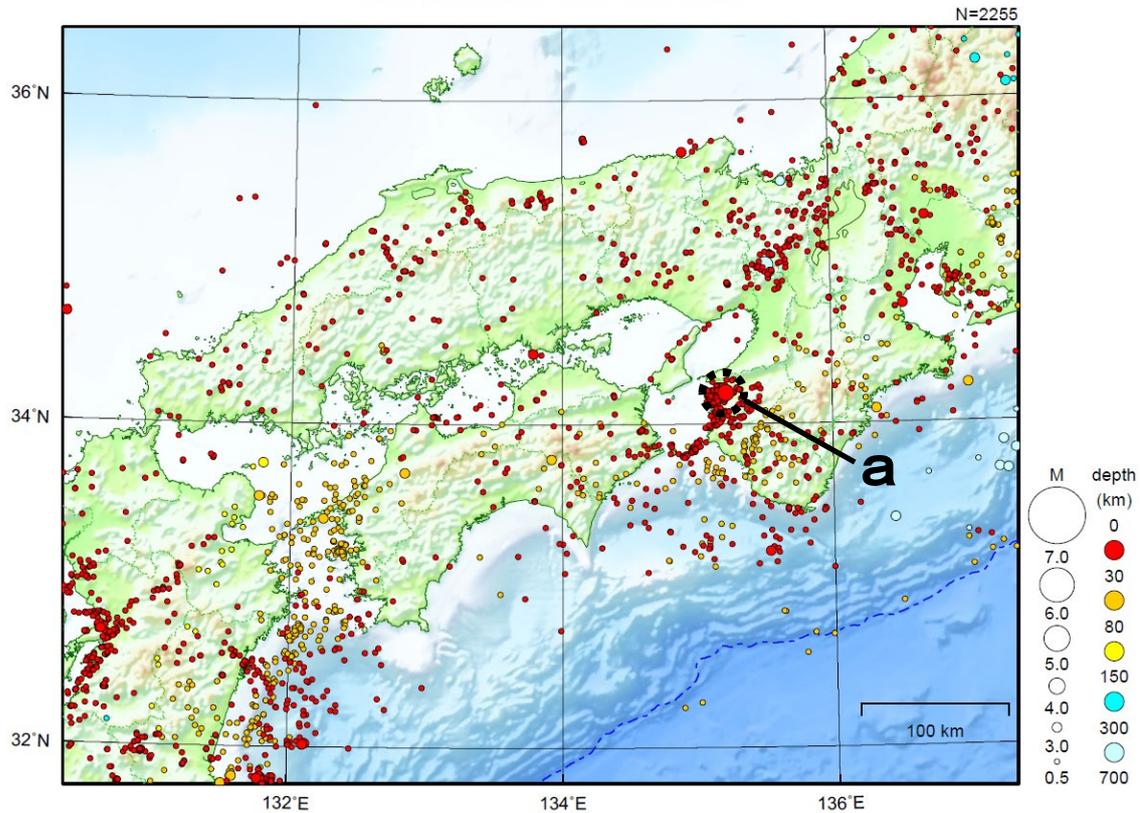


図7 近畿・中国・四国地方の震央分布図（2024年10月1日～10月31日、 $M \geq 0.5$ ）

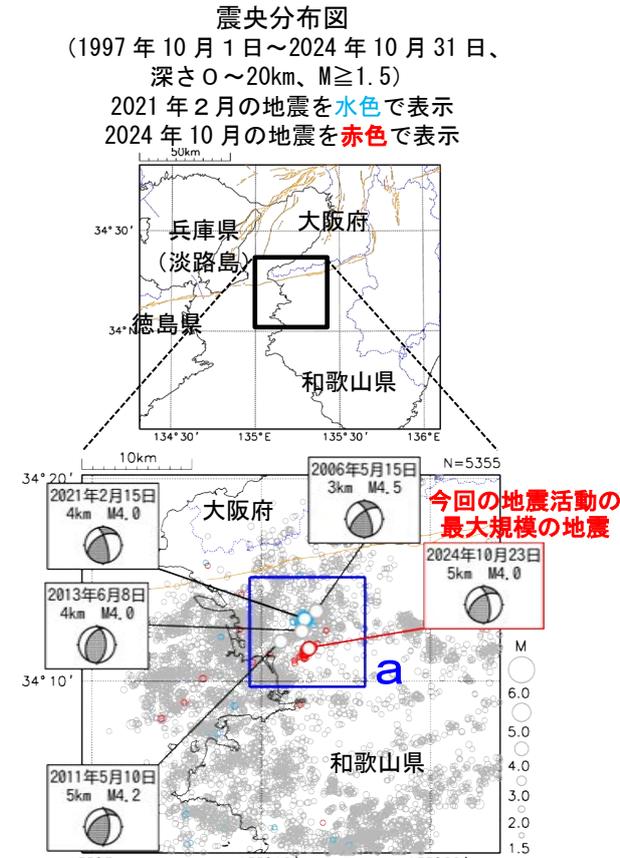
地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を使用

〔概況〕

10月に近畿・中国・四国地方で震度1以上を観測した地震は31回（9月は15回）であった。10月中の主な活動は次のとおりである。

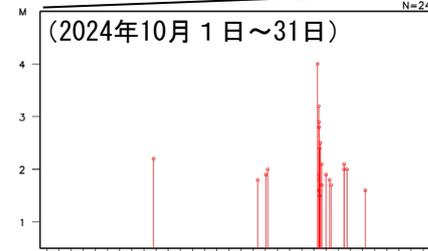
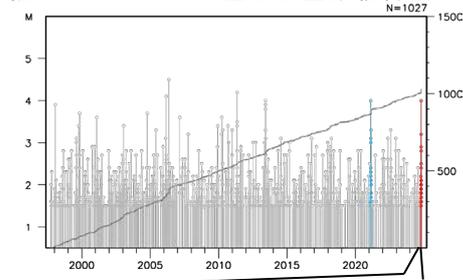
- a 和歌山県北部では、10月23日から31日までに震度1以上を観測する地震が12回（震度3：1回、震度2：4回、震度1：7回）発生した。このうち最大規模の地震は、23日07時08分に深さ5kmで発生したM4.0の地震で、和歌山県和歌山市及び紀の川市で震度3を観測したほか、大阪府、奈良県及び和歌山県で震度2～1を観測した（p.17参照）。

10月23日からの和歌山県北部の地震活動

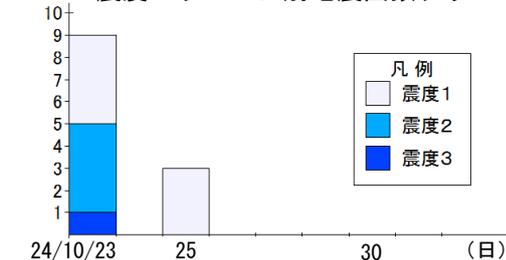


震央分布図中の**橙色**の実線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

領域 a 内の M-T 図及び回数積算図



(回数) 震度1以上の日別地震回数グラフ

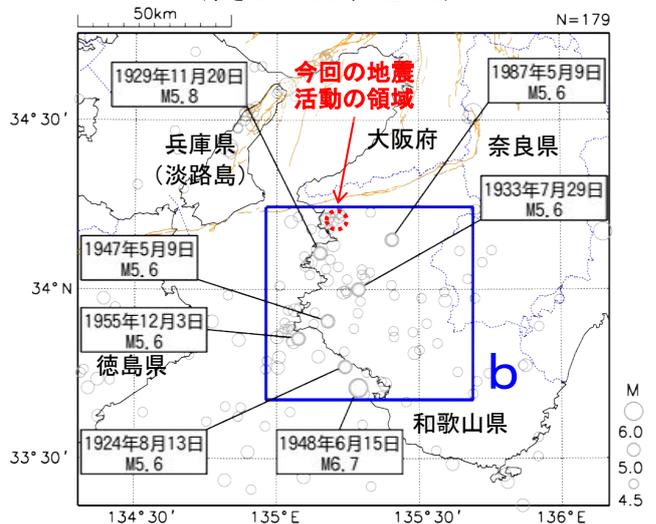


和歌山県北部では、2024年10月23日07時頃からややまとまった地震活動がみられ、23日から31日までに震度1以上を観測した地震は12回（震度3：1回、震度2：4回、震度1：7回）発生した。このうち最大規模の地震は、23日07時08分に発生したM4.0の地震（最大震度3）である。この地震は地殻内で発生した。発震機構は西北西－東南東方向に圧力軸を持つ型である。地震回数は時間の経過とともに減少してきている。

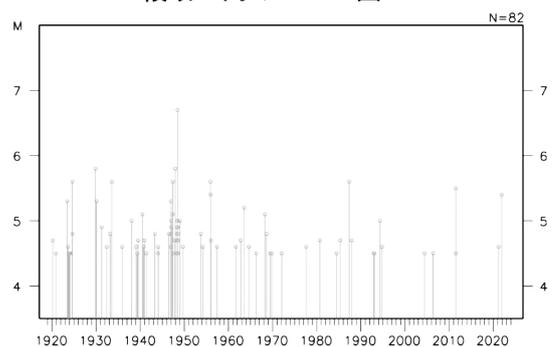
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震活動域付近（領域a）は、定常的に地震活動がみられる領域である。最近では、2021年2月に地震活動が活発となり、2月15日から28日までに震度1以上を観測した地震が25回発生した。このうち最大規模の地震は、2月15日に発生したM4.0の地震（最大震度4）である。

1919年以降の活動をみると、今回の地震活動域周辺（領域b）では、M5.0を超える地震が時々発生している。このうち、1948年6月15日に発生したM6.7の地震では、死者2人、負傷者33人、家屋倒壊60棟などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

震央分布図
 (1919年1月1日～2024年10月31日、
 深さ0～40km、 $M \geq 4.5$)



領域 b 内の M-T 図



○九州地方の地震活動

2024/10/01 00:00 ~ 2024/10/31 24:00

N=1924

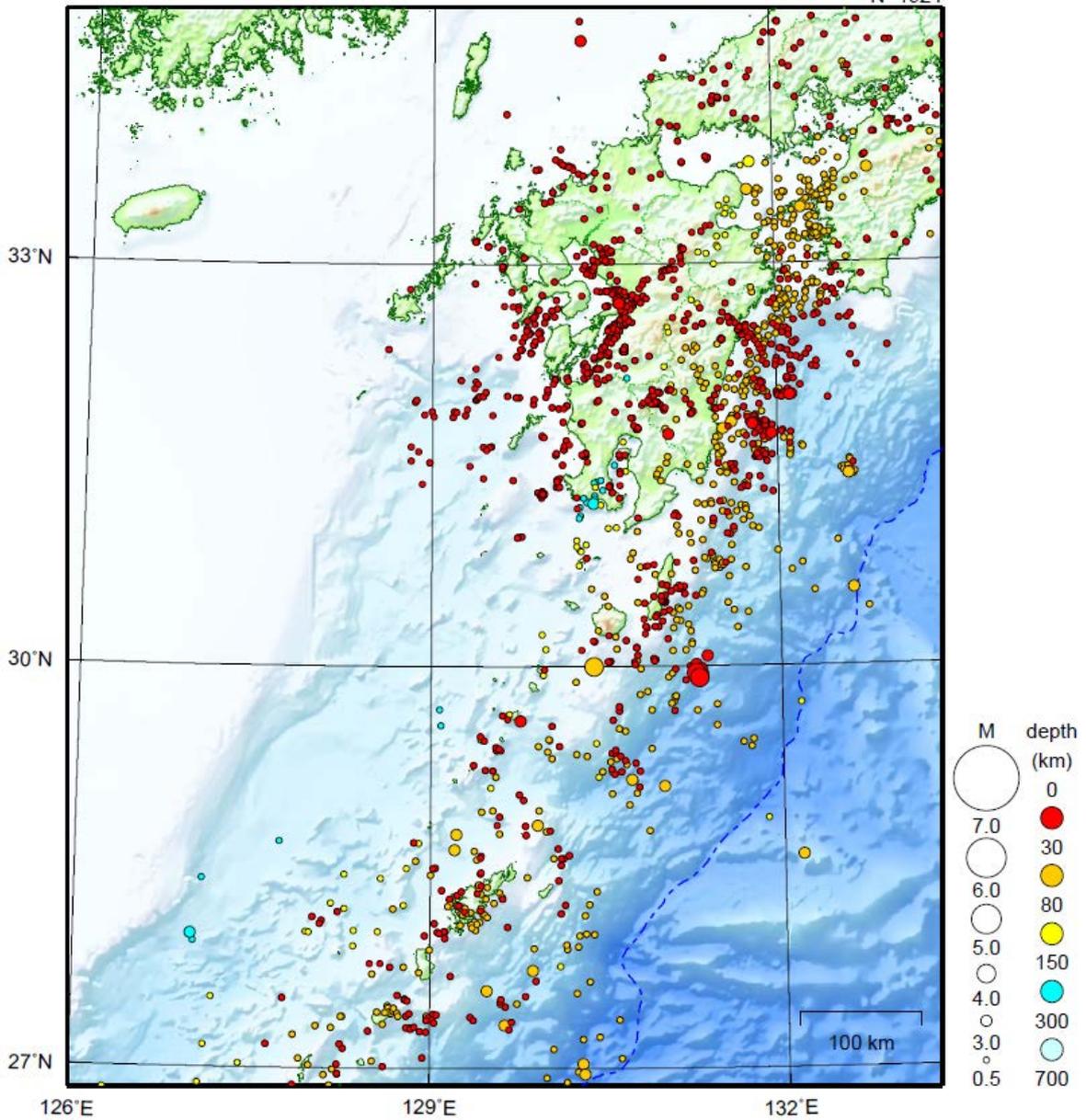


図8 九州地方の震央分布図（2024年10月1日～10月31日、 $M \geq 0.5$ ）

地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030及び米国国立地球物理データセンターのETOP02v2を使用
[概況]

10月に九州地方で震度1以上を観測した地震は21回（9月は36回）であった。

10月中、特に目立った活動はなかった。

○沖縄地方の地震活動

2024/10/01 00:00 ~ 2024/10/31 24:00

N=854

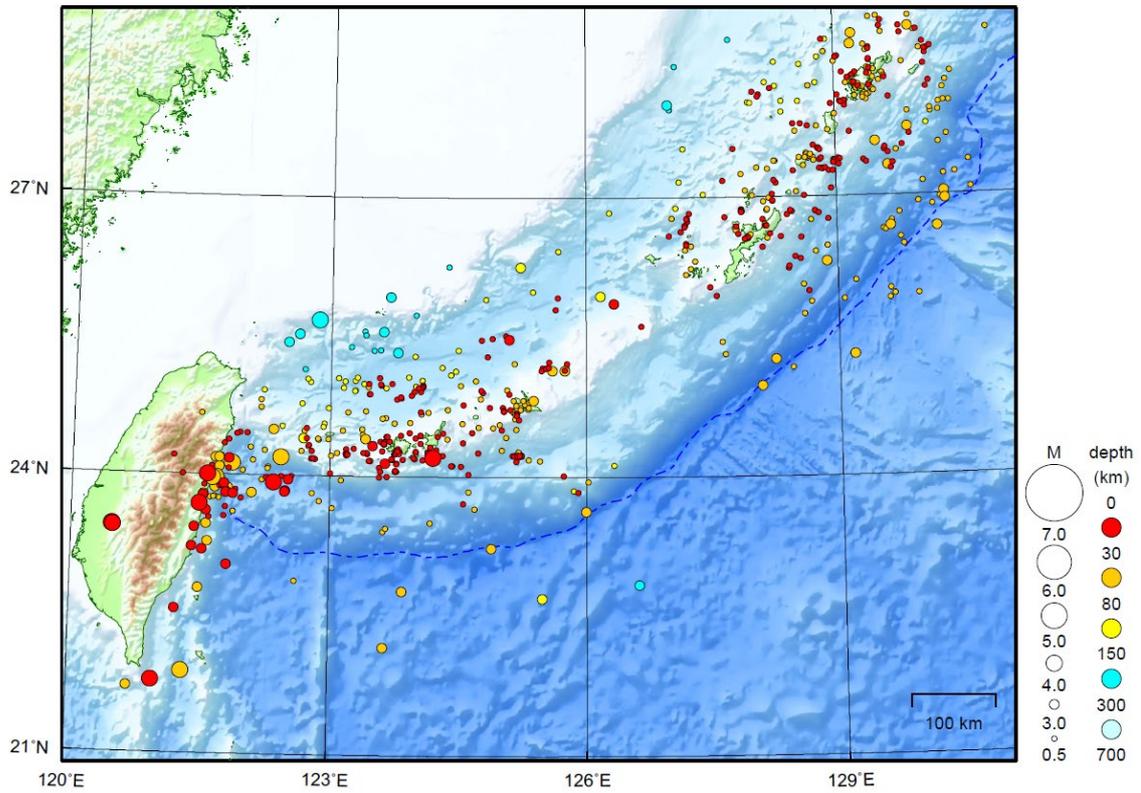


図9 沖縄地方の震央分布図（2024年10月1日～10月31日、 $M \geq 0.5$ ）

地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030及び米国国立地球物理データセンターのETOP02v2を使用

[概況]

10月に沖縄地方で震度1以上を観測した地震は3回（9月は5回）であった。

10月中、特に目立った活動はなかった。

○その他の地域の地震活動

2024/10/01 00:00 ~ 2024/10/31 24:00

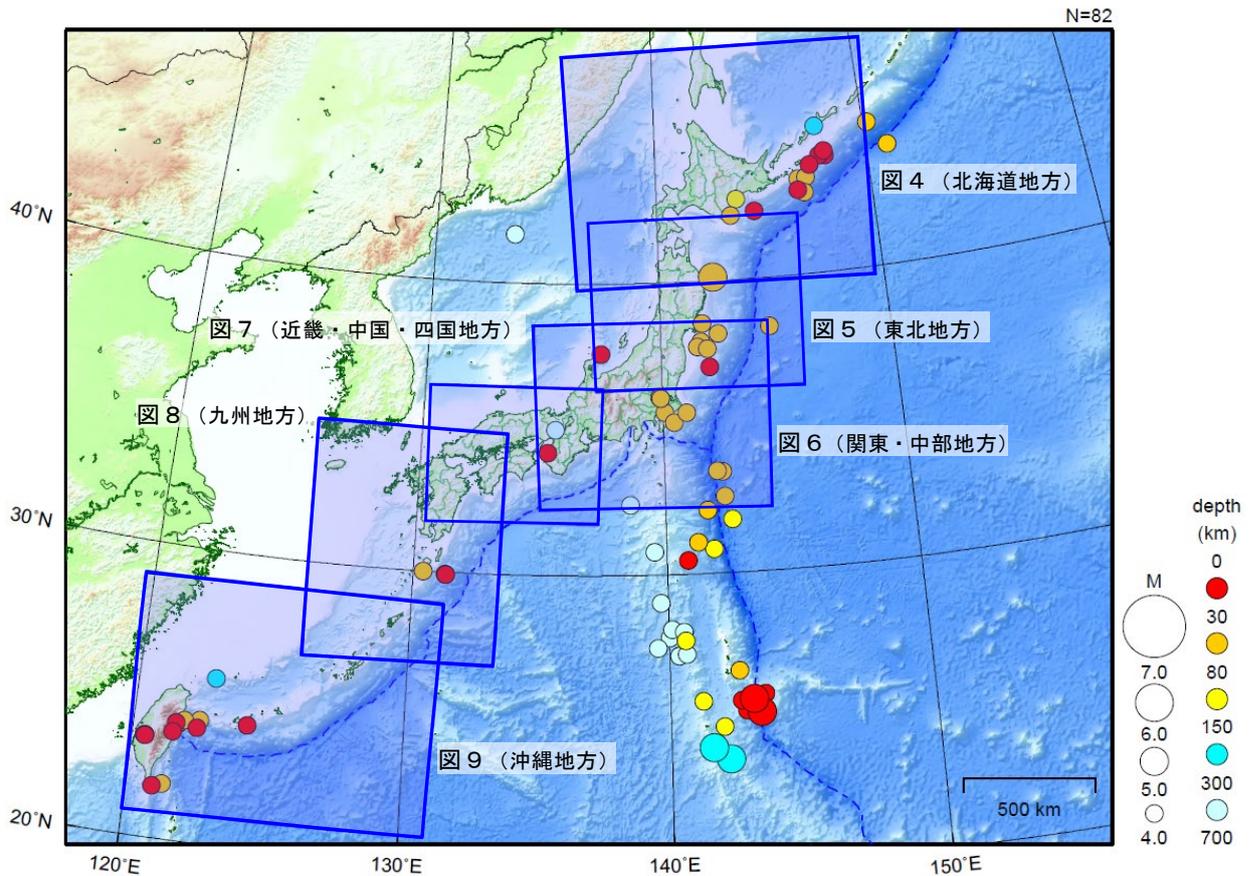


図10 日本周辺で発生した主な地震の震央分布図（2024年10月1日～10月31日、 $M \geq 4.0$ ）

地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030及び米国国立地球物理データセンターのETOP02v2を使用

[概況]

10月に日本周辺で発生したM6.0以上の地震はなかった（9月はなし）。

10月中に図4～9の領域外で目立った活動はなかった。

● 南海トラフ周辺の地殻活動

気象庁は、第86回南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、第464回地震防災対策強化地域判定会（定例）を開催し、令和6年11月8日に「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」として次の内容の南海トラフ地震関連解説情報を発表した^(注)。これに関連する概要資料をp.23に掲載する。

(注) <https://www.jma.go.jp/jma/press/hantei.html>

現在のところ、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時^(注)と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

(注) 南海トラフ沿いの大規模地震（M8からM9クラス）は、「平常時」においても今後30年以内に発生する確率が70から80%であり、昭和東南海地震・昭和南海地震の発生から約80年が経過していることから切迫性の高い状態です。

1. 地震の観測状況

（顕著な地震活動に関する現象）

南海トラフ周辺では、特に目立った地震活動はありませんでした。

（ゆっくりすべりに関係する現象）

プレート境界付近を震源とする深部低周波地震（微動）のうち、主なものは以下のとおりです。

（1）四国東部：10月10日から10月19日

（2）四国西部：10月31日から継続中

2. 地殻変動の観測状況

（顕著な地震活動に関する現象）

G N S S 観測によると、8月8日の日向灘の地震の発生後、宮崎県南部を中心にゆっくりとした東向きの変動が観測されています。

（ゆっくりすべりに関係する現象）

上記（1）（2）の深部低周波地震（微動）とほぼ同期して、周辺に設置されている複数のひずみ計でわずかな地殻変動を観測しています。周辺の傾斜データでも、わずかな変化が見られています。

G N S S 観測によると、2019年春頃から四国中部で観測されている、それまでの傾向とは異なる地殻変動は、2023年秋頃から一時的に鈍化していましたが、最近は継続しているように見えます。また、2022年初頭から、静岡県西部から愛知県東部にかけて、それまでの傾向とは異なる地殻変動が観測されています。

（長期的な地殻変動）

G N S S 観測等によると、御前崎、潮岬及び室戸岬のそれぞれの周辺では長期的な沈降傾向が継続しています。

3. 地殻活動の評価

（顕著な地震活動に関する現象）

G N S S 観測による、8月8日の日向灘の地震発生後のゆっくりとした変動は、この地震に

伴う余効変動と考えられます。余効変動自体はM7クラス以上の地震が発生すると観測されるもので、今回の余効変動は、そのような地震後に観測される通常の余効変動の範囲内と考えられます。

（ゆっくりすべりに関係する現象）

上記（1）（2）の深部低周波地震（微動）と地殻変動は、想定震源域のプレート境界深部において発生した短期的ゆっくりすべりに起因するものと推定しています。

2019年春頃からの四国中部の地殻変動及び2022年初頭からの静岡県西部から愛知県東部にかけての地殻変動は、それぞれ四国中部周辺及び渥美半島周辺のプレート境界深部における長期的ゆっくりすべりに起因するものと推定しています。このうち、四国中部周辺の長期的ゆっくりすべりは、2023年秋頃から一時的に鈍化していましたが、最近では継続しています。

これらの深部低周波地震（微動）、短期的ゆっくりすべり、及び長期的ゆっくりすべりは、それぞれ、従来からも繰り返し観測されてきた現象です。

（長期的な地殻変動）

御前崎、潮岬及び室戸岬のそれぞれの周辺で見られる長期的な沈降傾向はフィリピン海プレートの沈み込みに伴うもので、その傾向に大きな変化はありません。

上記観測結果を総合的に判断すると、南海トラフ地震の想定震源域ではプレート境界の固着状況に特段の変化を示すようなデータは得られておらず、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

〔「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」についての頁で使われる用語〕

・「想定震源域」

南海トラフ沿いの大規模地震発生時に、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界が破壊されると想定される領域。「想定震源域」全体もしくは一部が破壊されると考えられている。

・「クラスタ」、「クラスタ除去」

地震は時間空間的に群（クラスタ：cluster）をなして起きることが多くある。「本震とその後に起きる余震」、「群発地震」などが典型的なクラスタで、余震活動等の影響を取り除いて地震活動全体の推移を見ることを「クラスタ除去」と言う。例えば、相互の震央間の距離が3km以内で、相互の発生時間差が7日以内の地震群をクラスタとして扱い、その中の最大の地震をクラスタに含まれる地震の代表とし、地震が1つ発生したと扱う。

・「長期的ゆっくりすべり（長期的スロースリップ）」

想定震源域の深部で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界が数ヶ月～数年間かけてゆっくりとすべる現象で、数年～十年程度の間隔で繰り返し発生していると考えられている。例えば、東海地域では、前々回は2000年秋頃～2005年夏頃にかけて発生し、前回は2013年はじめ頃から2017年はじめ頃にかけて発生した。

・「深部低周波地震（微動）」

深さ約30km～40kmで発生する、通常の地震より長周期の波が卓越する地震を「深部低周波地震」と言う。長野県南部～日向灘にかけては帯状につながる深部低周波地震の震央分布が見られる。深部低周波微動は、P波やS波が明瞭ではなく震動が継続するもので、現象的には深部低周波地震と同じであるが、解析手法に違いがあるため、深部低周波地震が観測されない場合にも観測されることがある。

・「短期的ゆっくりすべり（短期的スロースリップ）」

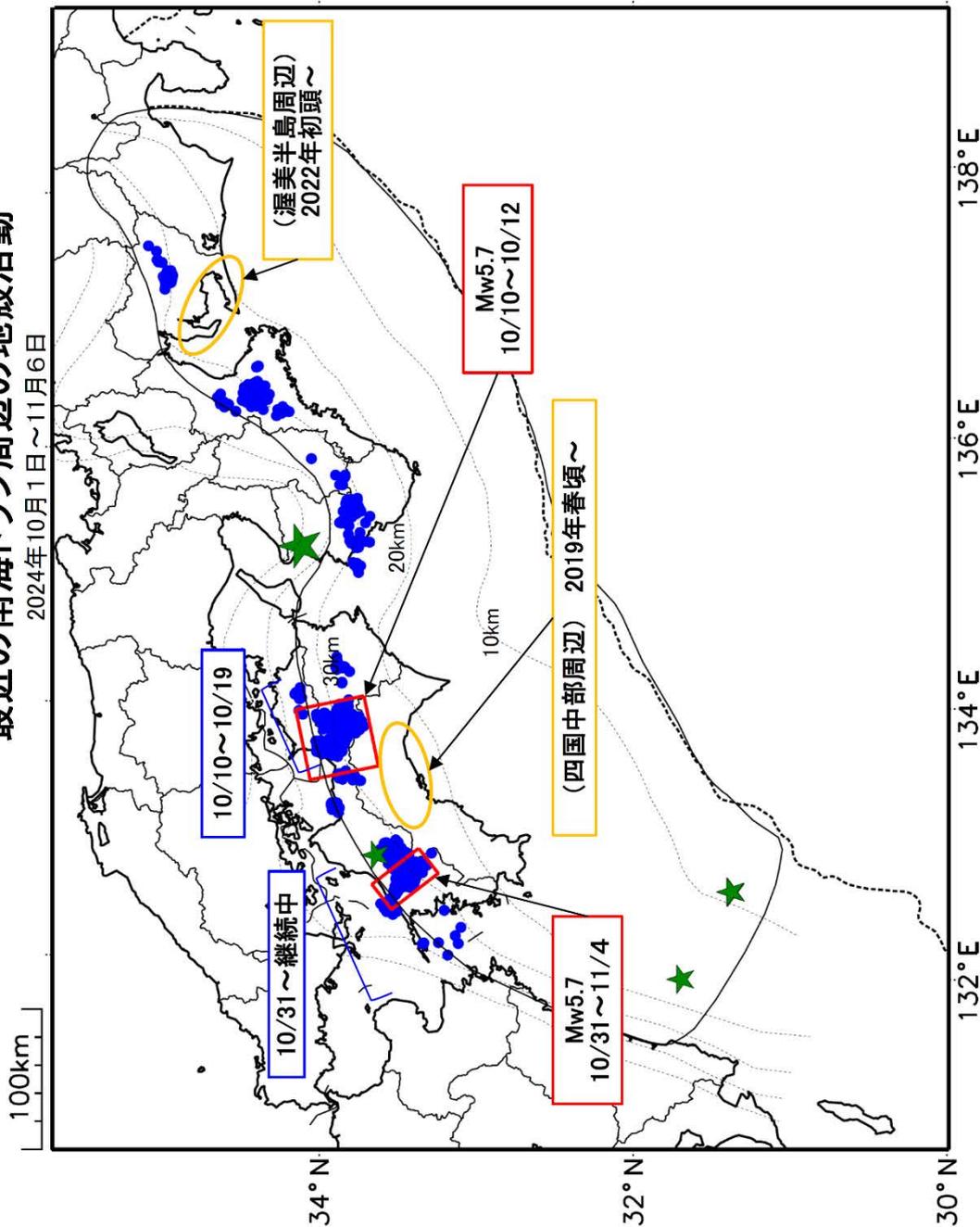
「短期的ゆっくりすべり」は、長期的ゆっくりすべりが発生する領域のさらに深部の、深部低周波地震（微動）の発生領域とほぼ同じ領域でのフィリピン海プレートと陸のプレートの境界のすべりと考えられている。数日～1週間程度継続する「短期的ゆっくりすべり（短期的スロースリップ）」が観測されるときは、ほぼ同時に深部低周波地震（微動）活動が観測されることが多い。短期的ゆっくりすべりは、数ヶ月から1年程度の間隔で繰り返し発生している。

注）地震活動および地殻活動の解析にはHirose et al. (2008)、Baba et al. (2002)によるフィリピン海プレートと陸のプレートの境界データを使用している。

気象庁では、大規模地震の切迫性が高いと指摘されている南海トラフ周辺の地震活動や地殻変動等の状況を定期的に評価するため、南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、地震防災対策強化地域判定会を毎月開催して委員の意見提供等を受け、現在の状況を「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」として取りまとめ南海トラフ地震関連解説情報を発表している。

最近の南海トラフ周辺の地殻活動

2024年10月1日～11月6日



緑(★)
 通常の地震(最大震度3以上もしくはM3.5以上、大きさはMの大きさを示す)
 青(●)
 深部低周波地震(微動)
 赤(□)
 短期的ゆっくりすべり
 黄(○)
 長期的ゆっくりすべり

※地図中の点線は、Baba et al.(2002)、Hirose et al.(2008)、Nakajima and Hasegawa(2007)によるフィリピン海プレート上面の深さを示す。

※M5.0以上の地震に吹き出しを付けている。

通常の地震(最大震度3以上もしくはM3.5以上)……………気象庁の解析結果による。
 深部低周波地震(微動)……………(震源データ)気象庁の解析結果による。(活動期間)気象庁及び防災科学技術研究所の解析結果による。
 短期的ゆっくりすべり……………【四国東部】産業技術総合研究所の解析結果を示す。【四国西部】気象庁の解析結果を示す。
 長期的ゆっくりすべり……………【渥美半島周辺、四国中部周辺】国土地理院の解析結果を元におよその場所を表示している。

● 日本の主な火山活動

全国月間火山概況（令和6年10月）

警報・予報事項に変更のあった火山は以下のとおりです。その他の火山では、警報・予報事項に変更はありません（令和6年11月11日14時現在）。

岩手山では、10月2日に火口周辺警報を公表し、噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から2（火口周辺規制）に引き上げました。

口永良部島では、18日に火口周辺警報を公表し、噴火警戒レベルを3（入山規制）から2（火口周辺規制）に引き下げ、あわせて火山現象に関する海上警報を解除しました。

表1 令和6年11月11日現在の火山現象に関する警報及び予報の発表状況

特別警報・警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3（入山規制）	桜島
	入山危険	西之島※
	レベル2（火口周辺規制）	岩手山、浅間山、薩摩硫黄島、口永良部島、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	硫黄島※
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	ベヨネース列岩※、須美寿島※、海徳海山※、福岡ノ場※
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	アトサヌプリ、雌阿寒岳、大雪山、十勝岳、樽前山、倶多楽、有珠山、北海道駒ヶ岳、恵山、岩木山、八甲田山、十和田、秋田焼山、秋田駒ヶ岳、鳥海山、栗駒山、蔵王山、吾妻山、安達太良山、磐梯山、那須岳、日光白根山、草津白根山（白根山（湯釜付近））、草津白根山（本白根山）、新潟焼山、弥陀ヶ原、焼岳、乗鞍岳、御嶽山、白山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、新島、神津島、三宅島、八丈島、青ヶ島、鶴見岳・伽藍岳、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）、霧島山（大幡池）、霧島山（新燃岳）、霧島山（御鉢）
	活火山であることに留意	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、雄阿寒岳、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、恐山、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳、高原山、男体山、赤城山、榛名山、草津白根山、横岳、妙高山、アカンダナ山、利島、御蔵島、伊豆鳥島、孀婦岩、海形海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山、三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、霧島山、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田崩山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山

※印を付した火山は火山現象に関する海上警報も発表中。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/kazan/kazanyougo/mokuji.html>



図1 火山現象に関する警報を発表中の火山

【各火山の活動状況及び警報・予報事項】（10月1日～31日）

全国の主な火山の活動状況及び警報・予報事項は以下のとおりです。その他の火山については、警報・予報事項に変更はありません。

岩手山 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）] ← 10月2日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から2（火口周辺規制）に引き上げ。

岩手山周辺の傾斜計やひずみ計、GNSS 連続観測では、2024年2月頃から山体の深いところの膨張を示す地殻変動が観測されています。

一方、10月29日に観測された JAXA の衛星「だいち2号」の観測結果を用いた国土地理院による SAR 干渉解析結果では、大地獄谷周辺で衛星に近づく変動が、9月26日の観測以降継続して見られています。この変動は、大地獄谷付近のごく浅いところの膨張を示していると考えられます。

また、黒倉山付近で発生している微小な火山性地震は、増減を繰り返しながら引き続き観測されています。

岩手山では引き続き、西岩手山（大地獄谷・黒倉山から姥倉山）の想定火口から概ね2kmの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があります。

西岩手山の想定火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

また、噴火時には火口の風下側では火山灰や小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

浅間山 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

山体浅部を震源とする火山性地震は、4月中旬以降増加した状態が続いており、その後も消長を繰り返

返しています。3月中旬から認められていた山体の西側での膨張を示すと考えられる傾斜変動は、5月以降、停滞しています。火山ガス（二酸化硫黄）放出量は、1日あたり500トン前後で推移しており、2023年3月以前に比べて多い状態が続いています。引き続き、山頂火口から概ね2kmの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があります。

山頂火口から概ね2kmの範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石や火砕流に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

噴火時には、風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

ベヨネース列岩〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

今期間、噴火や変色水等の特異事象は認められなかったものの、明神礁付近では2023年2月に変色水が認められていることから、海底噴火の発生に引き続き警戒が必要です。

ベヨネース列岩（明神礁）の周辺海域では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。また、噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

須美^{すみ}寿^{すしま}島〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

今期間、噴火は認められないものの、引き続き須美寿島周辺で変色水が認められており、海底噴火が発生する可能性があります。

須美寿島の周辺海域では、海底噴火に警戒してください。また、海底噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

西之島〔火口周辺警報（入山危険）及び火山現象に関する海上警報〕

山頂火口付近で噴気活動がみられ、島の周囲に変色水が引き続き認められます。今期間、噴火は観測されていませんが、2022年10月以降しばしば噴火が観測されており、比較的活発な火山活動は継続していると考えられます。

山頂火口から概ね1.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石や溶岩流に警戒してください。

海徳海山〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

今期間、噴火は認められないものの、2023年1月に変色水が認められたことから、活発な火山活動は継続しており、海底噴火が発生する可能性があります。

海徳海山の周辺海域では、海底噴火に警戒してください。また、海底噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

硫黄島〔火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報〕

今期間、硫黄島内及びその周辺海域で噴火は認められませんでした。2022年以来、翁浜（おきなほま）沖では、マグマの噴出が繰り返し発生しており、今後も同様の噴火が発生する可能性があります。また、長期的に島全体の隆起を示す地殻変動が認められ、多くの噴気地帯や噴気孔があり、各所で小規模な噴火が時々発生していることから、翁浜沖での噴火同様、島内における小規模な噴火の発生にも警戒してください。

福徳岡ノ場〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

2021年8月下旬以降、噴火は認められないものの、引き続き、変色水域が確認されています。活発な火山活動が継続しており、今後も噴火の可能性あります。

福徳岡ノ場の周辺海域では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。噴火による浮遊物（軽石）にも注意が必要です。

桜島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）〕

南岳山頂火口では、噴火¹⁾が5回発生し、このうち爆発は3回でした。噴煙は最高で火口縁上4,000mまで上がり、弾道を描いて飛散する大きな噴石は最大で5合目（南岳山頂火口より約1,300m）まで達しました。

昭和火口では、ごく小規模なものも含め噴火は発生しませんでした。

広域のGNSS連続観測によると、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部にマグマが長期にわたり蓄

積した状態と考えられます。また、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は概ね多い状態であることから、今後噴火活動が再び活発化すると考えられます。

南岳山頂火口及び昭和火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るため注意してください。爆発に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。なお、今後の降灰状況次第では、降雨時に土石流が発生する可能性がありますので留意してください。

薩摩硫黄島【火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）】

火山性地震や火山性微動の発生状況に特段の変化はありません。

火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は1日あたり1,000トン前後の状態が長期的に継続しており、時折噴煙が高くなるほか、夜間に火映を観測しています。長期的には噴煙活動や熱活動が高まった状態が続いていることから、硫黄岳火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性があります。

硫黄岳火口の中心から概ね0.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガスにも注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

口永良部島【火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）】 ← 18日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを3（入山規制）から2（火口周辺規制）に引下げ。火山現象に関する海上警報を解除。

口永良部島では、主に古岳火口付近の浅いところを震源とする火山性地震が4月以降多い状態で経過していましたが、8月中旬頃から減少しています。その他の観測データにも、火山活動の活発化を示す特段の変化は認められません。

火山活動に低下傾向が認められることから、18日11時00分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを3（入山規制）から2（火口周辺規制）に引き下げました。

その後も火口付近の浅いところでは、やや活発な地震活動が継続しており、引き続き、新岳火口及び古岳火口の周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生するおそれがあります。

新岳火口及び古岳火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。また、西側は新岳火口から概ね2kmの範囲では、火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

諏訪之瀬島【火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）】

御岳（おたけ）火口では、噴火活動が続いています。

噴火に伴う噴煙は、最高で火口縁上2,000mまで上がりました。弾道を描いて飛散する大きな噴石は、火口中心から最大で約500mまで飛散しました。

GNSS連続観測では、島の西側深部におけるマグマの蓄積量の更なる増加と推定される変動は認められません。島の西側で発生していると推定される火山性地震は、概ね少ない状態で経過しています。

御岳火口では長期にわたり噴火活動が継続しており、今後も火口周辺に大きな噴石が飛散する噴火活動が継続すると考えられます。

御岳火口中心から概ね1.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

上記以外の火山の活動状況に変化はなく、予報事項に変更はありません。

（火山の順は日本活火山総覧（第4版）による）

- 1) 桜島では噴火活動が活発なため、噴火のうち、爆発もしくは噴煙量が中量以上（概ね噴煙の高さが火口縁上1,000m以上）の噴火の回数を計数しています。資料の噴火回数はこの回数を示します。また、基準に達しない噴火は、ごく小規模な噴火として噴火回数に含めていません。

資料1 全国の火山現象に関する特別警報・警報・予報の発表状況のまとめ

(1) 主な活火山

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
北海道地方	アトサヌプリ	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	雌阿寒岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年9月29日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年10月17日噴火予報（平常） 2008年11月17日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年12月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年4月10日噴火予報（レベル1、平常） 2015年7月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年11月13日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年11月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年12月21日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	大雪山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年3月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	十勝岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年12月16日噴火予報（レベル1、平常） 2014年12月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年2月24日噴火予報（レベル1、平常）
	樽前山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	倶多楽	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年10月1日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	有珠山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年6月9日噴火予報（レベル1、平常）
	北海道駒ヶ岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
東北地方	恵山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	岩木山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年7月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	八甲田山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年7月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	十和田	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2022年3月24日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	秋田焼山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2013年7月25日噴火予報（レベル1、平常）
	岩手山	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2024年10月2日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	秋田駒ヶ岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年10月27日噴火予報（レベル1、平常）
	鳥海山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年3月27日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	栗駒山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	蔵王山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年4月13日火口周辺警報（火口周辺危険） 2015年6月16日噴火予報（活火山であることに留意） 2016年7月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年1月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年3月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	吾妻山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2014年12月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2016年10月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年9月15日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月22日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年5月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年6月17日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	安達太良山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	磐梯山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）

令和6年10月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
関東・中部地方	那須岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	日光白根山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年12月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	草津白根山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年11月27日噴火予報（活火山であることに留意）
	草津白根山（白根山（湯釜付近））	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2009年4月10日噴火予報（レベル1、平常）切替 2014年6月3日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年6月7日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年4月22日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年9月21日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年9月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年11月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	草津白根山（本白根山）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年1月23日火口周辺警報（火口周辺危険） 2018年1月23日火口周辺警報（入山危険） 2018年3月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年11月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	浅間山	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月8日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月7日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月15日噴火予報（レベル1、平常） 2015年6月11日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年8月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年8月7日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2019年8月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年11月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2020年6月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年2月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2021年3月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年8月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2023年3月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	新潟焼山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	弥陀ヶ原	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	焼岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常） 2022年5月24日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年7月12日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	乗鞍岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年3月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	御嶽山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年3月31日噴火予報（レベル1、平常） 2014年9月27日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2014年9月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年1月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年3月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年6月26日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年8月21日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2022年2月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年4月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）切替 2022年6月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	白山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年9月2日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	富士山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）

令和6年10月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
関東・中部地方	箱根山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常） 2015年5月6日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年6月30日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年9月11日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年11月20日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年5月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年10月7日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	伊豆東部火山群	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
伊豆・小笠原諸島	伊豆大島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	新島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年7月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	神津島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年7月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	三宅島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年3月31日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年6月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	八丈島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	青ヶ島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	ベヨネース列岩	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2017年3月24日噴火警報（周辺海域警戒） 2018年10月31日噴火予報（活火山であることに留意） 2023年1月26日噴火警報（周辺海域警戒）
	須美寿島	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2024年9月19日噴火警報（周辺海域警戒）
	西之島	火口周辺警報（入山危険）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2013年11月20日火口周辺警報（火口周辺危険） 2014年6月3日火口周辺警報（入山危険） 2014年6月11日火口周辺警報（入山危険）切替 2015年2月24日火口周辺警報（入山危険）切替 2016年2月17日火口周辺警報（入山危険）切替 2016年8月17日火口周辺警報（火口周辺危険） 2017年2月14日噴火予報（活火山であることに留意） 2017年4月20日火口周辺警報（入山危険） 2018年6月20日火口周辺警報（火口周辺危険） 2018年7月13日火口周辺警報（入山危険） 2018年10月31日火口周辺警報（火口周辺危険） 2019年12月5日火口周辺警報（入山危険） 2019年12月16日火口周辺警報（入山危険）切替 2020年12月18日火口周辺警報（入山危険）切替
	海徳海山	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2022年8月23日噴火警報（周辺海域警戒）
	噴火浅根	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2022年3月27日噴火警報（周辺海域警戒） 2023年9月21日噴火予報（活火山であることに留意）
	硫黄島	火口周辺警報（火口周辺危険）	2007年12月1日火口周辺警報（火口周辺危険）
	福德岡ノ場	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日噴火警報（周辺海域警戒） 2021年8月16日噴火警報（周辺海域警戒）切替

令和6年10月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	鶴見岳・伽藍岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年7月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2022年7月8日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年7月27日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	九重山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	阿蘇山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2011年5月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年6月20日噴火予報（レベル1、平常） 2013年9月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2013年10月11日噴火予報（レベル1、平常） 2013年12月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2014年3月12日噴火予報（レベル1、平常） 2014年8月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年9月14日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年11月24日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2016年10月8日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2016年12月20日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年2月7日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年3月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年3月29日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年4月14日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2020年8月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2021年5月2日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年6月9日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2021年10月13日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年10月20日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年11月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年2月24日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2022年3月14日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年4月15日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2023年1月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2023年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2024年1月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2024年4月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2024年5月15日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2024年7月19日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	雲仙岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	霧島山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年12月6日噴火予報（活火山であることに留意）
	霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2014年10月24日火口周辺警報（火口周辺危険） 2015年5月1日噴火予報（平常） 2016年2月28日火口周辺警報（火口周辺危険） 2016年3月29日噴火予報（活火山であることに留意） 2016年12月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2016年12月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年1月13日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2017年5月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年10月31日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年2月20日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年4月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2018年5月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2023年7月7日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2023年12月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	霧島山（大幡池）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2021年3月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	霧島山（新燃岳）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月22日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月29日噴火予報（レベル1、平常） 2010年3月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月16日噴火予報（レベル1、平常） 2010年5月6日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年1月26日火口周辺警報（レベル3、入山規制）

令和6年10月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	霧島山(新燃岳) (つづき)		2011年1月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2011年2月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2011年3月22日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2012年6月26日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2013年10月22日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年5月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2017年10月5日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年10月11日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2017年10月15日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2017年10月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年3月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年3月10日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年3月15日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年6月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年1月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年2月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年11月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年12月20日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2020年1月2日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2020年12月11日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2020年12月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年3月1日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2022年3月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年8月19日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	霧島山（御鉢）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2018年2月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年3月15日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	桜島	火口周辺警報 （レベル3、入山規制）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年2月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年2月20日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年4月8日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年7月14日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年7月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年8月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月2日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年3月2日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月10日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月24日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年7月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2010年9月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年10月13日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2012年3月12日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2012年3月21日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年8月15日噴火警報（レベル4、避難準備） 2015年9月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年11月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2016年2月5日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年4月25日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2021年4月25日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2022年7月24日噴火警報（レベル5、避難） 2022年7月27日火口周辺警報（レベル3、入山規制）
	薩摩硫黄島	火口周辺警報 （レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2012年11月29日噴火予報（レベル1、平常） 2013年6月4日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2013年7月10日噴火予報（レベル1、平常） 2017年1月5日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年2月24日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年3月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年4月27日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年11月2日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年3月8日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）切替

令和6年10月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	口永良部島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年1月25日噴火予報(レベル1、平常) 2008年9月4日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年10月27日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2009年3月18日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2009年8月4日噴火予報(レベル1、平常) 2009年9月27日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2009年10月30日噴火予報(レベル1、平常) 2011年12月15日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2012年1月20日噴火予報(レベル1、平常) 2014年8月3日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2014年8月7日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2015年5月29日噴火警報(レベル5、避難) 2015年10月21日噴火警報(レベル5、避難)切替 2016年6月14日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2018年4月18日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2018年8月15日噴火警報(レベル4、避難準備) 2018年8月29日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2019年6月12日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2019年10月28日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2021年1月19日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2021年2月28日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2021年7月5日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2022年5月25日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意) 2022年7月31日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2022年9月1日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意) 2023年6月26日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2023年6月27日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2023年7月10日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2024年3月27日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2024年4月13日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2024年10月18日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)
	諏訪之瀬島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2020年12月28日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2021年1月14日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2021年3月31日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2021年4月5日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2021年6月23日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2021年7月29日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2021年9月17日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2022年7月11日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2022年9月28日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2023年1月24日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2023年3月5日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2023年6月9日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2024年1月14日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2024年1月19日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2024年3月27日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)切替

注) 特別警報、警報及び予報の発表履歴欄には、2007年12月1日の火山現象に関する警報・予報及び噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示しています。この表では、主な活火山として、警報を発表している、または常時観測を行っている火山を示しています。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルを示しています。

（2）その他の活火山

以下の活火山（*印及び**印を除く）では2007年12月1日に噴火予報（平常）を発表しました。また、*印の活火山では、活火山として選定された2011年6月7日に噴火予報（平常）を発表し、**印の活火山では、活火山として選定された後の2017年12月5日に噴火予報（活火山であることに留意）を発表しました。その後、いずれも火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

	火山名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山*、摩周、雄阿寒岳*、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方	高原山、男体山**、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、ア CANDANA 山
伊豆・小笠原諸島	利島、御蔵島、伊豆鳥島、嬬婦岩、海形海山、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方 及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄鳥島、西表島北北東海底火山

注）2015年5月18日から（平常）は（活火山であることに留意）に変更しました。

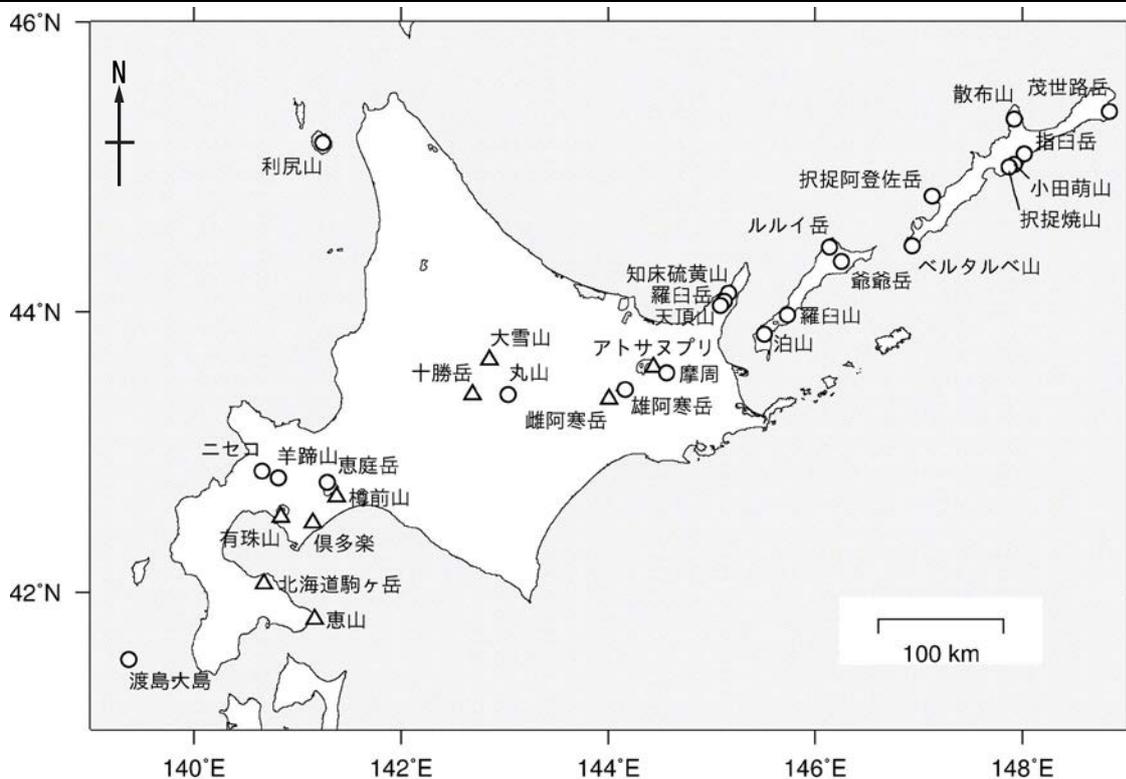
○ 北海道地方の火山活動

管内月間火山概況（令和6年10月）

札幌管区気象台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（10月31日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	アトサヌプリ、雌阿寒岳、大雪山、十勝岳、樽前山、倶多楽、有珠山、北海道駒ヶ岳、恵山
	活火山であることに留意	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、雄阿寒岳、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山



凡例			
噴火警戒レベル対象火山	▲	●	△
噴火警戒レベル対象外の火山	○		

※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用しています。

この管内月間火山概況は気象庁のホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/kazan/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土交通省北海道開発局、国土地理院、北海道大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、北海道及び地方独立行政法人北海道立総合研究機構エネルギー・環境・地質研究所のデータも利用して作成しています。

各火山の活動状況及び予報警報事項（10月1日～31日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりで、予報警報事項に変更はありません。

アトサヌプリ〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

雌阿寒岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

大雪山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

十勝岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

62-2火口、振子沢噴気孔群及びその周辺では引き続き噴煙・噴気が多く、熱活動が活発な状態が続いています。今後の火山活動の推移には注意が必要です。

樽前山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

なお、山頂溶岩ドーム周辺では高温の状態が続いていますので、突発的な火山ガス等の噴出に注意してください。

倶多楽〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

有珠山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

北海道駒ヶ岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

恵山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

○ 東北地方の火山活動

管内月間火山概況（令和6年10月）

仙台管区気象台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（10月31日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル2（火口周辺規制）	岩手山
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	岩木山、八甲田山、十和田、秋田焼山、秋田駒ヶ岳 鳥海山、栗駒山、蔵王山、吾妻山、安達太良山、磐梯山
	活火山であることに留意	恐山、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳

各火山の活動状況及び予報警報事項（10月1日～31日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりです。

岩手山では、10月2日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から2（火口周辺規制）に引き上げました。

その他の予報警報事項に変更はありません。

岩木山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

八甲田山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

十和田 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

秋田焼山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

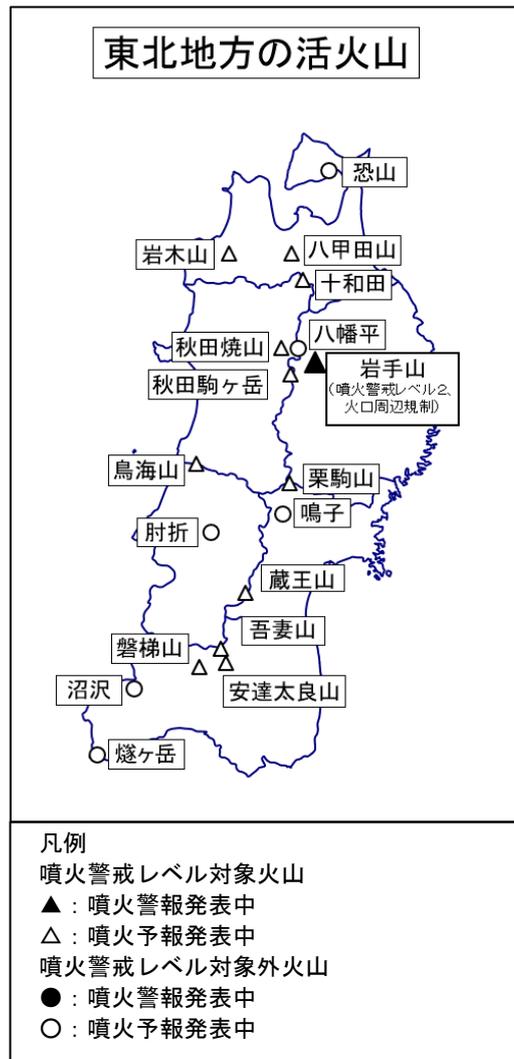
GNSS連続観測で認められている2020年中頃からの秋田焼山を挟む基線の伸びの変化は、2022年終わり頃からやや鈍化しつつも継続しています。地震活動や噴気、地熱域等には特段の変化はみられません。火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

岩手山 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

←10月2日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から2（火口周辺規制）に引き上げ

岩手山周辺の傾斜計やひずみ計、GNSS連続観測では、2024年2月頃から山体の深いところの膨張を示す地殻変動が観測されています。

一方、10月29日に観測されたJAXAの衛星「だいち2号」の観測結果を用いた国土地理院によるSAR干渉解析結果では、大地獄谷周辺で衛星に近づく変動が、9月26日の観測以降継続して見られています。



この変動は、大地獄谷付近のごく浅いところの膨張を示していると考えられます。

また、黒倉山付近で発生している微小な火山性地震は、増減を繰り返しながら引き続き観測されています。

岩手山では引き続き、西岩手山（大地獄谷・黒倉山から姥倉山）の想定火口から概ね2kmの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があります。

西岩手山の想定火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

また、噴火時には火口の風下側では火山灰や小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

秋田駒ヶ岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

11月10日（期間外）に、山体の北を震源とする火山性地震が一時的に増加しました。

その他の火山活動に特段の変化はありませんでした。

山頂付近では、火山性地震の発生頻度がやや高い状態で推移しています。そのうち女岳^{めだけ}付近では2015年頃まで地熱域の拡大がみられ、その後大きな変化は認められていませんが、中長期的には地震活動や熱活動がやや高まった状態で経過していることから、その推移に留意が必要です。

鳥海山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

栗駒山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

蔵王山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

吾妻山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

今期間、火山性地震は観測されず、また、大穴火口周辺では緩やかな地盤の収縮を示唆する変化がみられていることから、山体浅部の熱水活動は低調な状態にあるとみられます。一方で、火山ガスや噴気・地熱の活動は継続していますので、今後の火山活動の推移には留意が必要です。また、入山する際には火山ガスに注意してください。

安達太良山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

磐梯山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

10日と27日、29日に火山性微動が観測されましたが、その他の観測データに特段の変化はありませんでした。

GNSS連続観測で認められていた2022年後半からの山体膨張を示すわずかな変化は2023年10月頃から停滞していますが、火山性地震は2022年10月以前に比べて多い状態で経過していますので、今後の火山活動の推移に留意してください。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報警報事項に変更はありません。

※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用しています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページで閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/kazan/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土交通省東北地方整備局、国土地理院、北海道大学、弘前大学、東北大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）、青森県及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図25000（行政区・海岸線）』を使用しています。

○ 関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島の火山活動

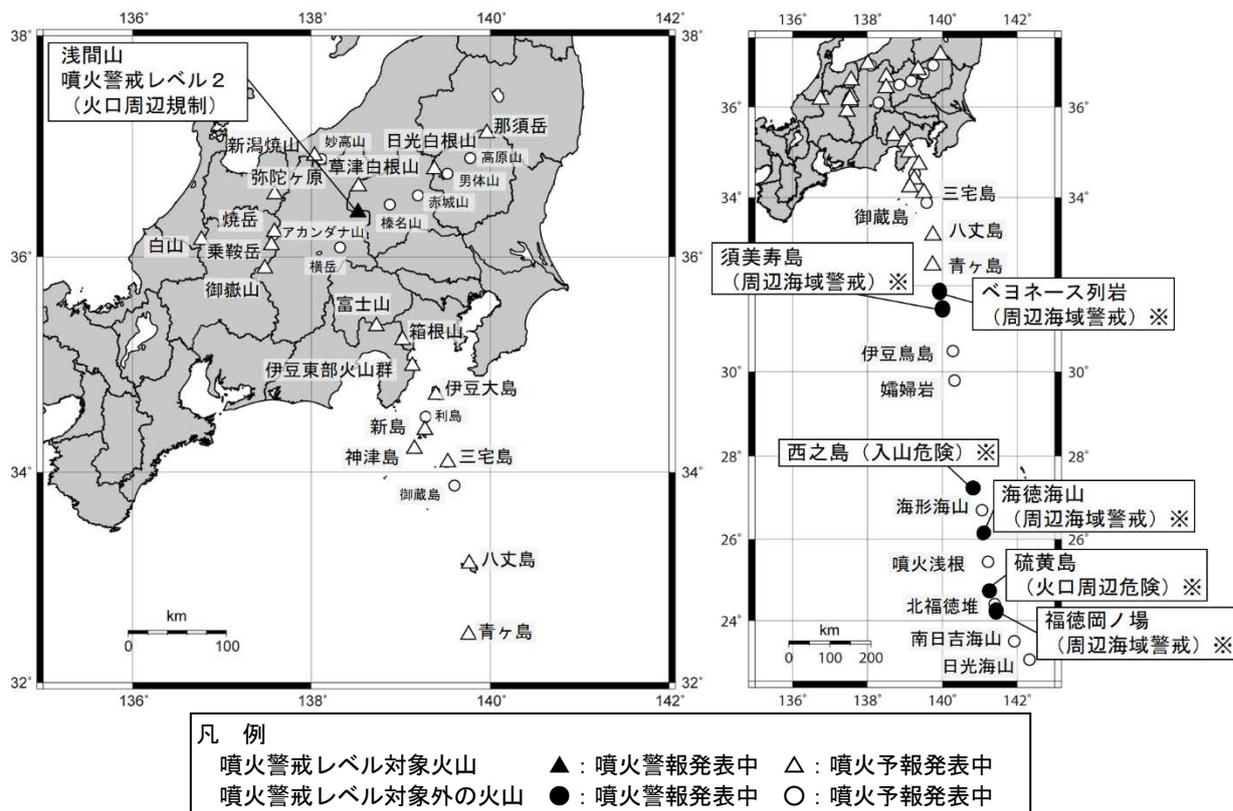
管内月間火山概況（令和6年10月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（10月31日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	入山危険	西之島※
	レベル2（火口周辺規制）	浅間山
	火口周辺危険	硫黄島※
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	ベヨネース列岩※、須美寿島※、海徳海山※、福德岡ノ場※
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	那須岳、日光白根山、草津白根山（白根山（湯釜付近）、草津白根山（本白根山）、新潟焼山、弥陀ヶ原、焼岳、乗鞍岳、御嶽山、白山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、新島、神津島、三宅島、八丈島、青ヶ島
	活火山であることに留意	高原山、男体山、赤城山、榛名山、草津白根山、横岳、妙高山、アカンダナ山、利島、御蔵島、伊豆鳥島、嬬婦岩、海形海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山

※印のついた火山は火山現象に関する海上警報も発表中です。



* 噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用されています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act.doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/kazan/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、北陸地方整備局、関東地方整備局、中部地方整備局、国土地理院、海上保安庁、海上自衛隊、東北大学、東京大学、東京科学大学、名古屋大学、京都大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、東京都、新潟県、長野県、岐阜県、神奈川県温泉地学研究所及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

各火山の活動状況及び予報警報事項（10月1日～31日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりです。

那須岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

日光白根山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

草津白根山（白根山（湯釜付近））〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

5月下旬以降、火山性地震がやや増加しています。6月頃から噴気の化学成分比に活発化を示す変化が認められます。また、傾斜計での観測によると、6月頃から湯釜付近の地下浅部を膨張源とする緩やかな地殻変動が始まっていると考えられます。

これらのことから、今後火山活動が高まる可能性があります。今後の火山活動の推移に注意してください。

湯釜火口から概ね500mの範囲では、ごく小規模な火山灰等の噴出の可能性があります。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。また、湯釜火口周辺では火山ガスの噴出がみられ、その周辺のくぼ地や谷地形などでは高濃度の火山ガスが滞留することがありますので注意してください。

草津白根山（本白根山）〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

ただし、2018年1月のように突発的に噴火が発生したことを踏まえ、今後も火口付近では、突発的な噴出に注意する必要があります。地元自治体の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

浅間山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

山体浅部を震源とする火山性地震は、4月中旬以降増加した状態が続いており、その後も消長を繰り返しています。3月中旬から認められていた山体の西側での膨張を示すと考えられる傾斜変動は、5月以降、停滞しています。火山ガス（二酸化硫黄）放出量は、1日あたり500トン前後で推移しており、2023年3月以前に比べて多い状態が続いています。引き続き、山頂火口から概ね2kmの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があります。

山頂火口から概ね2kmの範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石や火砕流に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

噴火時には、風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

新潟焼山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

弥陀ヶ原〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

地獄谷周辺の地震活動は低調で、火山活動によるとみられる地殻変動もみられませんが、地獄谷では活発な熱活動が続いていますので、今後の火山活動の推移に注意してください。また、地獄谷付近では火山ガスに注意が必要です。

焼岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

山頂付近の微小な地震が継続しています。GNSS連続観測では、山頂付近での緩やかな膨張を示すと考えられる変化が続いていますが、7月下旬からは鈍化しています。山頂付近の噴気の状況に変化は認められません。

山頂付近の地震活動や地殻変動に加え、焼岳周辺では数年おきに震度1以上を観測する地震を含む活発な地震活動がみられることから、中長期的に焼岳の火山活動は高まってきていますので、今後の火山活動の推移に注意が必要です。

山頂付近を含む想定火口域内では、突発的に火山ガス等が噴出する可能性があります。登山する際は、火山活動の異変に注意するとともに、ヘルメットを着用するなどの安全対策をしてください。また、噴気地帯にはとどまらないでください。

乗鞍岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

御嶽山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

剣ヶ峰南西斜面の一部の噴気孔では引き続き勢よく噴気が出ており、地熱域の温度は高い状態が継続していますが、長期的には温度の低下傾向がみられます。

地震活動は低調に経過しており、傾斜計及びGNSS連続観測では、火山活動によるとみられる特段の地殻変動は認められません。

火山活動は静穏に経過していますが、継続時間の短い火山性微動が時々発生しており、噴気活動も2014年の噴火前の状態には戻っていません。

地獄谷火口内では、突発的な火山灰等の噴出に引き続き注意が必要です。

地元自治体等が行う立入規制等に従い、登山する際はヘルメットを持参するなどの安全対策をしてください。

白山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過していましたが、11月4日（期間外）に山頂付近のやや深部を震源とするマグニチュード4.2（暫定値）の地震が発生した後、一時的に地震活動の高まりが認められました。

富士山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

箱根山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

地震活動は低調に経過しています。GNSS連続観測の一部基線でみられていた伸びの変化は、2024年1月頃から停滞しています。

大涌谷周辺の想定火口域では、活発な噴気活動が続いていますので、火山灰等の突発的な噴出現象に注意が必要です。

伊豆東部火山群〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

伊豆大島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

熱活動、地震活動は低調に経過し、火山性微動も発生しておらず、ただちに噴火が発生する兆候は認められません。地下深部へのマグマ供給によると考えられる1986年の噴火以降の長期的な島全体の膨張は、2018年頃からほぼ停滞しています。これまでに供給されたマグマは地下深部に蓄積されていると考えられることから、今後火山活動が活発化する可能性がありますので、火山活動の推移に注意してください。

新島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

神津島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

三宅島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

地震活動及び噴煙活動は低調で、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量も極めて少ない状態が続いていますが、主火孔周辺の地熱域では、2022年以降温度の上昇や放熱率の増加傾向が認められます。また、山体浅部の膨張を示すと考えられる村営牧場南一雄山北東間での伸びの傾向は2023年に入り停滞していますが、山体深部の膨張を示す地殻変動は続いており、地下のマグマの蓄積が進んでいると考えられます。2000年の噴火以降の中長期的なマグマの蓄積や地熱の上昇傾向からみて、今後火山活動が活発化する可能性があります。また、火口内での噴出現象が突発的に発生する可能性があります。

山頂火口内及び主火孔から500m以内では火山灰噴出に警戒してください。

八丈島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

青ヶ島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

ベヨネース列岩〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

今期間、噴火や変色水等の特異事象は認められなかったものの、明神礁付近では2023年2月に変色水が認められていることから、海底噴火の発生に引き続き警戒が必要です。

ベヨネース列岩（明神礁）の周辺海域では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。また、噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

須美^す美^み 寿^す島^{しま}〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

今期間、噴火は認められないものの、引き続き須美寿島周辺で変色水が認められており、海底噴火が発生する可能性があります。

須美寿島の周辺海域では、海底噴火に警戒してください。また、海底噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

西之島〔火口周辺警報（入山危険）及び火山現象に関する海上警報〕

山頂火口付近で噴気活動がみられ、島の周囲に変色水が引き続き認められます。今期間、噴火は観測されていませんが、2022年10月以降しばしば噴火が観測されており、比較的活発な火山活動は継続していると考えられます。

山頂火口から概ね1.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石や溶岩流に警戒してください。

海徳海山〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

今期間、噴火は認められないものの、2023年1月に変色水が認められたことから、活発な火山活動は継続しており、海底噴火が発生する可能性があります。

海徳海山の周辺海域では、海底噴火に警戒してください。また、海底噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

硫黄島〔火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報〕

今期間、硫黄島内及びその周辺海域で噴火は認められませんでした。2022年以来、^{おきなほま}翁浜沖では、マグマの噴出が繰り返し発生しており、今後も同様の噴火が発生する可能性があります。また、長期的に島全体の隆起を示す地殻変動が認められ、多くの噴気地帯や噴気孔があり、各所で小規模な噴火が時々発生していることから、翁浜沖での噴火同様、島内における小規模な噴火の発生にも警戒してください。

福徳岡ノ場〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

2021年8月下旬以降、噴火は認められないものの、引き続き、変色水域が確認されています。活発な火山活動が継続しており、今後も噴火の可能性がります。

福徳岡ノ場の周辺海域では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。噴火による浮遊物（軽石）にも注意が必要です。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

○ 近畿・中国・四国地方の火山活動

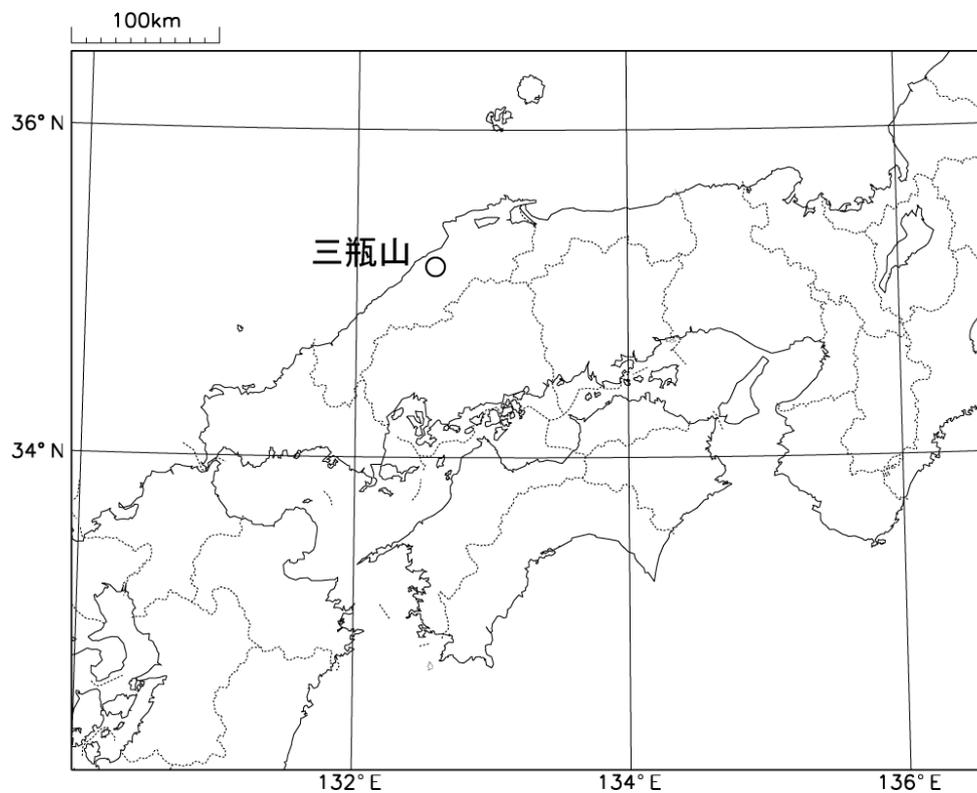
管内月間火山概況（令和6年10月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター
大阪管区气象台地震火山課

噴火警報及び噴火予報の発表状況と活動状況

三瓶山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。



この管内月間火山概況は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/kazan/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

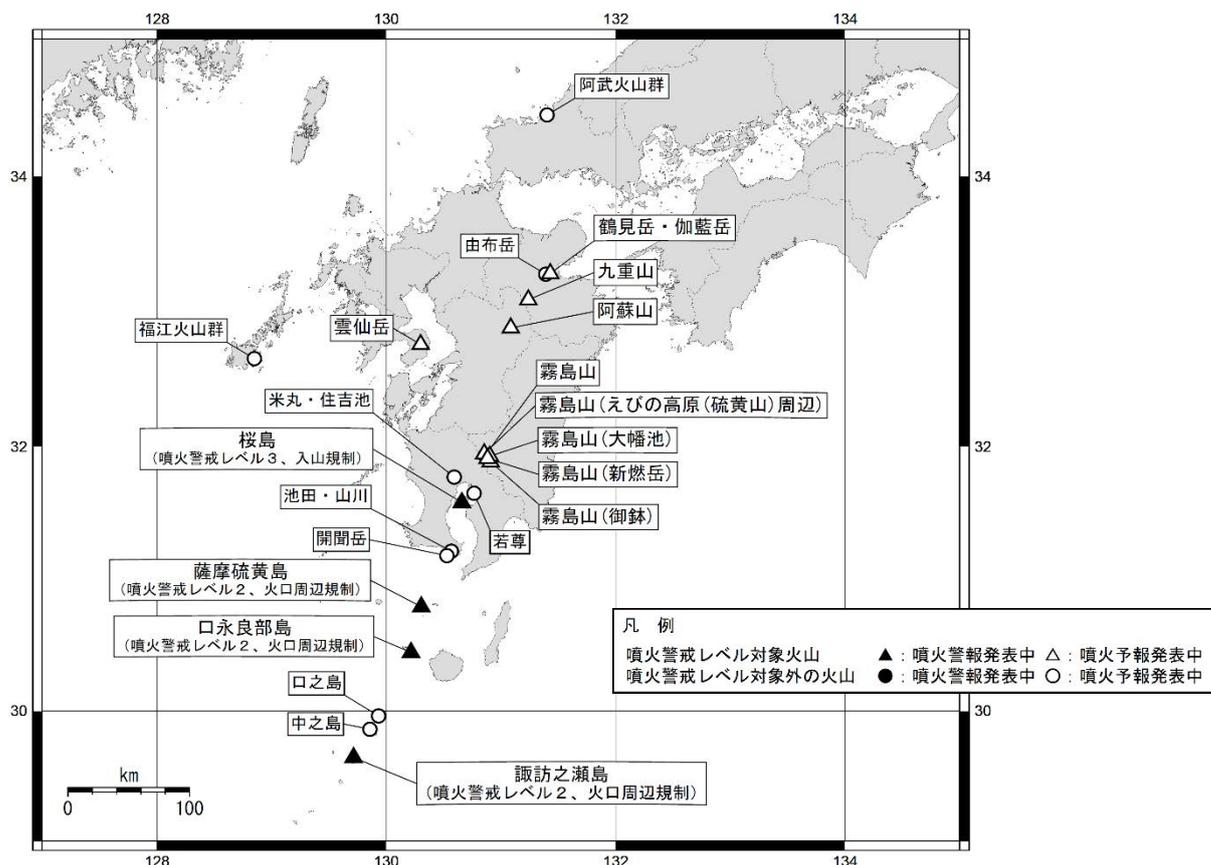
○ 九州地方の火山活動

管内月間火山概況（令和6年10月）

福岡管区气象台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（令和6年10月31日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3（入山規制）	桜島
	レベル2（火口周辺規制）	薩摩硫黄島、口永良部島、諏訪之瀬島
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	鶴見岳・伽藍岳、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）、霧島山（大幡池）、霧島山（新燃岳）、霧島山（御鉢）
	活火山であることに留意	阿武火山群、由布岳、福江火山群、霧島山、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島



噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用されています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/kazan/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、九州地方整備局、国土地理院、東京大学、京都大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、大分県、長崎県、宮崎県、鹿児島県、屋久島町、三島村、十島村及び阿蘇火山博物館のデータも利用して作成しています。

資料の地図の作成に当たって、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『電子地形図（タイル）』を使用しています。

各火山の活動状況及び予報警報事項（10月1日～31日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりです。

口永良部島では、18日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを3（入山規制）から2（火口周辺規制）に引き下げました。また火山現象に関する海上警報を解除しました。

つるみだけ がらんだけ 鶴見岳・伽藍岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山性地震は少ない状態で経過しましたが、長期的にはB型地震¹⁾が時々発生しています。その他の火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

鶴見岳・伽藍岳の想定火口域内では、噴気、火山ガス等の噴出がみられますので、注意してください。

くじゅうさん 九重山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山性地震は少ない状態であり、噴気地帯の状況にも特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。長期的には地熱域の温度は低下していますが、硫黄山付近の噴気地帯地下の温度上昇を示す全磁力の変化は継続しています。今後の火山活動に留意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

あそさん 阿蘇山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

阿蘇山では、火山活動は低下した状態で推移しています。

火山性微動の振幅は小さな状態で経過しました。火山ガス（二酸化硫黄）の1日あたりの放出量はやや多い状態でした。

GNSS連続観測では、2023年12月頃から深部にマグマだまりがあると考えられている草千里を挟む基線において伸びの傾向が認められていましたが、1月下旬以降は停滞しています。

火口内では、土砂や火山灰が噴出する可能性があります。また、火口付近では火山ガスに注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

うんぜんだけ 雲仙岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

活火山であることから、規模の小さな噴出現象が突発的に発生する可能性がありますので、留意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

きりしまやま こうげん いおうやま しゅうへん 霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺） [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

硫黄山では、活発な噴気活動が続いています。硫黄山付近の浅いところを震源とする火山性地震は少ない状態で経過しています。

硫黄山では、現時点では噴火の兆候は認められませんが、活火山であることから、現在活発な噴気活動がみられている硫黄山火口内、及び硫黄山の西側500mの噴気地帯から概ね100mの範囲では、熱水・熱泥等が飛散する可能性がありますので注意してください。また、火山ガスにも注意が必要です。地元自治体等が行う立ち入り規制に従うとともに、火口周辺や噴気孔の近くにはとどまらないでください。

きりしまやま おおはたいけ 霧島山（大幡池） [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

活火山であることから、規模の小さな噴出現象が突発的に発生する可能性がありますので、留意してください。

霧島山（新燃岳）きりしまやま しんもえだけ [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

新燃岳では、火口直下を震源とする火山性地震は少ない状態で経過しています。

GNSS連続観測では、霧島山を挟む基線において、2022年11月頃から、霧島山の深い場所でのマグマの蓄積を示すと考えられる伸びがみられていましたが、2023年4月以降は停滞しています。

火山活動に高まりは認められず、噴火の兆候は認められませんが、活火山であることから、新燃岳火口内、火口縁及び西側斜面の割れ目付近では、火山灰の噴出や火山ガス等に注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

霧島山（御鉢）きりしまやま おはち [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

活火山であることから、火口内でごく少量の火山灰等を噴出する規模の小さな現象が突発的に発生する可能性がありますので注意してください。

地元自治体等が行う立入規制等に留意してください。

桜島さくらじま [火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）]

南岳山頂火口では、噴火²⁾が5回発生し、このうち爆発³⁾は3回でした。噴煙は最高で火口縁上4,000mまで上がり、弾道を描いて飛散する大きな噴石は最大で5合目（南岳山頂火口より約1,300m）まで達しました。

昭和火口では、ごく小規模なものも含め噴火は発生しませんでした。

広域のGNSS連続観測によると、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部にマグマが長期にわたり蓄積した状態と考えられます。また、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は概ね多い状態であることから、今後噴火活動が再び活発化すると考えられます。

南岳山頂火口及び昭和火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るため注意してください。爆発に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。なお、今後の降灰状況次第では、降雨時に土石流が発生する可能性がありますので留意してください。

薩摩硫黄島さつまいおうじま [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

火山性地震や火山性微動の発生状況に特段の変化はありません。

火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は1日あたり1,000トン前後の状態が長期的に継続しており、時折噴煙が高くなるほか、夜間に火映を観測しています。長期的には噴煙活動や熱活動が高まった状態が続いていることから、硫黄岳火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性があります。

硫黄岳火口の中心から概ね0.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガスにも注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

くちのえらぶしま

口永良部島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）] ←18日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを3（入山規制）から2（火口周辺規制）に引下げ。火山現象に関する海上警報を解除。

口永良部島では、主に古岳火口付近の浅いところを震源とする火山性地震が4月以降多い状態で経過していましたが、8月中旬頃から減少しています。その他の観測データにも、火山活動の活発化を示す特段の変化は認められません。

火山活動に低下傾向が認められることから、18日11時00分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを3（入山規制）から2（火口周辺規制）に引き下げました。

その後も火口付近の浅いところでは、やや活発な地震活動が継続しており、引き続き、新岳火口及び古岳火口の周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生するおそれがあります。

新岳火口及び古岳火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。また、西側は新岳火口から概ね2kmの範囲では、火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

すわのせしま

諏訪之瀬島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

御岳（おたけ）火口では、噴火活動が続いています。

噴火に伴う噴煙は、最高で火口縁上2,000mまで上がりました。弾道を描いて飛散する大きな噴石は、火口中心から最大で約500mまで飛散しました。

GNSS連続観測では、島の西側深部におけるマグマの蓄積量の更なる増加と推定される変動は認められません。島の西側で発生していると推定される火山性地震は、概ね少ない状態で経過しています。

御岳火口では長期にわたり噴火活動が継続しており、今後も火口周辺に大きな噴石が飛散する噴火活動が継続すると考えられます。

御岳火口中心から概ね1.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

上記以外の火山の活動状況に変化はなく、予報事項に変更はありません。

- 1) 一般的に、火山性地震のうち、相が不明瞭で、比較的周期が長いものをB型地震と呼んでいます。火道内のガスの移動やマグマの発泡などにより発生すると考えられています。
- 2) 桜島では噴火活動が活発なため、噴火のうち、爆発もしくは噴煙量が中量以上（概ね噴煙の高さが火口縁上1,000m以上）の噴火の回数を計数しています。資料の噴火回数はこの回数を示します。また、基準に達しない噴火は、ごく小規模な噴火として噴火回数に含めていません。
- 3) 桜島では、火道内の爆発による地震を伴い、爆発音、体に感じる空気の振動、噴石の火口外への飛散、または、气象台や島内の観測点で一定基準以上の空気の振動のいずれかを観測した場合に爆発としています。

○ 沖縄地方の火山活動

管内月間火山概況（令和6年10月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター
沖縄気象台地震火山課

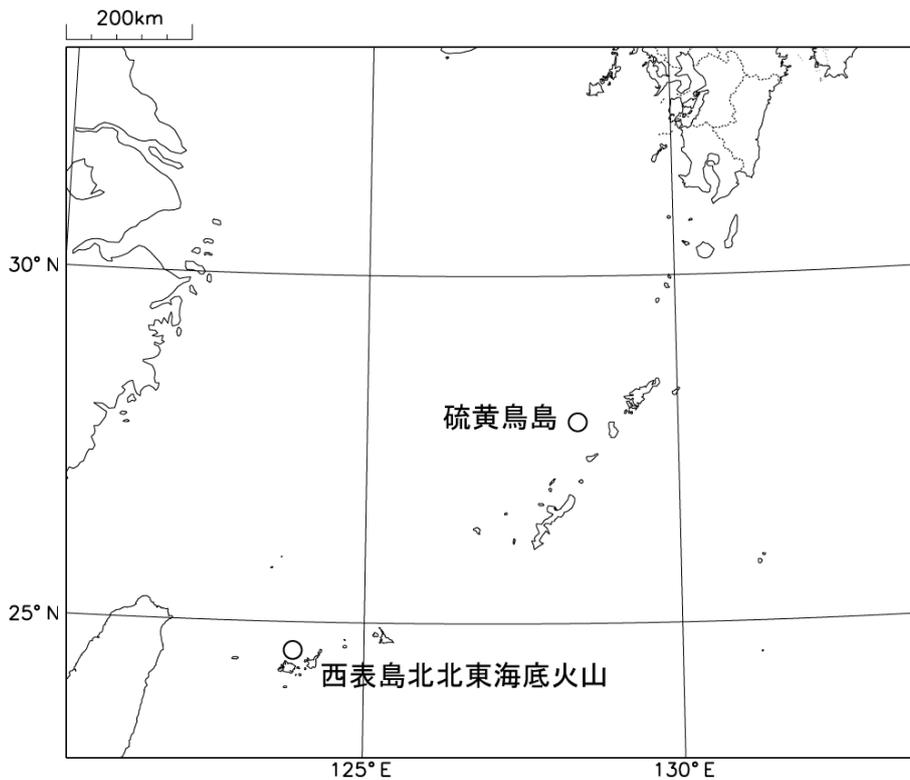
噴火警報及び噴火予報の発表状況と活動状況

硫黄鳥島〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

西表島北北東海底火山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。



この管内月間火山概況は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/kazan/kazanyougo/mokuji.html>

資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

表 令和6年10月の火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報の発表履歴

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する特別警報・警報・予報・情報等		概要
桜島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、 入山規制)	解説情報 第81～88号	4日、7日、11日、14日、18日、21日、25日、28日 16時00分	活発な噴火活動が継続。南岳山頂火口の爆発、噴火、噴煙、大きな噴石飛散、火映の状況。18日の爆発で噴煙が火口縁上4000mまで上がり、大きな噴石は5合目（火口より約1300m）まで達した。昭和火口では噴火及び火映は観測されず。現地調査による火山ガス（二酸化硫黄）放出量は、2500、4000 [t/日]（18日、21日）で非常に多い。 火山性地震、微動の発生状況。 GNSS連続観測では、桜島島内の基線で1月頃から山体収縮のわずかな縮みがみられ、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）を挟む基線では長期にわたり地下深部の膨張を示す緩やかな伸びがみられる。 始良カルデラ地下深部にマグマが蓄積した状態で、火山ガス放出量も概ね多いことから、今後も噴火活動が継続すると考えられる。
		降灰予報(速報)	18日 01時40分	噴火発生から1時間以内に予想される、降灰量分布や小さな噴石の落下範囲。
		降灰予報(詳細)	18日 01時51分	噴火発生から6時間先まで（1時間ごと）に予想される降灰量分布、降灰開始時刻。
口永良部島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、 火口周辺規制)	解説情報 第84～87号	4日、7日 16時00分 11日 16時05分 14日 16時00分	9～11日の現地調査で、引き続き古岳火口周辺及び新岳火口西側割れ目付近に地熱域を確認。10日の鹿児島県協力による上空からの観測で、新岳火口及び古岳火口において火口内に留まる程度の白色の噴煙と、火口内やその周辺で地熱域を確認。前回と比較して特段の変化はない。 火山性地震は古岳火口付近浅部でやや多い。新岳火口で白色噴煙を観測。GNSS観測で、2023年11月頃にかけて古岳付近の膨張を示す変動がみられ維持されている。火山ガスの放出量や古岳の地熱活動は2023年6月からの活動以前より高まった状態。新岳火口及び古岳火口の周辺において噴火の可能性がある。
		火口周辺警報	18日 11時00分	主に古岳火口付近の火山性地震は8月中旬頃から減少。火山活動に低下傾向が認められるが、火口付近浅部のやや活発な地震活動と、火山ガス（二酸化硫黄）の放出は継続。 新岳火口及び古岳火口から1kmを超え、また西側は新岳火口から2kmを超えて影響を及ぼす噴火の可能性は低くなったが、引き続き火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火のおそれがある。
	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第88～89号	18日 11時10分 25日 16時00分	23日の現地調査で、引き続き古岳火口周辺及び新岳火口西側割れ目付近の地熱域と、古岳火口で火口縁をわずかに越える白色の噴煙を確認。古岳火口付近で火山性地震が8月中旬頃から減少。新岳火口付近の火山性地震は少ない。火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、2023年8～12月より減少しているが、2023年6月以前より多い。GNSS連続観測で、2023年6月頃～11月頃の古岳付近の膨張を示す変動は、膨張した状態が維持されている。 火口付近浅部でやや活発な地震活動が継続し、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量や古岳の地熱活動は2023年6月からの活発化以前より高まった状態で、新岳火口及び古岳火口の周辺に影響を及ぼす程度の噴火の可能性がある。

令和6年10月 地震・火山月報（防災編）

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する特別警報・警報・予報・情報等		概要
岩手山	噴火予報 (噴火警戒レベル1、活火山であることに留意)		(前月から継続)	
	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、火口周辺規制)	火口周辺警報	2日 15時00分	国土地理院による「だいち2号」(9/26観測)のSAR干渉解析結果で、大地獄谷周辺に衛星に近づく変動が見られる。この変動は大地獄谷付近のごく浅部の膨張を示していると考えられる。西岩手山の想定火口から概ね2kmの範囲に影響を及ぼす噴火の可能性があるので警戒。
		解説情報 第9～13号	2日 15時10分 4日、11日、18日、25日 16時00分	傾斜計やひずみ計、GNSS連続観測で、2月頃から山体深部の膨張を示す変動が観測されている。国土地理院による「だいち2号」(9/26、10/8観測)のSAR干渉解析結果で大地獄谷周辺に衛星に近づく変動が見られ、付近のごく浅部の膨張と考えられる。黒倉山付近で微小な火山性地震が引き続き観測されている。10日の山頂付近の現地調査では、これまでの観測と比較して地熱等の状況に特段の変化は認められなかった。
浅間山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、火口周辺規制)	解説情報 第80～87号	4日、7日、11日、14日、18日、21日、21日、25日、28日 16時00分	火山性地震は、4月中旬以降増加した状態。3月中旬からの山体西側の膨張を示す傾斜変動は、4月下旬から鈍化し5月以降は停滞。火山ガス(二酸化硫黄)放出量は300、300、700[t/日](2、7、22日)、2023年3月以前より多い。引き続き、火口から概ね2kmに影響する噴火の可能性はある。
薩摩硫黄島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、火口周辺規制)	解説情報 第42～45号	7日、14日、21日、28日 16時00分	硫黄岳火口で1日に噴火が発生、噴煙は火口縁上1000m。大きな噴石は観測されず。噴火は2020年10月6日以来。9～11日の現地調査で特段の変化なし。火山性地震は少ない状態。火山性微動はなし。GNSS連続観測では、山体の膨張を示す変化はない。長期的には熱活動や噴煙活動が高まった状態が続き、火口周辺に影響する噴火の可能性はある。
諏訪之瀬島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、火口周辺規制)	解説情報 第47～50号	7日、14日、21日、28日 16時00分	噴火活動が継続。爆発、大きな噴石の飛散、噴煙、降灰、火映の状況。火山性微動は主に噴火に伴って発生。島の西側付近で火山性地震が26日に一時的に増加。その後は少ない状態。GNSS連続観測では島の西側深部のマグマ蓄積量増加を示す変動は認められない。長期にわたり噴火活動が継続しており、火口周辺では大きな噴石が飛散する可能性がある。
		降灰予報(速報)	11日 07:47, 11:38, 23日 01:11, 27日 07:58, 16:42, 29日 07:20	噴火発生から1時間以内に予想される、降灰量分布や小さな噴石の落下範囲。
		降灰予報(詳細)	1日 13:38, 15:19, 18:11, 4日 13:44, 15:11, 7日 10:32, 14:02, 11日 08:00, 11:55, 22日 17:57, 23日 01:18, 27日 08:12, 16:51, 29日 07:30	噴火発生から6時間先まで(1時間ごと)に予想される降灰量分布、降灰開始時刻。

注1) 表中、解説情報とは「火山の状況に関する解説情報」のことである。

注2) 岩手山、浅間山、桜島、薩摩硫黄島、口永良部島、諏訪之瀬島においては、噴火警報を発表している間、毎日02時から3時間毎に8回降灰予報(定時)を発表している。岩手山では、2日17時に発表を開始した。

● 世界の主な地震

令和6年（2024年）10月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0以上または被害を伴った地震の震央分布を図1に示す。また、その震源要素等を表1に示す。

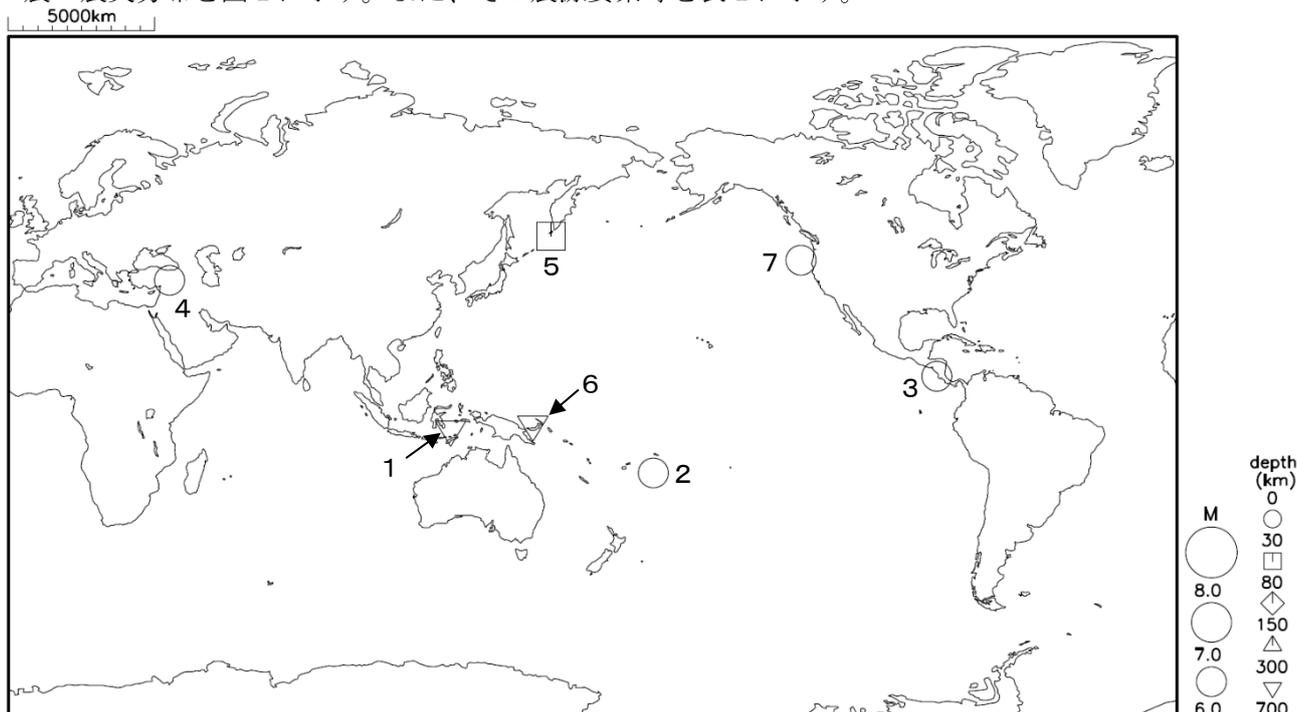


図1 令和6年（2024年）10月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震央分布

表1 令和6年（2024年）10月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Mj	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北西	遠地
1	10月01日18時28分	S 5° 58.9′	E124° 53.9′	576			6.1	バンダ海			
2	10月02日05時05分	S19° 17.3′	W173° 0.0′	10			6.6	トンガ諸島			
3	10月13日02時43分	N10° 29.2′	W 86° 10.2′	16			6.2	コスタリカ沖			
4	10月16日16時46分	N38° 18.5′	E 38° 49.5′	10			6.0 _G	トルコ	負傷者約200人		
5	10月23日23時38分	N49° 24.0′	E155° 41.8′	49			6.2	千島列島			
6	10月30日21時18分	S 4° 27.0′	E150° 5.2′	521			6.0	バブアニューギニア、ニューブリテン			
7	10月31日05時15分	N43° 32.6′	W127° 47.9′	10			6.0	米国、オレゴン州沖			

- ・震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの” Search Earthquake Catalog” (<https://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による (2024年11月5日現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Mjの欄に記載したマグニチュード、Mwの欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは気象庁による。Mwの欄に下付きで「G」を付して記載したモーメントマグニチュードは、Global CMTによる。
- ・被害状況は、出典のないものはOCHA (UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs : 国連人道問題調整事務所、2024年11月5日現在) による。
- ・地震発生時刻は日本時間 [日本時間=協定世界時+9時間] である。
- ・「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報 (NWPTA) (※) を発表したことを表す。
※気象庁ホームページの「国際的な津波監視体制」 (<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/joho/nwpta.html>) 参照。
- ・「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。

10月16日 トルコの地震

2024年10月16日16時46分（日本時間、以下同じ）にトルコの深さ10kmでMw6.0（MwはGlobal CMTによるモーメントマグニチュード）の地震が発生した。この地震の発震機構（Global CMTによる）は北北東-南南西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。

この地震により、負傷者約200人などの被害が生じた（2024年10月17日現在）。

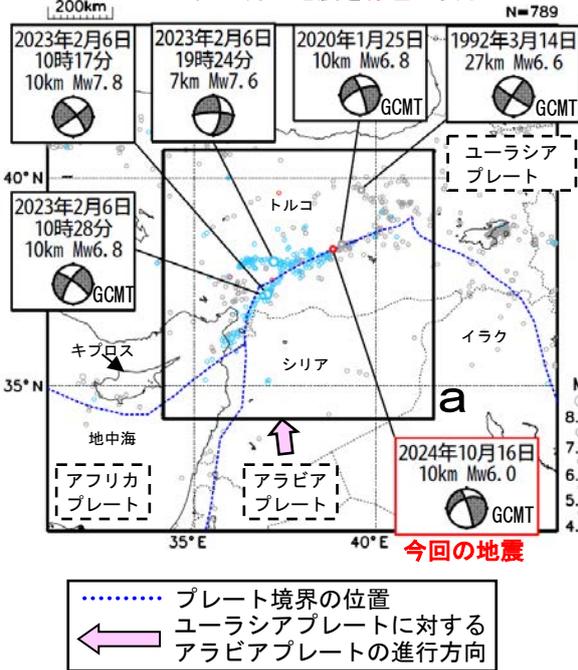
今回の地震の震央付近（領域b）では、2023年2月6日にMw7.8の地震及びMw7.6の地震が発生し、死者59,259人などの被害が生じた。今回の地震は、2023年2月6日からの主な地震活動域の北東側で発生した。

今回の地震の震央付近は、ユーラシアプレートとアラビアプレートの境界に位置する地域である。1980年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域a）では、M6.0以上の地震が時々発生している。2020年1月25日にはMw6.8の地震が発生し、死者41人、負傷者約1,600人などの被害が生じた。

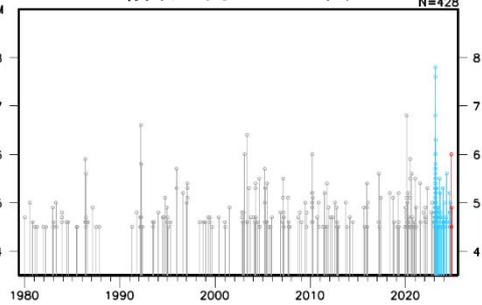
震央分布図

（1980年1月1日～2024年10月31日、深さ0～30km、M≥4.5）

2023年2月6日以降の地震を水色、
2024年10月の地震を赤色で表示



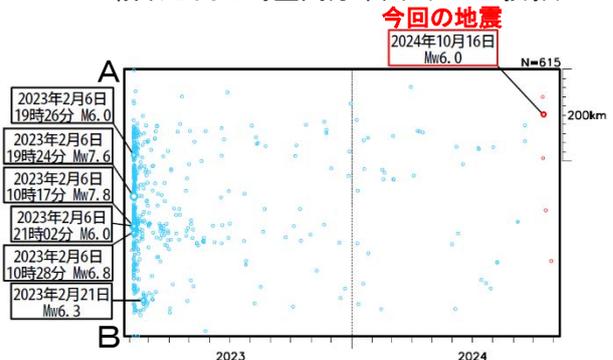
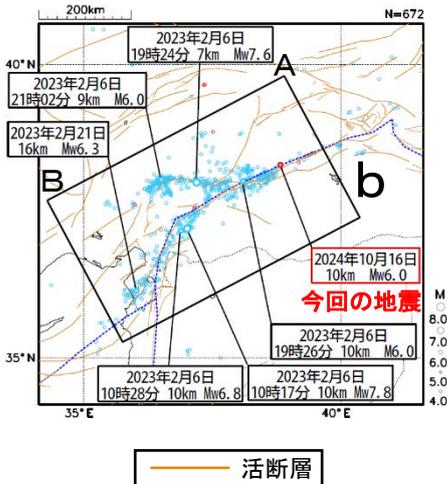
領域a内のM-T図



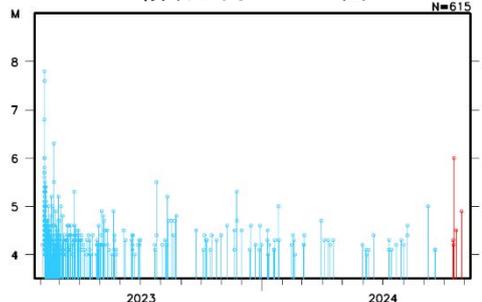
領域b内の時空間分布図 (A-B投影)

領域a内の拡大図

(2023年2月1日～2024年10月31日、M≥4.0)



領域b内のM-T図



※震源要素は、米国地質調査所 (USGS) による (2024年11月5日現在)。ただし、吹き出しを付けた地震の発震機構及びMwは、2023年2月6日10時17分の地震及び同日19時24分の地震は気象庁、その他の地震はGlobal CMTによる。地震の被害は、OCHA (UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs: 国連人道問題調整事務所、2024年10月17日現在) による。プレート境界の位置はBird (2003)^{*1}、活断層はStyron and Pagani (2020)^{*2}より引用。

^{*1} 参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

^{*2} 参考文献 Styron, R. and Pagani, M. (2020) The GEM Global Active Faults Database. *Earthquake Spectra*, 36(1), pp. 160-180, doi:10.1117/8755293020944182.

● 世界の主な火山活動

令和6年（2024年）10月に顕著な被害を伴った噴火が報告された主な火山（日本を除く）*は以下のとおり（期間外含む）。

レウオトビ（Lewotobi） インドネシア

10月30日から11月5日（期間外）にかけて、レウオトビ・ラキラキ山で噴火活動が活発化した。爆発的な噴火が3日から4日にかけて発生し、火砕流が四方に流下し、噴石は最も遠方で7kmまで達した。この噴火により、多くの地域が火山灰に覆われ、住宅地では火災が生じた。半径7km以内の家屋が被害を受け、死者9人、重体1人、重軽傷63人、1万人以上の避難が報告されている（5日現在）。その後、7日11時30分頃（日本時間12時30分頃）には、噴煙が高度約15000mに達する噴火が発生した。

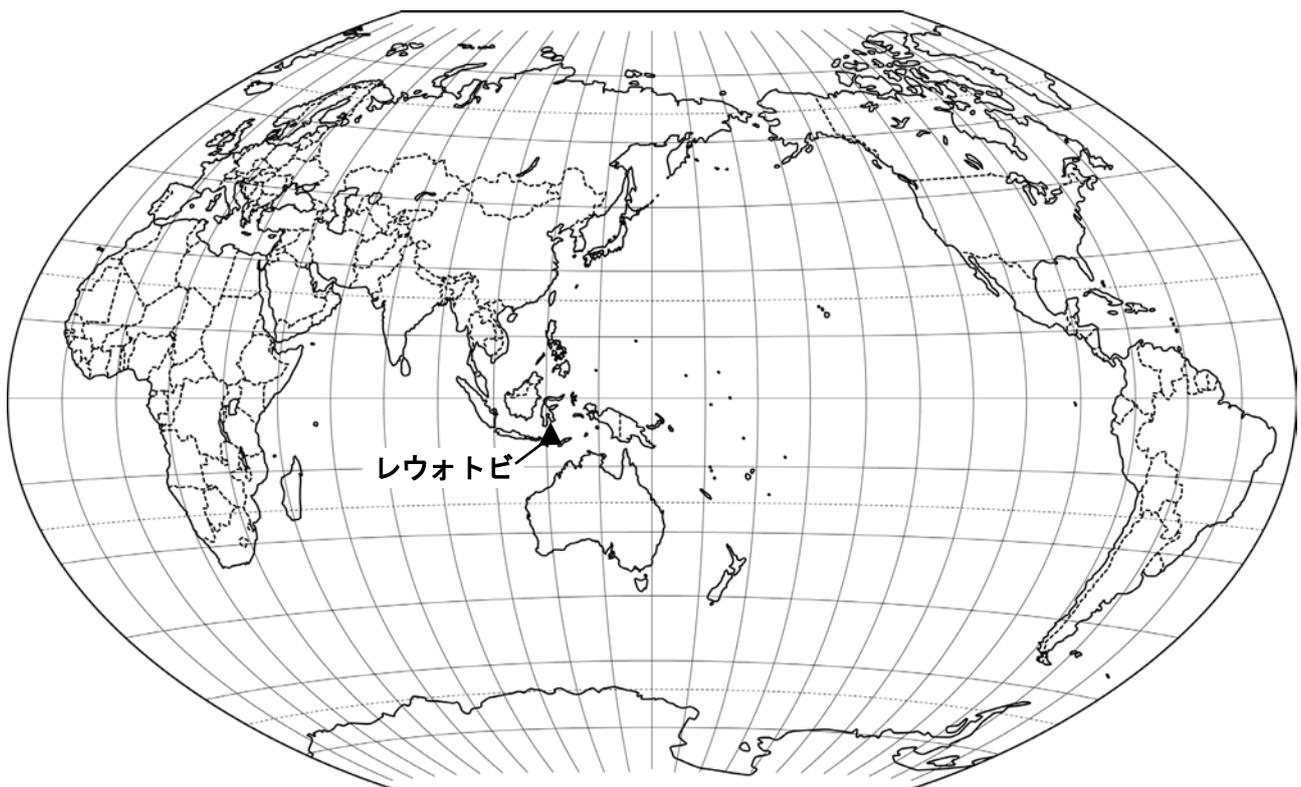


図 令和6年（2024年）10月に顕著な被害を伴った噴火が発生した主な火山（日本を除く）*

* 米国スミソニアン自然史博物館のホームページ“Global Volcanism Program | Smithsonian / USGS Weekly Volcanic Activity Report” (https://volcano.si.edu/reports_weekly.cfm) 及びダーウィン VAAC による。日付は全て現地時間。

● 付録1. 震度1以上を観測した地震の表

令和6年10月中に震度1以上を観測した地震は143回であった。

※ 震度データは、震度データベース検索 [気象庁ホームページ: <https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/index.php>] で確認できる。震源要素及び震度は再調査後、修正することがある。確定した震源要素は地震月報（カタログ編） [気象庁ホームページ: <https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/bulletin/index.html>] に掲載する。

※ 震度データは都道府県別に掲載し、各観測点の末尾に計測震度（平成25年12月 地震・火山月報（防災編）の付録2参照）を記す。なお、*のついている地点は、地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点、（注）を付した地震については、近接した地域ではほぼ同時刻に発生した地震であるため震度の分離ができないことを示す。震源の深さの後に'F'を付した地震は、その深さに仮定して震源決定していることを示す。また、本文中で震源の深さにCMT解による深さを採用している場合があり、本表の震源決定による深さと異なる場合がある。震度3以上を観測した地震については、震源要素を**太字**で表示する。

地震番号	震源時 日 時 分	震源地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
1	1 00 20	栃木県北部 栃木県 1 日光市足尾町中才* =0.6	36° 38.0' N	139° 26.0' E	9km	M: 2.5
2	1 05 11	能登半島沖 石川県 1 珠洲市大谷町* =1.1	37° 31.4' N	137° 14.4' E	11km	M: 3.3
3	1 14 52	九州地方南東沖 宮崎県 1 宮崎美郷町田代* =0.7	31° 25.5' N	132° 36.8' E	54km	M: 3.9
4	1 15 33	父島近海 東京都 2 小笠原村母島 =1.6	26° 37.7' N	142° 37.7' E	32km	M: 4.4
5	1 16 03	千葉県東方沖 茨城県 1 神栖市波崎* =0.5 千葉県 1 銚子市小畑新町 =1.2 銚子市川口町 =0.9	35° 48.4' N	140° 53.5' E	11km	M: 3.6
6	1 16 12	トカラ列島近海 鹿児島県 1 奄美市名瀬港町 =0.9 宇検村湯湾* =0.5	28° 44.5' N	129° 13.2' E	80km	M: 3.5
7	1 18 52	石川県西方沖 石川県 1 志賀町香能* =0.5	37° 01.0' N	136° 26.4' E	9km	M: 3.4
8	2 23 40	千葉県東方沖 茨城県 1 神栖市波崎* =0.8 千葉県 1 銚子市小畑新町 =0.9	35° 32.1' N	140° 58.7' E	33km	M: 4.3
9	3 05 08	石川県能登地方 石川県 2 穴水町大町* =1.7 1 志賀町富来領家町 =0.7	37° 10.6' N	136° 49.8' E	11km	M: 3.2
10	3 19 58	高知県中部 徳島県 1 美馬市木屋平* =0.6	33° 47.0' N	133° 55.1' E	34km	M: 3.0
11	4 05 20	十勝地方中部 北海道 1 浦幌町桜町* =1.2 豊頃町茂岩本町* =0.5	42° 42.0' N	143° 20.2' E	104km	M: 3.5
12	4 06 48	広島県北部 広島県 2 庄原市高野町* =2.3 1 庄原市比和町* =0.8 島根県 1 雲南市掛合町掛合* =0.5	35° 00.7' N	132° 56.0' E	7km	M: 2.9
13	4 08 07	広島県北部 広島県 1 庄原市高野町* =0.7	35° 00.6' N	132° 56.0' E	7km	M: 1.8
14	4 10 22	福島県会津 福島県 1 檜枝岐村上河原* =1.2	37° 02.9' N	139° 21.8' E	7km	M: 2.1
15	4 13 19	広島県北部 広島県 2 庄原市高野町* =1.5	35° 00.7' N	132° 56.0' E	7km	M: 2.2
16	4 16 37	熊本県熊本地方 熊本県 1 熊本西区春日 =0.9	32° 42.5' N	130° 38.0' E	12km	M: 2.4
17	4 19 02	石川県能登地方 石川県 1 輪島市河井町* =0.7	37° 20.4' N	137° 00.9' E	10km	M: 2.9
18	4 22 18	岩手県内陸北部 岩手県 1 八幡平市叭田* =0.6	40° 06.3' N	141° 06.1' E	8km	M: 2.2

令和6年10月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
19	5 06 17	三重県南東沖 栃木県 1 宇都宮市明保野町=0.6	33° 52.6' N	137° 15.6' E	369km	M: 3.4
20	5 08 58	熊本県熊本地方 熊本県 3 熊本西区春日=3.2 宇城市不知火町*=2.7 宇土市浦田町*=2.6 2 宇城市松橋町=2.4 宇城市豊野町*=2.2 熊本南区富合町*=2.2 菊池市旭志*=1.7 玉名市天水町*=1.7 熊本南城区南町*=1.6 嘉島町上島*=1.5 熊本美里町永富*=1.5 熊本北区植木町*=1.5 1 熊本中央区大江*=1.4 上天草市大矢野町=1.4 熊本美里町馬場*=1.3 玉名市横島町*=1.3 甲佐町豊内*=1.3 益城町宮園*=1.2 山都町浜町*=1.2 菊陽町久保田*=1.1 合志市竹迫*=1.1 山鹿市鹿央町*=1.1 熊本東区佐土原*=1.1 宇城市三角町*=1.1 八代市鏡町*=1.0 菊池市隈府*=1.0 宇城市小川町*=1.0 大津町大津*=1.0 上天草市松島町*=1.0 氷川町島地*=0.9 山鹿市菊鹿町*=0.9 八代市泉支所*=0.8 山鹿市鹿本町*=0.8 和水町江田*=0.8 御船町御船*=0.7 八代市新地町*=0.7 大津町引水*=0.7 玉名市中尾*=0.7 八代市坂本町*=0.6 芦北町芦北=0.6 玉東町木葉*=0.6 八代市平山新町=0.5 八代市泉町=0.5 長崎県 1 雲仙市小浜町雲仙=0.8 島原市有明町*=0.7 宮崎県 1 川南町川南*=0.8 宮崎美郷町田代*=0.7 西都市上の宮*=0.6	32° 42.5' N	130° 37.9' E	12km	M: 3.7
21	5 16 05	石川県能登地方 石川県 1 穴水町大町*=1.0	37° 11.2' N	136° 49.4' E	12km	M: 2.9
22	5 18 56	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村悪石島*=1.2	29° 26.5' N	129° 27.1' E	28km	M: 2.8
23	6 02 19	宮崎県南部山沿い 宮崎県 1 小林市真方=1.2 小林市野尻町東麓*=0.8	31° 57.8' N	130° 56.7' E	9km	M: 2.5
24	6 06 21	石川県能登地方 石川県 2 輪島市鳳至町=2.0 1 輪島市河井町*=1.2	37° 23.9' N	136° 52.5' E	8km	M: 2.5
25	6 10 49	宮城県沖 福島県 2 福島伊達市霊山町*=1.7 1 新地町谷地小屋*=1.4 相馬市中村*=1.3 田村市船引町=1.3 飯館村伊丹沢*=1.3 田村市常葉町*=1.2 田村市都路町*=1.1 福島伊達市梁川町*=1.1 国見町藤田*=1.1 川俣町五百田*=1.1 大熊町大川原*=1.0 福島伊達市月館町*=1.0 二本松市油井*=1.0 南相馬市鹿島区西町*=1.0 檜葉町北田*=0.9 本宮市本宮*=0.9 二本松市針道*=0.8 南相馬市原町区三島町=0.8 福島市桜木町*=0.8 福島市五老内町*=0.7 双葉町長塚*=0.6 浪江町幾世橋=0.6 福島市花園町=0.6 南相馬市原町区高見町*=0.6 玉川村小高*=0.5 岩手県 1 一関市室根町*=0.6 一関市千厩町*=0.5 宮城県 1 登米市豊里町*=1.1 丸森町上滝=1.1 石巻市桃生町*=1.1 涌谷町新町裏=0.9 大崎市田尻*=0.8 岩沼市桜*=0.8 名取市増田*=0.7 亶理町悠里*=0.7 山元町浅生原*=0.7 登米市南方町*=0.7 宮城川崎町前川*=0.7 柴田町船岡=0.6 登米市中田町=0.6 石巻市北上町*=0.5 松島町高城=0.5 大崎市古川旭*=0.5 角田市角田*=0.5 仙台宮城野区苦竹*=0.5	37° 57.0' N	141° 43.2' E	57km	M: 4.0
26	6 15 13	小笠原諸島西方沖 東京都 1 小笠原村母島=1.2 小笠原村父島三日月山=0.5	28° 07.5' N	140° 06.7' E	434km	M: 4.2
27	6 17 09	福島県沖 宮城県 1 亶理町悠里*=0.9 角田市角田*=0.9 岩沼市桜*=0.8 石巻市桃生町*=0.8 山元町浅生原*=0.7 宮城川崎町前川*=0.7 登米市中田町=0.5 名取市増田*=0.5 福島県 1 相馬市中村*=1.4 田村市大越町*=1.3 南相馬市鹿島区西町*=1.3 飯館村伊丹沢*=1.2 福島伊達市霊山町*=1.2 国見町藤田*=1.0 大熊町大川原*=0.9 福島伊達市梁川町*=0.9 新地町谷地小屋*=0.8 田村市船引町=0.8 浪江町幾世橋=0.7 田村市常葉町*=0.7 南相馬市原町区高見町*=0.7 川俣町五百田*=0.6 南相馬市原町区三島町=0.5	37° 45.5' N	141° 34.6' E	53km	M: 4.0
28	6 19 06	釧路沖 北海道 1 標茶町塘路*=0.5	42° 18.2' N	144° 28.3' E	13km	M: 4.1
29	7 01 43	茨城県南部 茨城県 1 土浦市常名=1.4 坂東市馬立*=1.1 筑西市舟生=0.9 坂東市役所*=0.7 笠間市笠間*=0.7 桜川市真壁*=0.6 石岡市柿岡=0.6 つくば市小荊*=0.5 土浦市田中*=0.5 土浦市藤沢*=0.5 笠間市石井*=0.5 栃木県 1 下野市笹原*=0.7 壬生町壬生甲*=0.6 下野市田中*=0.5 埼玉県 1 久喜市下早見=0.6	36° 08.8' N	139° 50.5' E	50km	M: 3.2
30	7 02 20	宮城県沖 岩手県 3 一関市千厩町*=2.5 2 一関市室根町*=2.3 一関市藤沢町*=2.2 一関市花泉町*=2.1 一関市東山町*=2.1 奥州市衣川*=2.0 大船渡市猪川町=1.9 大船渡市大船渡町=1.9 釜石市中妻町*=1.8 平泉町平泉*=1.7 奥州市前沢*=1.7 北上市相去町*=1.7 一関市大東町=1.7 一関市竹山町*=1.6 住田町世田米*=1.5 大槌町上町*=1.5 釜石市只越町=1.5 1 一関市川崎町*=1.4 奥州市胆沢*=1.4 金ヶ崎町西根*=1.2 陸前高田市高田町*=1.2	38° 33.4' N	141° 48.6' E	42km	M: 4.4

令和6年10月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模	
		宮城県 3 大船渡市盛町*1.1 盛岡市蕨川*1.1 奥州市江刺*1.1 花巻市東和町*1.1 山田町大沢*1.0 北上市柳原町*1.0 遠野市青笹町*1.0 宮古市区界*1.0 宮古市田老*0.9 山田町八幡町*0.9 矢巾町南矢幅*0.9 宮古市鉾ヶ崎*0.8 奥州市水沢佐倉河*0.7 花巻市大迫町*0.7 宮古市五月町*0.7 宮古市茂市*0.6 盛岡市山王町*0.6 花巻市石鳥谷町*0.6 盛岡市渋民*0.5 八幡平市田頭*0.5 2 涌谷町新町裏*2.9 登米市豊里町*2.9 石巻市桃生町*2.9 登米市南方町*2.7 登米市中田町*2.5 大崎市古川大崎*2.5 大崎市古川旭*2.5 大崎市田尻*2.5 登米市東和町*2.5 2 栗原市栗駒*2.4 登米市米山町*2.4 栗原市鶯沢*2.3 登米市津山町*2.3 宮城美里町北浦*2.3 石巻市北上町*2.3 大崎市古川三日町*2.2 南三陸町歌津*2.1 栗原市瀬峰*2.1 栗原市一迫*2.1 登米市迫町*2.1 栗原市若柳*2.0 宮城加美町中新田*2.0 登米市石越町*2.0 大崎市鳴子*2.0 栗原市金成*2.0 栗原市高清水*1.9 栗原市志波姫*1.8 登米市登米町*1.8 大崎市鹿島台*1.8 栗原市築館*1.8 石巻市相野谷*1.8 石巻市前谷地*1.8 色麻町四籠*1.7 大崎市松山*1.7 岩沼市桜*1.7 石巻市泉町*1.7 石巻市大街道南*1.7 栗原市花山*1.7 大崎市岩出山*1.6 石巻市雄勝町*1.6 東松島市矢本*1.6 南三陸町志津川*1.5 気仙沼市笹が陣*1.5 亙理町悠里*1.5 仙台青葉区大倉*1.5 松島町高城*1.5 大衡村大衡*1.5 1 気仙沼市唐桑町*1.4 仙台青葉区作並*1.4 宮城美里町木間塚*1.3 山元町浅生原*1.3 気仙沼市本吉町西川内*1.3 東松島市小野*1.3 大郷町粕川*1.3 気仙沼市本吉町津谷*1.3 宮城加美町小野田*1.3 仙台宮城野区苦竹*1.2 大和町吉岡*1.2 気仙沼市赤岩*1.2 石巻市鮎川浜*1.1 女川町女川*1.1 大崎市三本木*1.0 名取市増田*1.0 柴田町船岡*1.0 富谷市富谷*1.0 宮城川崎町前川*1.0 仙台宮城野区五輪*1.0 仙台区将監*1.0 石巻市大広*1.0 宮城加美町宮崎*1.0 塩竈市今宮町*1.0 仙台若林区遠見塚*0.9 角田市角田*0.9 大河原町新南*0.8 仙台空港*0.8 七ヶ浜町東宮浜*0.7 蔵王町円田*0.7 仙台青葉区雨宮*0.6 多賀城市中央*0.6 福島県 2 相馬市中村*1.5 1 本宮市本宮*1.4 大熊町大川原*1.4 田村市船引町*1.3 田村市常葉町*1.3 飯館村伊丹沢*1.3 田村市大越町*1.2 小野町小野新町*1.1 田村市滝根町*1.1 南相馬市鹿島区西町*1.1 田村市都路町*1.0 福島伊達市霊山町*1.0 いわき市三和町*1.0 檜葉町北田*1.0 双葉町長塚*1.0 須賀川市岩瀬支所*0.9 小野町中通*0.9 天栄村下松本*0.8 福島伊達市梁川町*0.8 石川町長久保*0.8 玉川村小高*0.8 白河市新白河*0.8 浪江町幾世橋*0.8 新地町谷地小屋*0.8 南相馬市原町区高見町*0.8 川俣町五百田*0.8 南相馬市小高区*0.8 葛尾村落合落合*0.7 二本松市油井*0.7 国見町藤田*0.7 南相馬市原町区三島町*0.7 川内村上川内早渡*0.7 富岡町本岡*0.6 二本松市針道*0.6 福島市花園町*0.6 福島市五老内町*0.6 福島広野町下北迫大谷地原*0.6 棚倉町棚倉中居野*0.5 南相馬市鹿島区栢窪*0.5 青森県 1 階上町道仏*0.8 青森南部町苦米地*0.6 八戸市南郷*0.5 山形県 1 尾花沢市若葉町*0.9 舟形町舟形*0.6 大蔵村清水*0.5 最上町向町*0.5 茨城県 1 日立市助川小学校*0.5 笠間市石井*0.5					
31	7 18 41	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村悪石島*0.6	29° 22.3' N	129° 33.4' E	17km	M: 2.2	
32	7 19 47	岩手県沿岸南部 岩手県 1 大船渡市大船渡町*0.6 宮城県 1 気仙沼市唐桑町*0.5	39° 14.8' N	141° 53.4' E	61km	M: 3.2	
33	7 23 33	紀伊水道 和歌山県 1 和歌山市一番丁*0.5	34° 12.5' N	135° 08.7' E	6km	M: 1.9	
34	8 09 26	石川県西方沖 石川県 1 志賀町香能*0.6	37° 01.2' N	136° 26.3' E	9km	M: 3.6	
35	8 09 35	石川県西方沖 石川県 1 志賀町香能*1.3 羽咋市柳田町*0.5	37° 01.1' N	136° 26.4' E	11km	M: 3.8	
36	8 23 44	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村悪石島*1.3	29° 22.6' N	129° 34.7' E	9km	M: 2.6	
37	9 17 28	渡島地方東部 北海道 1 函館市川波町*1.0	41° 52.2' N	140° 54.5' E	7km	M: 2.2	
38	9 20 19	能登半島沖 富山県 2 舟橋村仏生寺*1.5 1 富山市新桜町*1.3 射水市加茂中部*1.1 高岡市広小路*1.0 上市町稗田*0.9 高岡市福岡町*0.9 射水市橋下条*0.9 射水市二口*0.8 滑川市寺家町*0.8 黒部市植木*0.8 富山朝日町道下*0.8 氷見市加納*0.8 立山町芦峰寺*0.7 入善町入膳*0.7 立山町吉峰*0.7 射水市本町*0.6 富山市石坂*0.5 小矢部市泉町*0.5 黒部市宇奈月町下立*0.5 石川県 2 珠洲市正院町*2.4 七尾市本府中町*2.1 珠洲市三崎町*2.0 輪島市鳳至町*1.8 輪島市門前町走出*1.6 珠洲市大谷町*1.6 七尾市能登島向田町*1.5 能登町松波*1.5 1 輪島市船倉島*1.2 七尾市袖ヶ江町*1.1 輪島市河井町*1.1 志賀町富来領家町*1.1 中能登町末坂*1.1 中能登町能登部下*1.0 かほく市宇野気*1.0 穴水町大町*0.9 能登町宇出津*0.9 志賀町香能*0.8 津幡町加賀爪*0.8 能登町柳田*0.7 宝達志水町子浦*0.6 七尾市垣吉町*0.6 能美市来丸町*0.6 宝達志水町今浜*0.5 かほく市高松*0.5 新潟県 1 佐渡市小木町*1.4 上越市頸城区百間町*1.0 長岡市中之島*1.0 糸魚川市能生*0.9	37° 35.3' N	137° 25.7' E	14km	M: 4.3	

令和6年10月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		上越市木田*0.9 出雲崎町米田=0.9 佐渡市赤泊*0.9 上越市三和区井ノ口*0.8 妙高市田町*0.8 妙高市関山*0.8 上越市安塚区安塚*0.8 上越市牧区柳島*0.8 上越市中ノ俣=0.8 長岡市寺泊敦ケ曾根*0.7 佐渡市相川栄町*0.7 上越市中郷区藤沢*0.7 柏崎市西山町池浦*0.7 上越市大手町=0.7 佐渡市相川三町目=0.7 佐渡市河原田本町*0.7 妙高市田口*0.6 佐渡市羽茂本郷*0.6 糸魚川市一の宮=0.6 佐渡市岩谷口*0.6 佐渡市新徳瓜生屋*0.5 糸魚川市大野*0.5 上越市名立区名立大町*0.5 佐渡市千種*0.5 糸魚川市青海*0.5 出雲崎町川西*0.5 佐渡市真野新町*0.5 刈羽村割町新田*0.5 新潟空港=0.5				
39	10 05 48	日向灘 宮崎県	31° 46.1' N	131° 31.5' E	36km	M: 3.2 2 宮崎市松橋*1.5 1 宮崎市霧島=1.3 宮崎市田野町体育館*0.8 宮崎市田野支所*0.5
40	10 11 33	十勝沖 北海道	42° 11.2' N	143° 22.3' E	41km	M: 4.4 3 広尾町並木通=2.5 2 浦幌町桜町*2.2 広尾町白樺通=2.0 幕別町忠類錦町*1.5 1 浦河町潮見=1.4 浦河町築地*1.4 十勝大樹町東本通*1.3 豊頃町茂岩本町*1.0 様似町栄町*1.0 えりも町目黒*0.9 浦河町野深=0.7 本別町北2丁目=0.6 本別町向陽町*0.5 幕別町忠類明和=0.5 白糠町西1条*0.5
41	10 12 06	茨城県北部 茨城県	36° 45.0' N	140° 35.2' E	9km	M: 2.9 1 日立市助川小学校*0.6
42	10 12 30	三重県南東沖 三重県	34° 05.2' N	136° 19.4' E	43km	M: 3.3 1 尾鷲市南浦*1.1 津市美杉町八知*0.7 尾鷲市中央町*0.6 熊野市有馬町*0.5 熊野市紀和町板屋*0.5 三重紀北町相賀*0.5
43	11 09 15	石垣島近海 沖縄県	24° 12.1' N	124° 12.1' E	13km	M: 4.9 3 石垣市登野城=2.8 石垣市新栄町*2.7 石垣市真栄里*2.6 2 竹富町黒島=2.4 石垣市新川=2.1 竹富町大原=1.7 石垣市平久保=1.5 1 竹富町波照間=1.2 多良間村塩川=1.1 石垣市伊原間*0.9 竹富町上原小学校=0.8
44	11 14 40	福島県会津 山形県 福島県	37° 45.9' N	140° 03.6' E	6km	M: 3.4 1 米沢市アルカディア*0.9 米沢市駅前=0.8 飯豊町上原*0.7 米沢市金池*0.5 1 郡山市朝日=1.0 郡山市開成*0.7 猪苗代町下園*0.6
45	11 16 28	石川県西方沖 石川県	37° 00.8' N	136° 26.1' E	9km	M: 3.4 1 志賀町香能*0.6
46	11 22 53	和歌山県北部 和歌山県	34° 07.7' N	135° 25.3' E	6km	M: 2.7 1 紀美野町下佐々*1.1 紀美野町神野市場*0.7 紀の川市貴志川町神戸*0.5
47	11 23 06	伊勢湾 三重県	34° 43.9' N	136° 32.2' E	18km	M: 3.2 1 津市安濃町東観音寺*1.3 津市美里町三郷*1.0 亀山市椿世町*1.0 津市久居明神町*1.0 津市一志町田尻*0.9 津市河芸町浜田*0.9 津市西丸之内*0.8 津市片田薬王寺町=0.8 鈴鹿市西条=0.6 亀山市本丸町*0.5 津市白山町川口*0.5 津市芸濃町椋本*0.5 津市島崎町=0.5 松阪市魚町*0.5
48	12 02 54	茨城県北部 茨城県	36° 44.1' N	140° 35.8' E	8km	M: 2.9 1 常陸太田市大中町*0.9 日立市助川小学校*0.6
49	12 07 35	福島県浜通り 宮城県 福島県	37° 39.6' N	140° 42.9' E	88km	M: 3.8 2 岩沼市桜*1.6 亘理町悠里*1.5 1 山元町浅生原*1.3 柴田町船岡=1.2 仙台空港=1.2 大河原町新南*1.1 角田市角田*1.0 名取市増田*1.0 丸森町上滝=0.8 宮城川崎町前川*0.7 仙台宮城野区苦竹*0.7 2 田村市都路町*2.2 葛尾村落合落合*2.1 田村市常葉町*2.0 飯館村伊丹沢*1.9 田村市船引町=1.8 相馬市中村*1.7 小野町中通*1.6 川内村上川内早渡*1.6 大熊町大川原*1.6 田村市大越町*1.6 玉川村小高*1.6 小野町小野新町*1.5 双葉町長塚*1.5 いわき市三和町=1.5 二本松市針道*1.5 1 川俣町五百田*1.4 棚倉町棚倉中居野=1.4 檜葉町北田*1.4 新地町谷地小屋*1.4 本宮市本宮*1.3 福島広野町下北迫大谷地原*1.3 二本松市油井*1.3 福島伊達市霊山町*1.2 富岡町本岡*1.2 南相馬市鹿島区栞窪=1.2 南相馬市原町区高見町*1.2 南相馬市鹿島区西町*1.2 田村市滝根町*1.1 浪江町幾世橋=1.1 須賀川市岩瀬支所*1.1 平田村永田*1.1 古殿町松川新桑原*1.1 福島広野町下北迫苗代替*1.0 白河市新白河*1.0 浅川町浅川*1.0 川内村上川内小山平*1.0 南相馬市原町区三島町=1.0 郡山市朝日=1.0 天栄村下松本*1.0 郡山市開成*1.0 いわき市平四ツ波*0.9 福島伊達市梁川町*0.9 国見町藤田*0.9 白河市東*0.9 石川町長久保*0.8 福島市飯野町*0.8 須賀川市八幡山*0.8 大熊町野上*0.7 大玉村南小屋=0.7 いわき市錦町*0.6 茨城県 1 大子町池田*0.7 笠間市石井*0.6 高萩市安良川*0.5
50	12 09 12	新潟県中越地方 新潟県	37° 24.6' N	139° 01.8' E	14km	M: 2.6 1 魚沼市須原*0.7
51	12 18 56	広島県北部	35° 00.6' N	132° 56.0' E	7km	M: 2.1

令和6年10月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日 時 分	震源地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模	
52	13 03 50	広島県	1	庄原市高野町*1.4			
		茨城県南部		36° 02.6' N	139° 54.9' E	45km	M: 4.4
		茨城県	3	水戸市内原町*3.3 笠間市下郷*3.1 土浦市藤沢*3.1 坂東市馬立*3.1 笠間市石井*3.0 筑西市二本成*3.0 桜川市岩瀬*3.0 桜川市真壁*3.0 土浦市常名*2.9 笠間市笠間*2.9 下妻市本城町*2.8 水戸市千波町*2.8 笠間市中央*2.8 石岡市柿岡*2.8 石岡市石岡*2.7 城里町石塚*2.7 ひたちなか市南神敷台*2.7 筑西市舟生*2.7 石岡市若宮*2.7 筑西市門井*2.6 坂東市山*2.6 つくば市小茎*2.5 石岡市八郷*2.5 常陸大宮市北町*2.5 坂東市役所*2.5 桜川市羽田*2.5 茨城古河市仁連*2.5			
			2	水戸市栗崎町*2.4 大洗町磯浜町*2.4 常陸大宮市山方*2.4 常総市水海道諏訪町*2.4 小美玉市堅倉*2.3 土浦市田中*2.3 茨城古河市下大野*2.3 つくば市天王台*2.3 守谷市大柏*2.3 坂東市岩井*2.3 かすみがうら市上土田*2.3 常総市新石下*2.3 東海村東海*2.3 つくばみらい市福田*2.3 常陸大宮市野口*2.3 小美玉市小川*2.3 水戸市金町*2.2 八千代町菅谷*2.2 常陸太田市町屋町*2.2 取手市寺田*2.2 日立市助川小学校*2.1 鉾田市鉾田*2.1 鉾田市汲上*2.1 境町旭町*2.1 茨城町小堤*2.1 城里町阿波山*2.1 つくば市研究学園*2.0 大子町池田*2.0 ひたちなか市東石川*2.0 日立市十王町友部*2.0 小美玉市上玉里*2.0 つくばみらい市加藤*2.0 筑西市海老ヶ島*2.0 かすみがうら市大和田*1.9 高萩市安良川*1.9 稲敷市江戸崎甲*1.9 鉾田市造谷*1.9 城里町徳蔵*1.8 取手市藤代*1.8 行方市玉造*1.8 牛久市中央*1.8 那珂市瓜連*1.8 結城市中央町*1.8 茨城鹿嶋市鉢形*1.8 五霞町小福田*1.7 美浦村受領*1.6 阿見町中央*1.6 取手市井野*1.6 茨城古河市長谷町*1.6 那珂市福田*1.6 茨城鹿嶋市宮中*1.6 行方市麻生*1.6 ひたちなか市山ノ上町*1.5			
			1	日立市役所*1.4 常陸太田市町田町*1.4 高萩市本町*1.4 北茨城市中郷町*1.4 常陸大宮市中富町*1.4 常陸大宮市高部*1.4 龍ヶ崎市役所*1.4 神栖市溝口*1.4 行方市山田*1.4 北茨城市磯原町*1.3 潮来市辻*1.3 利根町布川*1.3 稲敷市結佐*1.3 稲敷市須賀津*1.3 常陸太田市高柿町*1.3 常陸太田市大中町*1.3 稲敷市役所*1.2 常陸太田市金井町*1.1 潮来市堀之内*1.1 常陸大宮市上小瀬*0.9 河内町源清田*0.7			
		栃木県	3	栃木市旭町*3.0 下野市田中*3.0 下野市笹原*2.9 茂木町茂木*2.7 真岡市石島*2.6 壬生町壬生甲*2.6 鹿沼市見望台*2.5 芳賀町祖母井*2.5 宇都宮市明保野町*2.5			
			2	真岡市田町*2.3 真岡市荒町*2.3 野木町丸林*2.2 下野市大松山*2.1 栃木市西方町本城*2.0 佐野市高砂町*2.0 益子町益子*2.0 市貝町市塙*1.9 宇都宮市旭*1.9 宇都宮市中里町*1.9 足利市大正町*1.9 栃木市藤岡町藤岡*1.9 栃木市万町*1.9 栃木市岩舟町静*1.9 栃木市都賀町家中*1.8 宇都宮市塙田*1.8 宇都宮市中岡本町*1.8 茂木町北高岡天欠場*1.8 栃木市大平町富田*1.7 上三川町しらさぎ*1.7 高根沢町石末*1.7 矢板市本町*1.6 塩谷町玉生*1.6 鹿沼市口栗野*1.6 日光市鬼怒川温泉大原*1.6 大田原市湯津上*1.6 佐野市田沼町*1.5 鹿沼市今宮町*1.5 小山市神鳥谷*1.5 栃木那珂川町小川*1.5			
			1	日光市藤原庁舎*1.4 佐野市葛生東*1.4 小山市中央町*1.4 日光市芹沼*1.3 那須塩原市塩原庁舎*1.2 栃木さくら市氏家*1.2 栃木那珂川町馬頭*1.2 栃木さくら市喜連川*1.1 那須烏山市大金*1.1 日光市足尾町通洞*1.1 佐野市中町*1.0 日光市瀬川*1.0 日光市足尾町中才*1.0 那須町寺子*1.0 那須塩原市あたご町*1.0 日光市湯元*0.9 日光市黒部*0.9 日光市御幸町*0.8 大田原市黒羽田町*0.7 那須烏山市神長*0.7 那須烏山市役所*0.6 日光市今市本町*0.5			
		埼玉県	3	久喜市下早見*2.7 春日部市粕壁*2.5			
			2	加須市騎西*2.4 宮代町笠原*2.4 川口市中青木分室*2.3 さいたま見沼区堀崎*2.2 さいたま浦和区高砂*2.2 春日部市金崎*2.1 さいたま南区別所*2.1 久喜市鷲宮*2.0 さいたま大宮区大門*2.0 さいたま緑区中尾*2.0 八潮市中央*1.9 さいたま北区宮原*1.9 さいたま岩槻区本丸*1.9 白岡市千駄野*1.9 加須市大利根*1.9 吉川市さよみ野*1.8 杉戸町清地*1.8 久喜市青葉*1.8 久喜市栗橋*1.8 春日部市谷原新田*1.8 幸手市東*1.8 加須市北川辺*1.7 さいたま大宮区天沼町*1.7 上尾市本町*1.7 さいたま中央区下落合*1.7 三郷市中央*1.7 加須市三俣*1.6 東松山市松葉町*1.6 桶川市泉*1.5 蓮田市黒浜*1.5 羽生市東*1.5 久喜市菖蒲*1.5 さいたま西区指扇*1.5 越谷市越ヶ谷*1.5 蕨市中央*1.5 熊谷市江南*1.4 鴻巣市中央*1.4 川口市三ツ和*1.4 戸田市上戸田*1.4 和光市広沢*1.4 松伏町松伏*1.4 北本市本町*1.3 伊奈町中央*1.3 さいたま桜区道場*1.3 さいたま浦和区常盤*1.3 長瀬町野上下郷*1.3 行田市本丸*1.3 行田市南河原*1.3 滑川町福田*1.3 熊谷市妻沼*1.2 川口市安行領家*1.1 川島町下八ツ林*1.1 東松山市市ノ川*1.1 鴻巣市川里*1.1 富士見市鶴馬*1.0 鴻巣市吹上富士見*1.0 草加市中央*1.0 朝霞市本町*1.0 志木市中宗岡*1.0 狭山市入間川*0.9 熊谷市大里*0.9 嵐山町杉山*0.9 吉見町下細谷*0.9 川越市旭町*0.9 埼玉美里町木部*0.8 秩父市近戸町*0.8 熊谷市桜町*0.8 深谷市仲町*0.8 新座市野火止*0.8 熊谷市宮町*0.7 坂戸市千代田*0.7 埼玉三芳町藤久保*0.7 ときがわ町桃木*0.7 本庄市児玉町*0.7 越生町越生*0.6 小川町大塚*0.6 深谷市普濟寺*0.6 所沢市北有楽町*0.6 毛呂山町中央*0.5 埼玉神川町植竹*0.5			
千葉県	3	野田市鶴奉*2.7					
	2	柏市旭町*2.3 柏市柏*2.3 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*2.3 市川市大町*2.2 野田市東宝珠花*2.2 松戸市西馬橋*2.0 白井市復*1.9 習志野市鷲沼*1.7 柏市大島田*1.7 流山市平和台*1.6 栄町安食台*1.6 芝山町小池*1.5 船橋市湊町*1.5 成田国際空港*1.5 八千代市大和田新田*1.5					
	1	香取市佐原諏訪台*1.4 香取市役所*1.4 香取市仁良*1.4 千葉花見川区花島町*1.4 松戸市根本*1.4 成田市名古屋*1.4 成田市中台*1.4 浦安市日の出*1.4 印西市大森*1.3 香取市岩部*1.2 我孫子市我孫子*1.2 香取市佐原平田*1.2 千葉稲毛区園生佐*1.1 千葉美浜区ひび野*1.1 市川市本行徳*1.1 旭市二*1.1 多古町多古*1.1 千葉佐倉市海隣寺町*1.0 印西市笠神*1.0 旭市南堀之内*1.0 山武市埴谷*1.0 香取市羽根川*0.9 山武市松尾町富士見台*0.9 千葉美浜区稲毛海岸*0.9 成田市松子*0.9 東金市日吉台*0.9 神崎町神崎本宿*0.9 印西市美瀬*0.9 富里市七栄*0.9 八街市八街*0.8 千葉中央区中央港*0.8					

令和6年10月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日 時 分	震源地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		<p>千葉県 千葉若葉区小倉台*0.8 市川市八幡*0.7 成田市役所*0.7 四街道市鹿渡*0.7 酒々井町中央*0.7 長南町総合グラウンド*0.6 成田市猿山*0.6 山武市蓮沼ニ*0.5 君津市久留里市場*0.5</p> <p>福島県 2 白河市表郷*1.9 白河市東*1.7 須賀川市岩瀬支所*1.5 玉川村小高*1.5 白河市大信*1.5 1 白河市新白河*1.4 鏡石町不時沼*1.4 田村市都路町*1.4 いわき市三和町*1.4 棚倉町棚倉中居野*1.3 檜葉町北田*1.2 大殿町松川新桑原*1.2 矢祭町東館*1.2 浅川町浅川*1.2 田村市大越町*1.1 泉崎村泉崎*1.1 須賀川市八幡山*1.1 矢祭町戸塚*1.1 浪江町幾世橋*1.1 大熊町大川原*1.0 田村市常葉町*1.0 郡山市湖南町*1.0 いわき市小名浜*1.0 小野町中通*1.0 いわき市平梅本*1.0 二本松市針道*1.0 川内村上川内早渡*1.0 田村市船引町*0.9 白河市郭内*0.9 いわき市錦町*0.9 田村市滝根町*0.9 葛尾村落合落合*0.9 福島広野町下北迫大谷地原*0.9 小野町小野新町*0.8 石川町長久保*0.8 いわき市平四波*0.8 二本松市油井*0.7 天栄村下松本*0.7 大殿町松川横川*0.7 双葉町長塚*0.7 本宮市本宮*0.7 鮫川村赤坂中野*0.7 檜枝岐村上河原*0.6 川俣町五百田*0.6 福島伊達市霊山町*0.6 郡山市朝日*0.6 飯館村伊丹沢*0.5 川内村上川内小山平*0.5 福島広野町下北迫苗代替*0.5</p> <p>群馬県 2 館林市上三林町*2.3 板倉町板倉*2.1 邑楽町中野*2.0 大泉町日の出*1.9 千代田町赤岩*1.8 桐生市元宿町*1.6 渋川市赤城町*1.5 群馬明和町新里*1.5 1 太田市西本町*1.4 館林市城町*1.4 桐生市新里町*1.3 沼田市西倉内町*1.2 片品村鎌田*1.2 太田市大原町*1.2 前橋市粕川町*1.1 伊勢崎市西久保町*1.1 みどり市大間々町*1.1 太田市浜町*1.0 沼田市白沢町*1.0 前橋市堀越町*1.0 桐生市黒保根町*1.0 桐生市錦町*0.9 伊勢崎市東町*0.9 沼田市下久屋町*0.9 太田市粕川町*0.8 渋川市吹屋*0.8 前橋市富士見町*0.8 前橋市鼻毛石町*0.8 みどり市東町*0.7 みどり市笠懸町*0.7 高崎市吉井町吉井川*0.6 太田市新田金井町*0.6 伊勢崎市境*0.6 沼田市尾瀬高等学校*0.5 藤岡市鬼石*0.5 富岡市七日市*0.5 伊勢崎市今泉町*0.5</p> <p>東京都 2 東京中野区江古田*1.6 東京練馬区豊玉北*1.6 調布市西つつじヶ丘*1.6 東京杉並区高井戸*1.5 東京板橋区相生町*1.5 東京足立区神明南*1.5 1 東京千代田区大手町*1.4 東京杉並区桃井*1.4 東京渋谷区本町*1.3 東京豊島区南池袋*1.3 東京北区西ヶ原*1.3 東京文京区大塚*1.2 東京板橋区高島平*1.2 東京足立区伊興*1.2 東京江戸川区中央*1.2 小平市小川町*1.2 東京中央区勝どき*1.1 東京港区南青山*1.1 東京品川区平塚*1.1 東京世田谷区三軒茶屋*1.1 東京練馬区光が丘*1.1 東京葛飾区立石*1.1 西東京市中町*1.1 東京中野区中野*1.0 東京練馬区東大泉*1.0 国分寺市戸倉*1.0 東京港区海岸*0.9 東京新宿区百人町*0.9 東京世田谷区世田谷*0.9 東京荒川区東尾久*0.9 東京葛飾区金町*0.9 東京江戸川区鹿骨*0.9 東京府中市朝日町*0.9 日野市神明*0.9 国分寺市泉町*0.9 東大和市中央*0.9 稲城市東長沼*0.9 東京千代田区富士見*0.9 東京港区白金*0.8 東京江戸川区船堀*0.8 武蔵野市緑町*0.8 東京江東区森下*0.8 東京目黒区中央町*0.8 東京世田谷区成城*0.8 狛江市和泉本町*0.8 東京渋谷区宇田川町*0.8 多摩市関戸*0.8 東京文京区スポーツセンタ*0.7 東京台東区東上野*0.7 武蔵野市吉祥寺東町*0.7 小金井市本町*0.7 東京品川区北品川*0.7 東京大田区本羽田*0.7 東京世田谷区中町*0.7 東京板橋区板橋*0.7 東京中央区日本橋兜町*0.7 東京墨田区吾妻橋*0.6 東京足立区千住中居町*0.6 東京中央区築地*0.6 東京府中市寿町*0.6 東京新宿区歌舞伎町*0.6 町田市忠生*0.6 町田市森野*0.6 東京荒川区荒川*0.5 東京足立区中央本町*0.5</p> <p>神奈川県 2 横浜神奈川区神大寺*1.7 1 川崎宮前区宮前平*1.4 横浜緑区十日市場町*1.3 横浜港北区日吉本町*1.2 横浜保土ヶ谷区上菅田町*1.1 横浜鶴見区末広町*1.0 横浜中区山手町*1.0 川崎中原区小杉町*1.0 横浜旭区川井宿町*0.9 川崎宮前区野川*0.9 横浜旭区上白根町*0.8 川崎中原区小杉陣屋町*0.8 川崎多摩区登戸*0.7</p>				
53	13 11 23	能登半島沖 石川県 2 志賀町富来領家町*1.6	37° 08.6' N	136° 43.0' E	5km	M: 2.2
54	14 04 50	熊本県熊本地方 熊本県 1 宇城市不知火町*0.9 熊本西区春日*0.9 宇土市浦田町*0.6	32° 42.6' N	130° 38.2' E	11km	M: 2.4
55	14 12 04	千葉県東方沖 千葉県 1 九十九里町片貝*0.8 長生村本郷*0.7 大網白里市大網*0.7 長南町総合グラウンド*0.5 一宮町一宮*0.5	35° 23.2' N	140° 27.8' E	57km	M: 2.9
56	14 16 23	広島県南西部 広島県 1 広島東区福田*1.0 熊野町役場*0.7 安芸高田市向原町長田*0.6 広島西区己斐*0.6 広島安芸区中野*0.6 東広島市豊栄町*0.6 海田町役場*0.6 安芸高田市甲田町*0.6 広島安佐北区可部南*0.5 坂町役場*0.5	34° 29.1' N	132° 39.2' E	32km	M: 2.9
57	14 16 49	岐阜県飛騨地方 岐阜県 1 高山市高根町*1.0	35° 59.4' N	137° 32.2' E	5km	M: 2.3
58	14 19 45	東京湾 埼玉県 3 草加市中央*2.7 八潮市中央*2.6 朝霞市本町*2.5 2 川口市安行領家*2.3 新座市野火止*2.3 さいたま緑区中尾*2.3 さいたま大宮区大門*2.2 和光市広沢*2.2 さいたま北区宮原*2.2 吉川市きよみ野*2.1 川口市中青木分室*2.1 さいたま大宮区天沼町*2.1 三郷市中央*2.1 久喜市下早見*2.0 埼玉三芳町藤久保*2.0 さいたま見沼区堀崎*2.0 さいたま浦和区高砂*2.0 宮代町笠原*2.0 さいたま中央区下落合*1.9 狭山市入間川*1.9 さいたま南区別所*1.9 加須市騎西*1.9 白岡市千駄野*1.9 春日部市粕壁*1.9 幸手市東*1.9 春日部市金崎*1.9 久喜市鷲宮*1.8 川口市三ツ和*1.8 加須市大利根*1.8 春日部市谷原新田*1.8 松伏町松伏*1.8 越谷市越ヶ谷*1.8	35° 33.3' N	140° 05.1' E	71km	M: 4.5

令和6年10月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日 時 分	震源地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		千葉県				入間市豊岡*1.7 川越市旭町=1.7 富士見市鶴馬*1.7 所沢市北有楽町*1.7 鴻巣市中央*1.7 杉戸町清地*1.7 久喜市栗橋*1.7 蕨市中央*1.7 さいたま西区指扇*1.6 久喜市青葉*1.6 久喜市菖蒲*1.6 上尾市本町*1.6 志木市中宗岡*1.6 伊奈町中央*1.5 熊谷市大里*1.5 川島町下八ツ林*1.5 鴻巣市吹上富士見*1.5 1 熊谷市江南*1.4 本庄市児玉町=1.4 さいたま桜区道場*1.4 ふじみ野市福岡*1.4 鴻巣市川里*1.3 戸田市上戸田*1.3 桶川市泉*1.3 さいたま浦和区常盤*1.3 東松山市松葉町*1.2 吉見町下細谷*1.2 北本市本町*1.2 ふじみ野市大井*1.1 行田市本丸*1.1 行田市南河原*1.1 加須市北川辺*1.1 東松山市市ノ川*1.1 埼玉美里町木部*1.1 蓮田市黒浜*1.1 鶴ヶ島市三ツ木*1.0 越生町越生*1.0 所沢市並木*1.0 加須市三俣*0.9 羽生市東*0.9 滑川町福田*0.9 嵐山町杉山*0.9 熊谷市妻沼*0.8 長瀨町野上下郷*0.8 熊谷市桜町=0.7 坂戸市千代田*0.7 日高市南平沢*0.7 毛呂山町中央*0.7 熊谷市宮町*0.6 深谷市花園*0.6 ときがわ町桃木*0.6 飯能市名栗*0.6 飯能市下直竹=0.5 秩父市上町=0.5 秩父市近戸町*0.5 深谷市仲町*0.5 3 市川市本行徳*2.6 船橋市湊町*2.5 富津市下飯野*2.5 2 千葉花見川区花島町*2.4 市川市大町*2.4 野田市鶴奉*2.4 流山市平和台*2.4 木更津市富士見*2.4 千葉若葉区野呂町*2.3 柏市旭町=2.3 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*2.2 四街道市鹿渡*2.2 南房総市岩糸*2.2 千葉稲毛区園生町*2.2 八千代市大和田新田*2.1 千葉緑区おゆみ野*2.1 鋸南町下佐久間*2.1 習志野市鷺沼*2.1 柏市柏*2.0 千葉若葉区小倉台*2.0 千葉美浜区ひび野*2.0 白井市復*2.0 君津市久留里市場*2.0 南房総市白浜町白浜*2.0 松戸市根本*1.9 松戸市西馬橋*1.9 南房総市谷向*1.9 千葉中央区中央港=1.9 市川市八幡*1.8 木更津市太田=1.8 鴨川市八色=1.8 鴨川市横渚*1.8 千葉佐倉市海隣寺町*1.8 いすみ市国府台*1.7 南房総市富浦町青木*1.7 野田市東宝珠花*1.7 長南町総合グラウンド=1.7 柏市大島田*1.7 浦安市猫実*1.7 館山市長須賀=1.7 館山市北条*1.7 千葉美浜区稲毛海岸*1.7 浦安市日の出=1.6 君津市久保*1.6 袖ヶ浦市坂戸市場*1.6 大多喜町大多喜*1.5 東金市日吉台*1.5 印西市大森*1.5 市原市国分寺台中央*1.5 1 長柄町桜谷*1.3 山武市埴谷*1.3 我孫子市我孫子*1.3 印西市笠神*1.3 南房総市和田町*1.3 東金市東新宿=1.2 長南町長南*1.2 香取市役所*1.2 栄町安食台*1.2 茂原市道表*1.1 東金市東岩崎*1.1 山武市蓮沼ハ*1.1 大網白里市大網*1.1 南房総市上堀=1.1 南房総市千倉町瀬戸*1.1 八街市八街*1.0 印西市美瀬*1.0 神崎町神崎本宿*1.0 多古町多古=1.0 九十九里町片貝*1.0 山武市蓮沼ニ*1.0 成田市名古屋=1.0 酒々井町中央台*0.9 南房総市久枝*0.9 芝山町小池*0.9 一宮町一宮=0.9 香取市佐原平田=0.9 成田国際空港=0.9 香取市佐原諏訪台*0.8 富里市七栄*0.8 山武市松尾町富士見台=0.8 勝浦市墨名=0.7 勝浦市新官*0.6 3 東京練馬区豊玉北*3.2 東京国際空港=3.0 東京渋谷区本町*3.0 調布市西つつじヶ丘*2.8 町田市本町田*2.8 東京北区西ヶ原*2.7 東京港区海岸=2.7 東京練馬区東大泉*2.6 東京千代田区大手町=2.6 東京杉並区桃井*2.6 東京世田谷区成城*2.5 東京中野区中野*2.5 2 東京世田谷区世田谷*2.4 東京足立区神明南*2.4 西東京市中町*2.4 東京中央区築地*2.3 東京中央区勝どき*2.3 東京港区白金*2.3 東京新宿区上落合*2.3 東京品川区平塚*2.3 東京渋谷区宇田川町*2.3 東京葛飾区立石*2.3 東京葛飾区金町*2.3 東京江戸川区鹿骨*2.3 東京江戸川区中央=2.2 東京新宿区西新宿=2.2 町田市忠生*2.2 小平市小川町*2.2 稲城市東長沼*2.2 東京品川区北品川*2.2 東京大田区本羽田*2.2 東京豊島区南池袋*2.2 東京荒川区東尾久*2.2 東京足立区伊興*2.2 東京板橋区相生町*2.1 東京練馬区光が丘*2.1 調布市小島町*2.1 東京大田区多摩川*2.1 東京千代田区麴町*2.1 国分寺市泉町*2.1 東京港区南青山*2.1 東京港区芝公園*2.0 東京文京区大塚*2.0 東京江東区青海=2.0 小金井市本町*2.0 東京世田谷区三軒茶屋*2.0 東京千代田区富士見*2.0 東京中野区中央*2.0 東京杉並区高井戸*2.0 町田市森野*1.9 東京中野区江古田*1.9 日野市神明*1.9 東村山市本町*1.9 国分寺市戸倉*1.9 狛江市和泉本町*1.9 多摩市関戸*1.9 東京北区赤羽南*1.9 東京文京区スポーツセンタ*1.9 東京江戸川区船堀*1.9 東京府中市朝日町*1.8 東大和市中央*1.8 東京足立区千住中居町*1.8 東京目黒区中央町*1.8 東京大田区大森東*1.8 東京荒川区荒川*1.7 東京中央区日本橋兜町*1.7 東京板橋区高島平*1.7 東京足立区中央本町*1.7 東京新宿区歌舞伎町*1.7 東京墨田区東向島*1.7 東京江東区枝川*1.7 東京品川区広町*1.7 東京世田谷区中町*1.6 東京府中市寿町*1.6 東京台東区千束*1.6 東京杉並区阿佐谷=1.6 東京江東区森下*1.6 東京江東区亀戸*1.6 東久留米市本町*1.6 東京大田区蒲田*1.5 八王子市大横町=1.5 八王子市石川町*1.5 1 東京江東区東陽*1.4 東京板橋区板橋*1.4 武蔵野市緑町*1.4 武蔵野市吉祥寺東町*1.4 昭島市中町*1.4 東京墨田区吾妻橋*1.3 東村山市美住町*1.3 清瀬市中清戸*1.3 武蔵村山市本町*1.3 あきる野市伊奈*1.3 国立市富士見台*1.2 清瀬市中里*1.2 多摩市鶴牧*1.2 青梅市日向和田*1.2 東京台東区東上野*1.2 東京墨田区横川=1.1 三鷹市新川*1.1 伊豆大島町波浮港*1.0 伊豆大島町元町=0.9 立川市泉町*0.9 檜原村本宿*0.8 羽村市緑ヶ丘*0.7 日の出町平井*0.7 伊豆大島町差木地=0.7 東京利島村東山=0.5 三宅村神着=0.5 3 横浜港北区日吉本町*3.4 横浜保土ヶ谷区上菅田町*3.1 横浜神奈川区神大寺*3.1 横浜神奈川区広台太田町*2.9 川崎中原区小杉町*2.8 横浜磯子区洋光台*2.7 横浜旭区今宿東町*2.7 大和市下鶴間*2.7 横浜中区山手町=2.6 横浜磯子区磯子*2.6 横浜港南区野庭町*2.6 横浜鶴見区馬場*2.6 横浜旭区川井宿町*2.6 横浜緑区十日市場町*2.6 川崎川崎区宮前町*2.6 横浜戸塚区鳥が丘*2.5 横浜緑区鴨居*2.5 横浜瀬谷区中屋敷*2.5 横浜瀬谷区三ツ境*2.5 横浜鶴見区鶴見*2.5 三浦市城山町*2.5 横浜鶴見区末広町*2.5 2 横浜金沢区白帆*2.4 川崎宮前区野川*2.4 横浜金沢区釜利谷南*2.3 横浜戸塚区平戸町*2.3 横浜旭区大池町*2.3 横浜旭区上白根町*2.3 横浜都筑区池辺町*2.3 清川村煤ヶ谷*2.3 横浜中区山吹町*2.2 横浜港北区綱島西*2.2 川崎川崎区千鳥町*2.2 川崎宮前区宮前平*2.2 川崎麻生区片平*2.2 茅ヶ崎市茅ヶ崎=2.2 厚木市中町*2.2 横浜保土ヶ谷区神戸町*2.1 横浜港南区丸山台北部*2.1 横浜栄区小菅ヶ谷*2.1 横須賀市光の丘=2.1 藤沢市長後*2.1 相模原緑区橋本*2.1 横浜中区山下町*2.1 横浜金沢区寺前*2.0 横浜港北区大倉山*2.0 横浜戸塚区戸塚町*2.0 川崎幸区戸手本町*2.0 藤沢市辻堂西海岸*2.0 二宮町中里*2.0
		東京都				1 東京練馬区豊玉北*3.2 東京国際空港=3.0 東京渋谷区本町*3.0 調布市西つつじヶ丘*2.8 町田市本町田*2.8 東京北区西ヶ原*2.7 東京港区海岸=2.7 東京練馬区東大泉*2.6 東京千代田区大手町=2.6 東京杉並区桃井*2.6 東京世田谷区成城*2.5 東京中野区中野*2.5 2 東京世田谷区世田谷*2.4 東京足立区神明南*2.4 西東京市中町*2.4 東京中央区築地*2.3 東京中央区勝どき*2.3 東京港区白金*2.3 東京新宿区上落合*2.3 東京品川区平塚*2.3 東京渋谷区宇田川町*2.3 東京葛飾区立石*2.3 東京葛飾区金町*2.3 東京江戸川区鹿骨*2.3 東京江戸川区中央=2.2 東京新宿区西新宿=2.2 町田市忠生*2.2 小平市小川町*2.2 稲城市東長沼*2.2 東京品川区北品川*2.2 東京大田区本羽田*2.2 東京豊島区南池袋*2.2 東京荒川区東尾久*2.2 東京足立区伊興*2.2 東京板橋区相生町*2.1 東京練馬区光が丘*2.1 調布市小島町*2.1 東京大田区多摩川*2.1 東京千代田区麴町*2.1 国分寺市泉町*2.1 東京港区南青山*2.1 東京港区芝公園*2.0 東京文京区大塚*2.0 東京江東区青海=2.0 小金井市本町*2.0 東京世田谷区三軒茶屋*2.0 東京千代田区富士見*2.0 東京中野区中央*2.0 東京杉並区高井戸*2.0 町田市森野*1.9 東京中野区江古田*1.9 日野市神明*1.9 東村山市本町*1.9 国分寺市戸倉*1.9 狛江市和泉本町*1.9 多摩市関戸*1.9 東京北区赤羽南*1.9 東京文京区スポーツセンタ*1.9 東京江戸川区船堀*1.9 東京府中市朝日町*1.8 東大和市中央*1.8 東京足立区千住中居町*1.8 東京目黒区中央町*1.8 東京大田区大森東*1.8 東京荒川区荒川*1.7 東京中央区日本橋兜町*1.7 東京板橋区高島平*1.7 東京足立区中央本町*1.7 東京新宿区歌舞伎町*1.7 東京墨田区東向島*1.7 東京江東区枝川*1.7 東京品川区広町*1.7 東京世田谷区中町*1.6 東京府中市寿町*1.6 東京台東区千束*1.6 東京杉並区阿佐谷=1.6 東京江東区森下*1.6 東京江東区亀戸*1.6 東久留米市本町*1.6 東京大田区蒲田*1.5 八王子市大横町=1.5 八王子市石川町*1.5 1 東京江東区東陽*1.4 東京板橋区板橋*1.4 武蔵野市緑町*1.4 武蔵野市吉祥寺東町*1.4 昭島市中町*1.4 東京墨田区吾妻橋*1.3 東村山市美住町*1.3 清瀬市中清戸*1.3 武蔵村山市本町*1.3 あきる野市伊奈*1.3 国立市富士見台*1.2 清瀬市中里*1.2 多摩市鶴牧*1.2 青梅市日向和田*1.2 東京台東区東上野*1.2 東京墨田区横川=1.1 三鷹市新川*1.1 伊豆大島町波浮港*1.0 伊豆大島町元町=0.9 立川市泉町*0.9 檜原村本宿*0.8 羽村市緑ヶ丘*0.7 日の出町平井*0.7 伊豆大島町差木地=0.7 東京利島村東山=0.5 三宅村神着=0.5 3 横浜港北区日吉本町*3.4 横浜保土ヶ谷区上菅田町*3.1 横浜神奈川区神大寺*3.1 横浜神奈川区広台太田町*2.9 川崎中原区小杉町*2.8 横浜磯子区洋光台*2.7 横浜旭区今宿東町*2.7 大和市下鶴間*2.7 横浜中区山手町=2.6 横浜磯子区磯子*2.6 横浜港南区野庭町*2.6 横浜鶴見区馬場*2.6 横浜旭区川井宿町*2.6 横浜緑区十日市場町*2.6 川崎川崎区宮前町*2.6 横浜戸塚区鳥が丘*2.5 横浜緑区鴨居*2.5 横浜瀬谷区中屋敷*2.5 横浜瀬谷区三ツ境*2.5 横浜鶴見区鶴見*2.5 三浦市城山町*2.5 横浜鶴見区末広町*2.5 2 横浜金沢区白帆*2.4 川崎宮前区野川*2.4 横浜金沢区釜利谷南*2.3 横浜戸塚区平戸町*2.3 横浜旭区大池町*2.3 横浜旭区上白根町*2.3 横浜都筑区池辺町*2.3 清川村煤ヶ谷*2.3 横浜中区山吹町*2.2 横浜港北区綱島西*2.2 川崎川崎区千鳥町*2.2 川崎宮前区宮前平*2.2 川崎麻生区片平*2.2 茅ヶ崎市茅ヶ崎=2.2 厚木市中町*2.2 横浜保土ヶ谷区神戸町*2.1 横浜港南区丸山台北部*2.1 横浜栄区小菅ヶ谷*2.1 横須賀市光の丘=2.1 藤沢市長後*2.1 相模原緑区橋本*2.1 横浜中区山下町*2.1 横浜金沢区寺前*2.0 横浜港北区大倉山*2.0 横浜戸塚区戸塚町*2.0 川崎幸区戸手本町*2.0 藤沢市辻堂西海岸*2.0 二宮町中里*2.0
		神奈川				1 東京練馬区豊玉北*3.2 東京国際空港=3.0 東京渋谷区本町*3.0 調布市西つつじヶ丘*2.8 町田市本町田*2.8 東京北区西ヶ原*2.7 東京港区海岸=2.7 東京練馬区東大泉*2.6 東京千代田区大手町=2.6 東京杉並区桃井*2.6 東京世田谷区成城*2.5 東京中野区中野*2.5 2 東京世田谷区世田谷*2.4 東京足立区神明南*2.4 西東京市中町*2.4 東京中央区築地*2.3 東京中央区勝どき*2.3 東京港区白金*2.3 東京新宿区上落合*2.3 東京品川区平塚*2.3 東京渋谷区宇田川町*2.3 東京葛飾区立石*2.3 東京葛飾区金町*2.3 東京江戸川区鹿骨*2.3 東京江戸川区中央=2.2 東京新宿区西新宿=2.2 町田市忠生*2.2 小平市小川町*2.2 稲城市東長沼*2.2 東京品川区北品川*2.2 東京大田区本羽田*2.2 東京豊島区南池袋*2.2 東京荒川区東尾久*2.2 東京足立区伊興*2.2 東京板橋区相生町*2.1 東京練馬区光が丘*2.1 調布市小島町*2.1 東京大田区多摩川*2.1 東京千代田区麴町*2.1 国分寺市泉町*2.1 東京港区南青山*2.1 東京港区芝公園*2.0 東京文京区大塚*2.0 東京江東区青海=2.0 小金井市本町*2.0 東京世田谷区三軒茶屋*2.0 東京千代田区富士見*2.0 東京中野区中央*2.0 東京杉並区高井戸*2.0 町田市森野*1.9 東京中野区江古田*1.9 日野市神明*1.9 東村山市本町*1.9 国分寺市戸倉*1.9 狛江市和泉本町*1.9 多摩市関戸*1.9 東京北区赤羽南*1.9 東京文京区スポーツセンタ*1.9 東京江戸川区船堀*1.9 東京府中市朝日町*1.8 東大和市中央*1.8 東京足立区千住中居町*1.8 東京目黒区中央町*1.8 東京大田区大森東*1.8 東京荒川区荒川*1.7 東京中央区日本橋兜町*1.7 東京板橋区高島平*1.7 東京足立区中央本町*1.7 東京新宿区歌舞伎町*1.7 東京墨田区東向島*1.7 東京江東区枝川*1.7 東京品川区広町*1.7 東京世田谷区中町*1.6 東京府中市寿町*1.6 東京台東区千束*1.6 東京杉並区阿佐谷=1.6 東京江東区森下*1.6 東京江東区亀戸*1.6 東久留米市本町*1.6 東京大田区蒲田*1.5 八王子市大横町=1.5 八王子市石川町*1.5 1 東京江東区東陽*1.4 東京板橋区板橋*1.4 武蔵野市緑町*1.4 武蔵野市吉祥寺東町*1.4 昭島市中町*1.4 東京墨田区吾妻橋*1.3 東村山市美住町*1.3 清瀬市中清戸*1.3 武蔵村山市本町*1.3 あきる野市伊奈*1.3 国立市富士見台*1.2 清瀬市中里*1.2 多摩市鶴牧*1.2 青梅市日向和田*1.2 東京台東区東上野*1.2 東京墨田区横川=1.1 三鷹市新川*1.1 伊豆大島町波浮港*1.0 伊豆大島町元町=0.9 立川市泉町*0.9 檜原村本宿*0.8 羽村市緑ヶ丘*0.7 日の出町平井*0.7 伊豆大島町差木地=0.7 東京利島村東山=0.5 三宅村神着=0.5 3 横浜港北区日吉本町*3.4 横浜保土ヶ谷区上菅田町*3.1 横浜神奈川区神大寺*3.1 横浜神奈川区広台太田町*2.9 川崎中原区小杉町*2.8 横浜磯子区洋光台*2.7 横浜旭区今宿東町*2.7 大和市下鶴間*2.7 横浜中区山手町=2.6 横浜磯子区磯子*2.6 横浜港南区野庭町*2.6 横浜鶴見区馬場*2.6 横浜旭区川井宿町*2.6 横浜緑区十日市場町*2.6 川崎川崎区宮前町*2.6 横浜戸塚区鳥が丘*2.5 横浜緑区鴨居*2.5 横浜瀬谷区中屋敷*2.5 横浜瀬谷区三ツ境*2.5 横浜鶴見区鶴見*2.5 三浦市城山町*2.5 横浜鶴見区末広町*2.5 2 横浜金沢区白帆*2.4 川崎宮前区野川*2.4 横浜金沢区釜利谷南*2.3 横浜戸塚区平戸町*2.3 横浜旭区大池町*2.3 横浜旭区上白根町*2.3 横浜都筑区池辺町*2.3 清川村煤ヶ谷*2.3 横浜中区山吹町*2.2 横浜港北区綱島西*2.2 川崎川崎区千鳥町*2.2 川崎宮前区宮前平*2.2 川崎麻生区片平*2.2 茅ヶ崎市茅ヶ崎=2.2 厚木市中町*2.2 横浜保土ヶ谷区神戸町*2.1 横浜港南区丸山台北部*2.1 横浜栄区小菅ヶ谷*2.1 横須賀市光の丘=2.1 藤沢市長後*2.1 相模原緑区橋本*2.1 横浜中区山下町*2.1 横浜金沢区寺前*2.0 横浜港北区大倉山*2.0 横浜戸塚区戸塚町*2.0 川崎幸区戸手本町*2.0 藤沢市辻堂西海岸*2.0 二宮町中里*2.0

令和6年10月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日 時 分	震源地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		湯河原町中央=2.0 愛川町角田*=2.0 横浜西区浜松町*=2.0 相模原中央区中央=2.0 相模原南区磯部*=2.0 相模原緑区大島*=2.0 横浜栄区桂台南*=1.9 横浜泉区岡津町*=1.9 横浜泉区和泉町*=1.9 横浜都筑区茅ヶ崎*=1.9 平塚市浅間町*=1.9 横浜西区みなとみらい*=1.9 箱根町湯本*=1.9 川崎中原区小杉陣屋町=1.8 横浜中区日本大通*=1.8 藤沢市打戻*=1.8 綾瀬市深谷中*=1.8 秦野市曾屋=1.8 神奈川大井町金子*=1.8 相模原緑区中野*=1.8 川崎川崎区中島*=1.8 川崎多摩区登戸*=1.7 藤沢市大庭*=1.7 逗子市桜山*=1.7 海老名市大谷*=1.7 寒川町富山*=1.7 横浜南区六ツ川*=1.7 小田原市荻窪*=1.7 南足柄市関本*=1.7 中井町比奈窪*=1.7 相模原緑区久保沢*=1.7 秦野市平沢*=1.6 横須賀市坂本町*=1.6 座間市相武台*=1.6 松田町松田惣領*=1.5 鎌倉市御成町*=1.5 横浜青葉区美しが丘*=1.5 葉山町堀内*=1.5 1 横浜南区大岡*=1.4 川崎高津区下作延*=1.4 大磯町月京*=1.4 小田原市久野=1.4 厚木市下津古久*=1.4 山北町山北*=1.4 川崎麻生区万福寺*=1.3 伊勢原市伊勢原*=1.2 真鶴町岩*=1.0 開成町延沢*=0.8 相模原緑区小淵*=0.8 相模原緑区与瀬*=0.8 相模原緑区若柳=0.6 2 坂東市岩井=2.3 取手市井野*=2.0 桜川市真壁*=1.9 筑西市舟生=1.8 笠間市石井*=1.8 取手市寺田*=1.8 坂東市馬立*=1.8 つくばみらい市福田*=1.7 茨城古河市下大野*=1.7 桜川市羽田*=1.7 常総市水海道諏訪町*=1.7 つくばみらい市加藤*=1.7 つくば市小茎*=1.6 石岡市柿岡=1.5 五霞町小福田*=1.5 守谷市大柏*=1.5 常総市新石下*=1.5 土浦市藤沢*=1.5 笠間市中央*=1.5 1 小美玉市小川*=1.4 土浦市常名=1.4 龍ヶ崎市役所*=1.4 つくば市研究学園*=1.4 阿見町中央*=1.4 境町旭町*=1.4 坂東市山*=1.4 坂東市役所*=1.4 筑西市二木成*=1.4 桜川市岩瀬*=1.4 笠間市下郷*=1.3 茨城古河市仁連*=1.3 石岡市若宮*=1.3 稲敷市結佐*=1.3 笠間市笠間*=1.3 水戸市内原町*=1.3 小美玉市堅倉*=1.3 牛久市中央*=1.2 つくば市天王台*=1.2 石岡市八郷*=1.2 石岡市石岡*=1.2 河内町源清田*=1.2 小美玉市上玉里*=1.2 下妻市本城町*=1.2 取手市藤代*=1.2 稲敷市江戸崎甲*=1.2 利根町布川=1.1 結城市中央町*=1.1 かすみがうら市大和田*=1.1 かすみがうら市上土田*=1.1 行方市玉造*=1.1 筑西市海老ヶ島*=1.0 土浦市田中*=1.0 美浦村受領*=1.0 筑西市門井*=1.0 茨城町小堤*=0.9 常陸大宮市野口*=0.9 稲敷市役所*=0.9 茨城鹿嶋市鉢形=0.8 城里町石塚*=0.8 潮来市堀之内=0.6 水戸市千波町*=0.6 鉾田市鉾田=0.6 常陸大宮市北町*=0.5 水戸市金町=0.5 2 佐野市高砂町*=1.7 下野市田中*=1.6 宇都宮市明保野町=1.6 鹿沼市晃望台*=1.6 市貝町市塙*=1.6 壬生町壬生甲*=1.5 1 真岡市石島*=1.4 下野市笹原*=1.4 栃木市岩舟町静*=1.3 益子町益子=1.3 鹿沼市口栗野*=1.1 真岡市田町*=1.1 真岡市荒町*=1.1 高根沢町石末*=1.1 足利市大正町*=1.0 栃木市大平町富田*=1.0 芳賀町祖母井*=1.0 野木町丸林*=1.0 小山市神鳥谷*=1.0 栃木市藤岡町藤岡*=0.9 佐野市葛生東*=0.9 日光市鬼怒川温泉大原*=0.9 日光市芹沼*=0.9 大田原市湯津上*=0.9 栃木市旭町=0.9 小山市中央町*=0.8 宇都宮市中里町*=0.8 佐野市田沼町*=0.8 日光市湯元*=0.7 日光市足尾町中才*=0.7 茂木町茂木*=0.6 宇都宮市塙田*=0.6 日光市瀬川=0.5 佐野市中町*=0.5 茂木町北高岡天矢場*=0.5 2 邑楽町中野*=1.6 渋川市赤城町*=1.5 1 沼田市白沢町*=1.4 館林市上三林町*=1.4 千代田町赤岩*=1.4 大泉町日の出*=1.4 前橋市粕川町*=1.3 太田市西本町*=1.3 板倉町板倉=1.3 桐生市黒保根町*=1.2 桐生市新里町*=1.1 桐生市元宿町*=1.0 渋川市吹屋*=1.0 沼田市西倉内町=1.0 伊勢崎市西久保町*=0.9 伊勢崎市東町*=0.9 館林市城町*=0.9 群馬明和町新里*=0.9 前橋市堀越町*=0.9 みどり市大間々町*=0.9 安中市安中*=0.8 沼田市下久屋町*=0.8 太田市粕川町*=0.8 前橋市富士見町*=0.8 前橋市鼻毛石町*=0.8 太田市浜町*=0.7 桐生市錦町=0.7 甘楽町小幡*=0.6 伊勢崎市境*=0.6 みどり市東町*=0.6 太田市新田金井町*=0.5 太田市大原町*=0.5 高崎市吉井町吉井川*=0.5 みどり市笠懸町*=0.5 渋川市伊香保町*=0.5 富岡市妙義町*=0.5 神流町生利*=0.5 2 富士河口湖町船津=1.6 1 富士川町鯉沢*=1.4 上野原市役所*=1.4 富士河口湖町長浜*=1.4 山梨北杜市長坂町*=1.2 都留市上谷*=1.2 笛吹市境川町藤盛*=1.1 大月市御太刀*=1.1 笛吹市八代町南*=1.0 大月市大月=0.9 山中湖村山中*=0.9 忍野村忍草*=0.8 鳴沢村役場*=0.8 甲府市飯田=0.8 甲府市相生*=0.8 富士河口湖町勝山*=0.7 山梨市牧丘町窪平*=0.7 山梨北杜市明野町*=0.7 甲州市塩山上於曾*=0.7 中央市大鳥居*=0.7 上野原市四方津=0.6 道志村釜之前*=0.6 南アルプス市寺部*=0.6 富士吉田市上吉田*=0.5 2 東伊豆町奈良本*=2.3 富士宮市野中*=2.3 熱海市網代=1.9 富士市大淵*=1.9 熱海市泉*=1.8 函南町平井*=1.6 河津町田中*=1.5 富士宮市弓沢町=1.5 1 沼津市西間門*=1.4 沼津市戸田*=1.4 伊豆の国市長岡*=1.3 熱海市中央町*=1.2 御殿場市竈*=1.0 小山町須走*=1.0 静岡清水区蒲原新栄*=1.0 東伊豆町稲取*=0.9 伊豆の国市田京*=0.9 三島市東本町=0.9 御殿場市萩原=0.9 伊東市大原=0.8 富士市吉永*=0.8 長泉町中土狩*=0.8 西伊豆町宇久須*=0.7 伊豆市八幡*=0.7 御殿場市茱萸沢*=0.7 下田市加増野=0.5 1 茅野市葛井公園*=0.7 長野南牧村海ノ口*=0.7 小海町豊里*=0.6				
59	14 20 52	種子島南東沖 鹿児島県	29° 54.5' N	131° 17.4' E	22km	M: 4.6
		1 南種子町西之*=0.7 中種子町野間*=0.5				
60	15 15 14	福島県浜通り 福島県	37° 29.0' N	140° 47.0' E	76km	M: 3.7
		2 田村市都路町*=2.3 大熊町大川原*=1.9 檜葉町北田*=1.7 浪江町幾世橋=1.7 川俣町五百田*=1.5 1 玉川村小高*=1.2 小野町小野新町*=1.2 田村市常葉町*=1.2 双葉町長塚*=1.2 二本松市針道*=1.1 葛尾村落合落合*=1.1 富岡町本岡*=1.0 田村市滝根町*=1.0 いわき市三和町=1.0 川内村上川内早渡*=0.9 福島広野町下北迫大谷地原*=0.9 田村市船引町=0.9 浅川町浅川*=0.8 大熊町野上*=0.8 小野町中通*=0.8 鏡石町不時沼*=0.8 棚倉町棚倉中居野=0.7 飯館村伊丹沢*=0.7 川内村上川内小山平*=0.6 二本松市油井*=0.6 いわき市平四ツ波*=0.5 南相馬市原町区三島町=0.5 南相馬市原町区高見町*=0.5				

令和6年10月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
61	15 19 28	宮城県 1 柴田町船岡=0.5	38° 55.5' N	141° 56.0' E	51km	M: 3.7
		茨城県 1 日立市助川小学校*=0.6				
62	15 19 32	宮城県沖 38° 55.5' N 141° 56.0' E 51km M: 3.7	35° 50.4' N	137° 34.8' E	5km	M: 2.0
		岩手県 1 一関市室根町*=1.4 大船渡市大船渡町=1.2 大槌町上町*=1.0 一関市藤沢町*=0.9 陸前高田市高田町*=0.8 大船渡市猪川町=0.8 一関市千厩町*=0.8 一関市大東町=0.7 釜石市中妻町*=0.6				
63	15 23 32	宮城県 1 気仙沼市赤岩=1.3 気仙沼市唐桑町*=1.3 気仙沼市笹が陣*=1.2 登米市東和町*=0.9 南三陸町歌津*=0.6 気仙沼市本吉町津谷*=0.5	35° 50.4' N	137° 34.7' E	5km	M: 1.8
		長野県南部 1 木曾町三岳*=1.0				
64	16 03 49	長野県 1 木曾町三岳*=0.9	24° 49.5' N	125° 22.7' E	49km	M: 3.9
		宮古島近海 2 宮古島市下地*=1.5				
65	16 06 59	沖縄県 1 宮古島市上野支所*=1.3 宮古島市平良狩俣*=1.2 宮古島市城辺福北=1.2 宮古島市平良池間=1.0 宮古島市平良西里*=1.0 宮古島市平良下里=0.9 宮古島市伊良部前里添=0.7 宮古島市城辺福西*=0.6	35° 12.5' N	137° 40.1' E	17km	M: 2.6
		愛知県東部 1 売木村役場*=0.8				
66	16 10 13	長野県 1 売木村役場*=0.8	31° 57.3' N	130° 42.3' E	5km	M: 2.1
		鹿児島県薩摩地方 2 湧水町栗野*=1.9 霧島市横川町中ノ*=1.9				
67	16 17 53	鹿児島県 1 伊佐市菱刈前目*=0.6	36° 05.4' N	139° 51.9' E	47km	M: 4.3
		茨城県南部 3 笠間市石井*=2.5				
67	16 17 53	茨城県 2 笠間市笠間*=2.4 坂東市山*=2.4 筑西市門井*=2.4 筑西市海老ヶ島*=2.3 大子町池田*=2.3 筑西市舟生=2.3 土浦市藤沢*=2.3 笠間市中央*=2.2 筑西市二木成*=2.1 桜川市真壁*=2.1 坂東市役所*=2.1 茨城古河市下大野*=2.1 土浦市常名=2.1 結城市中央町*=2.0 境町旭町*=2.0 坂東市馬立*=2.0 笠間市下郷*=2.0 桜川市岩瀬*=2.0 水戸市内原町*=2.0 常総市新石下*=2.0 下妻市本城町*=1.9 石岡市柿岡=1.9 坂東市岩井=1.9 常陸大宮市北町*=1.8 小美玉市小川*=1.8 桜川市羽田*=1.8 小美玉市堅倉*=1.8 石岡市八郷*=1.7 八千代町菅谷*=1.7 つくばみらい市福田*=1.7 石岡市石岡*=1.7 稲敷市江戸崎町*=1.7 水戸市千波町*=1.7 かつみがうら市上土田*=1.6 つくば天王台*=1.6 城里町石塚*=1.6 小美玉市上玉里*=1.6 鉾田市汲上*=1.6 常陸大宮市野口*=1.6 石岡市若宮*=1.6 取手市寺田*=1.6 常陸大宮市山方*=1.5 茨城古河市長谷町*=1.5 つくば市小釜*=1.5 茨城鹿嶋市鉢形=1.5 かつみがうら市大和田*=1.5 水戸市金町=1.5 那珂市福田*=1.5 守谷市大柏*=1.5 茨城町小堤*=1.5 大洗町磯浜町*=1.5 日立市助川小学校*=1.4 城里町阿波山*=1.4 五霞町小福田*=1.4 稲敷市結佐*=1.4 行方市玉造*=1.4 行方市麻生*=1.4 常総市水海道諏訪町*=1.4 茨城古河市仁連*=1.3 日立市天王町友部*=1.3 那珂市瓜連*=1.3 鉾田市造谷*=1.3 城里町徳蔵*=1.3 土浦市田中*=1.2 東海村東海*=1.2 つくばみらい市加藤*=1.2 つくば市研究学園*=1.2 常陸大宮市高部*=1.2 水戸市栗崎町*=1.2 鉾田市鉾田=1.1 龍ヶ崎市役所*=1.1 稲敷市須賀津*=1.1 ひたちなか市南神敷台*=1.1 美浦村受領*=1.1 常陸太田市町屋町=1.0 茨城鹿嶋市宮中*=1.0 常陸大宮市中富町=1.0 行方市山田*=1.0 常陸太田市高柿町*=0.9 高萩市安良川*=0.9 潮来市辻*=0.9 取手市井野*=0.9 利根町布川=0.9 牛久市中央*=0.9 阿見町中央*=0.8 稲敷市役所*=0.8 取手市藤代*=0.8 神栖市溝口*=0.8 潮来市堀之内=0.8 ひたちなか市東石川*=0.8 常陸太田市町田町*=0.7 常陸大宮市上小瀬*=0.7 日立市役所*=0.6				
		栃木県 3 宇都宮市明保野町=3.2 下野市田中*=3.1 下野市笹原*=2.7 壬生町壬生甲*=2.6 益子町益子=2.5 鹿沼市晃望台*=2.5				
67	16 17 53	栃木県 2 栃木市藤岡町藤岡*=2.4 栃木市岩舟町静*=2.4 宇都宮市中里町*=2.3 栃木市旭町=2.3 佐野市高砂町*=2.3 小山市中央町*=2.2 佐野市葛生東*=2.2 真岡市石島*=2.1 足利市大正町*=2.1 佐野市沼沼*=2.0 宇都宮市塙田*=2.0 宇都宮市旭*=1.9 小山市神鳥谷*=1.9 栃木市西方町本城*=1.9 上三川町しらさぎ*=1.9 高根沢町石末*=1.9 佐野市中町*=1.9 芳賀町祖母井*=1.8 野木町丸林*=1.8 栃木市大平町富田*=1.7 茂木町茂木*=1.7 栃木市都賀町家中*=1.7 日光市鬼怒川温泉大原*=1.7 日光市芹沼*=1.7 那須烏山市大金*=1.7 下野市大松山*=1.7 日光市黒部*=1.7 鹿沼市口栗野*=1.7 真岡市田町*=1.6 栃木市万町*=1.6 栃木さくら市氏家*=1.6 栃木那珂川町小川*=1.6 日光市足尾町中才*=1.6 日光市藤原庁舎*=1.5 塩谷町玉生*=1.5 宇都宮市中岡本町*=1.5				
		群馬県 3 板倉町板倉=2.5				
67	16 17 53	群馬県 2 館林市上三林町*=2.2 邑楽町中野*=2.1 太田市西本町*=2.0 群馬明和町新里*=1.9 大泉町日の出*=1.9 桐生市元宿町*=1.8 千代田町赤岩*=1.8 桐生市新里町*=1.6 桐生市黒保根町*=1.5 館林市城町*=1.5 みどり市大間々町*=1.5	36° 05.4' N	139° 51.9' E	47km	M: 4.3
		1 伊勢崎市西久保町*=1.4 太田市浜町*=1.4 渋川市赤城町*=1.4 前橋市粕川町*=1.3 伊勢崎市東町*=1.3 沼田市西倉内町=1.2 片品村鎌田*=1.2 前橋市堀越町*=1.2 太田市大原町*=1.2				

令和6年10月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日 時 分	震源地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		<p>桐生市錦町=1.0 太田市粕川町*=1.0 渋川市吹屋*=1.0 藤岡市鬼石*=1.0 沼田市下久屋町*=1.0 沼田市白沢町*=1.0 前橋市富士見町*=0.9 みどり市東町*=0.9 高崎市吉井町吉井川*=0.8 みどり市笠懸町*=0.8 前橋市鼻毛石町*=0.8 太田市新田金井町*=0.7 沼田市尾瀬高等学校=0.7 伊勢崎市今泉町*=0.7 富岡市七日市=0.6 みなかみ町鹿野沢*=0.6 渋川市伊香保町*=0.5 神流町生利*=0.5 沼田市利根町*=0.5</p> <p>3 久喜市下早見=2.7 宮代町笠原*=2.6</p> <p>2 加須市騎西*=2.4 加須市大利根*=2.3 熊谷市江南*=2.2 久喜市鷺宮*=2.1 行田市南河原*=2.0 加須市三俣*=2.0 春日部市粕壁*=2.0 久喜市栗橋*=1.9 加須市北川辺*=1.8 滑川町福田*=1.8 春日部市金崎*=1.8 行田市本丸*=1.7 東松山市松葉町*=1.7 羽生市東*=1.7 久喜市菖蒲*=1.7 川口市中青木分室*=1.7 杉戸町清地*=1.7 さいたま北区宮原*=1.7 さいたま見沼区堀崎*=1.7 さいたま岩槻区本丸*=1.6 本庄市児玉町=1.6 深谷市仲町*=1.5 久喜市青葉*=1.5 桶川市泉*=1.5 北本市本町*=1.5 八潮市中央*=1.5 熊谷市桜町=1.5 白岡市千駄野*=1.5</p> <p>1 東松山市市ノ川*=1.4 鴻巣市中央*=1.4 鴻巣市川里*=1.4 春日部市谷原新田*=1.4 幸手市東*=1.4 さいたま大宮区大門*=1.4 さいたま浦和区高砂=1.4 さいたま緑区中尾*=1.4 熊谷市宮町*=1.3 上尾市本町*=1.3 蓮田市黒浜*=1.3 長瀨町野上下郷*=1.3 ときがわ町桃木*=1.2 草加市中央*=1.2 蕨市中央*=1.2 戸田市上戸田*=1.2 さいたま西区指扇*=1.2 さいたま南区別所*=1.2 熊谷市妻沼*=1.2 嵐山町杉山*=1.2 埼玉美里町木部*=1.2 小川町大塚*=1.1 伊奈町中央*=1.1 さいたま大宮区天沼町*=1.1 さいたま中央区下落合*=1.1 三郷市中央*=1.1 川島町下八ツ林*=1.0 深谷市普濟寺*=1.0 越谷市越ヶ谷*=1.0 坂戸市千代田*=1.0 鴻巣市吹上富士見*=0.9 吉川市きよみ野*=0.9 越生町越生*=0.9 川口市三ツ和*=0.9 熊谷市大里*=0.9 吉見町下細谷*=0.8 埼玉神川町植竹*=0.8 ときがわ町玉川*=0.8 秩父市近戸町*=0.8 川口市安行領家*=0.7 松伏町松伏*=0.7 朝霞市本町*=0.7 和光市広沢*=0.7 さいたま浦和区常盤*=0.7 新座市野火止*=0.6 深谷市花園*=0.6 狭山市入間川*=0.6 皆野町皆野*=0.6 長瀨町本野上*=0.5 鳩山町大豆戸=0.5 さいたま桜区道場*=0.5 埼玉神川町下阿久原*=0.5 寄居町寄居*=0.5 毛呂山町中央*=0.5</p> <p>2 白河市表郷*=2.1 白河市新白河*=1.5 白河市大信*=1.5 棚倉町棚倉中居野=1.5</p> <p>1 矢祭町東館*=1.4 玉川村小高*=1.3 浅川町浅川*=1.3 矢祭町戸塚*=1.2 須賀川市岩瀬支所*=1.2 田村市都路町*=1.1 白河市東*=1.0 泉崎村泉崎*=0.9 田村市常葉町*=0.8 白河市郭内=0.8 下郷町塩生*=0.8 檜枝岐村上河原*=0.8 南会津町松戸原*=0.8 田村市船引町=0.8 本宮市本宮*=0.7 鏡石町不時沼*=0.7 西郷村熊倉*=0.7 石川町長久保*=0.7 須賀川市八幡山*=0.7 小野町中通*=0.6 小野町小野新町*=0.6 南会津町滝原*=0.6 郡山市湖南町*=0.6 浪江町幾世橋=0.5 古殿町松川横川=0.5 いわき市三和町=0.5</p> <p>2 野田市鶴奉*=1.8 野田市東宝珠花*=1.8 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*=1.7 市川市大町*=1.5 八千代市大和田新田*=1.5</p> <p>1 芝山町小池*=1.4 香取市仁良*=1.4 白井市復*=1.4 千葉花見川区花島町*=1.3 成田市名古屋=1.3 成田市中台*=1.3 柏市旭町=1.3 印西市大森*=1.3 香取市佐原諏訪台*=1.2 香取市役所*=1.2 松戸市西馬橋*=1.2 習志野市鷺沼*=1.2 柏市柏*=1.2 香取市岩部*=1.1 市川市本行徳*=1.1 船橋市湊町*=1.1 成田国際空港=1.1 栄町安食台*=1.1 千葉佐倉市海隣寺町*=1.0 柏市大島田*=1.0 浦安市日の出=1.0 印西市笠神*=1.0 旭市南堀之内*=1.0 香取市佐原平田=1.0 千葉稲毛区園生町*=1.0 千葉美浜区ひび野=1.0 旭市ニ*=0.9 多古町多古=0.9 山武市埴谷*=0.9 千葉中央区中央港=0.8 千葉若葉区小倉台*=0.8 成田市松子*=0.8 東金市日吉台*=0.8 流山市平和台*=0.8 神崎町神崎本宿*=0.8 四街道市鹿渡*=0.8 印西市美瀬*=0.8 千葉美浜区稲毛海岸*=0.7 富里市七栄*=0.7 成田市猿山*=0.7 香取市羽根川*=0.7 我孫子市我孫子*=0.6 長南町総合グラウンド=0.6 松戸市根本*=0.6 酒々井町中央台*=0.6 山武市松尾町富士見台=0.6 山武市蓮沼ニ*=0.5 君津市久留里市場*=0.5</p> <p>2 横浜港北区日吉本町*=1.6 横浜神奈川区神大寺*=1.5</p> <p>1 横浜中区山手町=1.1 横浜緑区十日市場町*=1.1 横浜鶴見区末広町*=1.0 川崎中原区小杉町*=1.0 川崎宮前区野川*=0.9 川崎宮前区宮前平*=0.8 川崎幸区戸手本町*=0.7 川崎中原区小杉陣屋町=0.7</p> <p>1 東京品川区平塚*=1.4 東京千代田区大手町=1.3 調布市西つつじヶ丘*=1.2 東京文京区大塚*=1.1 東京渋谷区本町*=1.1 東京杉並区高井戸*=1.1 東京北区西ヶ原*=1.1 東京荒川区東尾久*=1.1 東京足立区神明南*=1.1 東京足立区伊興*=1.1 東京中央区勝どき*=1.0 東京品川区北品川*=1.0 東京大田区多摩川*=1.0 東京葛飾区立石*=1.0 東京江戸川区中央=1.0 東京江戸川区鹿骨*=1.0 小平市小川町*=1.0 東京港区白金*=0.9 東京中野区中野*=0.9 東京豊島区南池袋*=0.9 東京板橋区高島平*=0.9 東京板橋区相生町*=0.9 東京江戸川区船堀*=0.9 東京港区海岸=0.9 東京港区南青山*=0.9 東京大田区本羽田*=0.8 東京世田谷区三軒茶屋*=0.8 東京中野区江古田*=0.8 東京世田谷区世田谷*=0.7 東京世田谷区中町*=0.7 東京世田谷区成城*=0.7 東京渋谷区宇田川町*=0.7 東京千代田区富士見*=0.7 東京文京区スポーツセンター*=0.7 東京墨田区吾妻橋*=0.7 東大和市中央*=0.7 東京江東区森下*=0.7 東京品川区広町*=0.7 東京目黒区中央町*=0.7 東京大田区大森東*=0.7 東京荒川区荒川*=0.6 東京練馬区光が丘*=0.6 小金井市本町*=0.6 日野市神明*=0.6 国分寺市泉町*=0.6 西東京市中町*=0.6 東京墨田区横川=0.6 東京台東区東上野*=0.5 東京墨田区東向島*=0.5 東京練馬区東大泉*=0.5</p>				
68	17 01 15	<p>鳥島近海 東京都</p> <p>1 小笠原村母島=0.7 小笠原村父島三日月山=0.6 小笠原村父島西町=0.5</p>	29° 02.0' N	139° 43.3' E	422km	M: 4.3
69	17 16 40	<p>茨城県北部 茨城県</p> <p>2 日立市助川小学校*=1.9</p> <p>1 常陸太田市町屋町=1.4 日立市役所*=1.3 日立市十王町友部*=0.5</p>	36° 36.0' N	140° 38.1' E	9km	M: 3.0
70	18 07 40	<p>石川県能登地方 石川県</p> <p>2 珠洲市正院町*=1.7</p> <p>1 珠洲市三崎町=1.1</p>	37° 27.5' N	137° 21.2' E	10km	M: 3.0

令和6年10月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日 時 分	震源地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
71	18 13 38	岩手県沖 青森県	40° 07.9' N	142° 24.7' E	40km	M: 5.4
		3 八戸市南郷*2.8 青森南部町苫米地*2.7 五戸町古館=2.5 2 野辺地町田狭沢*2.3 おいらせ町中下田*2.3 八戸市内丸*2.3 階上町道仏*2.2 おいらせ町上明堂*2.1 青森南部町平*2.1 三沢市桜町*2.1 東北町上北南*2.1 三戸町在府小路町*2.0 六戸町大落瀬*2.0 東通村砂子又沢内*2.0 七戸町森ノ上*2.0 青森市花園=1.9 青森南部町沖田面*1.8 五戸町倉石中市*1.8 青森市中央*1.6 六ヶ所村出戸=1.6 十和田市西十二番町*1.6 七戸町七戸*1.6 むつ市金曲=1.6 むつ市大畑町中島*1.6 外ヶ浜町蟹田*1.6 六ヶ所村尾駈=1.5 田子町田子*1.5 横浜町林ノ脇*1.5 十和田市西二番町*1.5 1 八戸市島守=1.4 横浜町寺下*1.4 東通村砂子又蒲谷地=1.3 東通村白糠*1.3 佐井村長後*1.3 十和田市奥瀬*1.3 むつ市川内町*1.3 平内町東田沢*1.2 東北町塔ノ沢山*1.2 つがる市稲垣町*1.0 新郷村戸来*1.0 蓬田村蓬田*1.0 藤崎町水木*0.9 平川市猿賀*0.9 青森市浪岡*0.9 藤崎町西豊田*0.9 むつ市脇野沢*0.9 つがる市車力町*0.7 五所川原市金木町*0.7 今別町今別*0.7 つがる市柏*0.6 東通村尻屋*0.6 中泊町中里*0.6 平川市柏木町*0.6 黒石市市ノ町*0.6 五所川原市相内*0.5 岩手県 3 普代村銅屋*2.8 盛岡市山王町=2.8 盛岡市藪川*2.7 盛岡市洺民*2.6 二戸市浄法寺町*2.5 矢巾町南矢幅*2.5 2 紫波町紫波中央駅前*2.4 宮古市五月町*2.3 宮古市田老*2.3 野田村野田*2.3 八幡平市田頭*2.2 軽米町軽米*2.2 久慈市川崎町=2.2 滝沢市鶴飼*2.2 山田町大沢*2.1 花巻市石鳥谷町*2.1 一関市千厩町*2.1 大船渡市大船渡町=2.0 釜石市中妻町*2.0 宮古市川井*2.0 久慈市長内町*2.0 山田町八幡町=2.0 花巻市東和町*2.0 北上市相去町*2.0 奥州市江刺*2.0 奥州市胆沢*2.0 八幡平市込田*1.9 遠野市青笹町*1.9 久慈市枝成沢=1.9 金ヶ崎町西根*1.9 平泉町平泉*1.9 宮古市区界*1.9 奥州市前沢*1.9 大槌町上町*1.9 宮古市鉾ヶ崎=1.9 八幡平市野駄*1.8 一関市室根町*1.8 盛岡市馬場町*1.8 岩手町五日市*1.8 花巻市材木町*1.8 一戸町高善寺*1.8 北上市柳原町=1.8 釜石市越越町=1.8 一関市花泉町*1.8 奥州市水沢佐倉河*1.7 岩手洋野町種市=1.7 一関市藤沢町*1.7 花巻市大迫総合支所*1.7 住田町世田米*1.7 九戸村伊保内*1.6 雫石町千刈田=1.6 花巻市大迫町=1.6 葛巻町葛巻元木=1.6 八幡平市大更=1.6 奥州市水沢大鐘町=1.5 二戸市福岡=1.5 岩泉町岩泉*1.5 北海道 1 宮古市茂市*1.4 田野畑村田野畑=1.4 雫石町西根上駒木野=1.4 奥州市衣川*1.4 二戸市石切所*1.3 遠野市宮守町*1.3 一関市大東町=1.3 一関市竹山町*1.3 一関市東山町*1.3 西和賀町沢内川舟*1.3 田野畑村役場*1.3 岩手洋野町大野*1.3 葛巻町消防分署*1.2 大船渡市盛町*1.2 西和賀町沢内太田*1.2 久慈市山形町*1.1 大船渡市猪川町=1.1 岩泉町大川*1.1 陸前高田市高田町*1.1 西和賀町川尻*1.0 宮古市長沢=1.0 一関市川崎町*0.8 葛巻町役場*0.8 2 函館市泊町*1.8 宮城県 1 函館市新浜町*1.4 様似町栄町*0.6 函館市川汲町*0.5 2 石巻市桃生町*2.1 栗原市若柳*2.0 涌谷町新町裏=1.9 登米市迫町*1.9 登米市米山町*1.9 気仙沼市赤岩=1.8 大崎市田尻*1.8 栗原市栗駒=1.7 栗原市志波姫*1.7 登米市南方町*1.7 大崎市古川旭*1.7 気仙沼市笹が陣*1.7 気仙沼市唐桑町*1.6 栗原市一迫*1.6 登米市中田町=1.6 宮城美里町木間塚*1.6 大崎市松山*1.6 登米市登米町*1.5 栗原市築館*1.5 大崎市古川三日町=1.5 石巻市前谷地*1.5 1 栗原市金成*1.4 登米市豊里町*1.4 大崎市鹿島台*1.4 東松島市矢本*1.4 栗原市高清水*1.3 丸森町鳥屋*1.3 石巻市相野谷*1.3 名取市増田*1.2 色麻町四蔵*1.2 栗原市花山*1.2 松島町高城=1.2 登米市東和町*1.1 宮城加美町中新田*1.1 大崎市古川大崎=1.1 栗原市鶯沢*1.1 岩沼市桜*1.1 栗原市瀬峰*1.1 角田市角田*1.0 宮城美里町北浦*1.0 大崎市鳴子*1.0 石巻市北上町*0.9 大衡村大衡*0.9 登米市石越町*0.9 利府町利府*0.8 東松島市小野*0.8 石巻市泉町=0.8 蔵王町円田*0.7 大河原町新南*0.7 山元町浅生原*0.7 仙台宮城野区苦竹*0.7 登米市津山町*0.7 南三陸町歌津*0.7 気仙沼市本吉町西川内=0.6 秋田県 2 北秋田市新田目*1.5 1 横手市大雄*1.4 大館市桜町*1.3 鹿角市花輪*1.3 大仙市高梨*1.3 大館市比内町扇田*1.2 大館市早口*1.2 北秋田市花園町=1.2 大仙市刈和野*1.1 小坂町小坂砂森*1.0 大仙市大曲花園町*1.0 能代市二ツ井町上台*1.0 井川町北川尻*0.9 三種町森岳*0.9 横手市雄物川町今宿=0.8 横手市大森町*0.8 由利本荘市西目町沼田*0.8 羽後町西馬音内*0.8 秋田美郷町六郷東根=0.8 大仙市北長野*0.8 仙北市田沢湖生保内宮ノ後*0.8 秋田市雄和新波*0.8 湯沢市沖鶴=0.7 東成瀬村椿川*0.7 仙北市田沢湖生保内上清水*0.7 北秋田市米内沢*0.7 仙北市西木町上荒井*0.7 横手市中央町*0.7 大館市比内町味噌内=0.6 仙北市角館町小勝田*0.6 湯沢市寺沢*0.6 東成瀬村田子内*0.6 山形県 1 中山町長崎*1.2 酒田市飛鳥*1.1 酒田市山田*0.9				
72	18 16 03	宮城県沖 宮城県	38° 11.6' N	142° 29.9' E	44km	M: 4.0
		1 石巻市桃生町*0.6				
73	18 18 18	硫黄島近海 東京都	25° 11.5' N	143° 23.9' E	9km	M: 5.8
		1 小笠原村母島=0.9				
74	18 23 50	硫黄島近海 東京都	25° 37.4' N	141° 12.8' E	143km	M: 4.8
		1 小笠原村母島=0.6				
75	19 00 58	和歌山県北部 和歌山県	34° 12.6' N	135° 12.5' E	5km	M: 1.9
		1 和歌山市一番丁*1.0				
76	19 04 37	和歌山県北部 和歌山県	34° 12.6' N	135° 12.4' E	5km	M: 2.0
		1 和歌山市一番丁*1.0				

令和6年10月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
77	19 04 59	岐阜県飛騨地方 岐阜県 1 下呂市金山町* 1.1 郡上市和良町* 1.1 郡上市八幡町旭* 0.6	35° 43.4' N	137° 07.8' E	5km	M: 2.6
78	19 07 56	上川地方南部 北海道 1 厚真町鹿沼=0.7 むかわ町穂別* 0.7 安平町追分柏が丘* 0.6 千歳市北栄=0.5	42° 57.5' N	142° 26.1' E	112km	M: 3.6
79	19 11 59	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村懸石島* 0.8	29° 22.1' N	129° 35.5' E	7km	M: 2.2
80	19 21 06	徳島県北部 徳島県 2 阿南市羽ノ浦町* 1.8 1 小松島市横須町* 0.9 阿南市那賀川町* 0.7 阿南市富岡町=0.5	33° 58.1' N	134° 35.5' E	7km	M: 2.6
81	19 22 26	茨城県沖 茨城県 1 水戸市栗崎町* 0.5	36° 26.4' N	141° 01.9' E	44km	M: 3.1
82	19 23 41	伊予灘 大分県 2 国東市田深* 1.7 1 国東市安岐町* 1.3 国東市鶴川=1.1 国東市武蔵町* 1.1 姫島村役場* 1.0 国東市国見町伊美* 0.8 大分市佐賀関* 0.8 臼杵市臼杵* 0.8 大分市明野北=0.5 豊後高田市香々地* 0.5 広島県 1 広島西区己斐* 0.8 愛媛県 1 久万高原町久万* 1.1 宇和島市丸穂* 0.6 松野町松丸* 0.6 高知県 1 宿毛市桜町* 1.1 山口県 1 光市中央* 1.4 下松市大手町* 1.4 平生町平生* 1.0 上関町長島* 0.9 防府市西浦* 0.8 光市岩田* 0.8 岩国市本郷町本郷* 0.5 田布施町下田布施=0.5	33° 32.8' N	131° 46.0' E	79km	M: 3.7
83	20 08 37	根室半島南東沖 北海道 2 根室市瑤瑤* 1.6 1 根室市厚床* 1.2 別海町本別海* 0.7 別海町常盤=0.7 根室市牧の内* 0.5 根室市弥栄=0.5	42° 53.2' N	146° 35.1' E	18km	M: 4.5
84	20 16 58	胆振地方中東部 北海道 1 厚真町鹿沼=0.9 安平町追分柏が丘* 0.8 新千歳空港=0.6	42° 37.5' N	142° 00.1' E	28km	M: 2.9
85	20 17 24	千葉県東方沖 千葉県 1 千葉若葉区野呂町* 1.4 長南町総合グラウンド=1.2 睦沢町下之郷* 1.1 山武市埴谷* 1.0 大網白里市大網* 0.9 一宮町一宮=0.9 長生村本郷* 0.8 東金市日吉台* 0.7 勝浦市新官* 0.6	35° 12.1' N	140° 27.2' E	47km	M: 4.1
86	20 22 52	福島県沖 福島県 1 白河市新白河* 0.6 小野町中通* 0.5 茨城県 1 日立市十王町友部* 0.8 日立市助川小学校* 0.6	36° 52.9' N	141° 03.5' E	50km	M: 3.6
87	21 03 36	静岡県西部 静岡県 1 掛川市長谷* 0.6	34° 42.1' N	137° 52.6' E	35km	M: 2.7
88	21 12 12	釧路地方中南部 北海道 1 浦幌町桜町* 0.7 本別町向陽町* 0.6	42° 55.2' N	143° 58.8' E	78km	M: 3.3
89	21 15 19	岐阜県美濃中西部 愛知県 3 一宮市千秋=2.5 2 岩倉市川井町* 2.2 一宮市木曾川町* 2.1 犬山市五郎丸* 2.1 一宮市西五城* 2.1 稲沢市祖父江町* 1.9 愛西市江西町* 1.9 名古屋西区八筋町* 1.8 稲沢市稲府町* 1.8 稲沢市平和町* 1.7 蟹江町蟹江本町* 1.6 清須市西枇杷島町住吉* 1.6 愛西市諏訪町* 1.5 清須市春日振形* 1.5 名古屋中川区東春田* 1.5 清須市清洲* 1.5 1 名古屋北区萩野通* 1.4 小牧市安田町* 1.4 名古屋東区筒井* 1.3 名古屋中村区大宮町* 1.3 愛知津島市埋田町* 1.3 名古屋千種区日和町=1.3 名古屋中区県庁* 1.2 大口町下小口* 1.2 名古屋昭和区阿由知通* 1.1 豊山町豊場* 1.1 北名古屋市西之保* 1.1 北名古屋市井瀬木* 1.1 名古屋中区市役所* 1.1 大治町馬島* 1.0 愛西市石田町* 1.0 清須市須ヶ口* 1.0 豊田市長興寺* 1.0 名古屋港区春田野* 1.0 名古屋港区善進本町* 1.0 名古屋守山区下志段味* 0.9 豊田市小坂町* 0.9 名古屋熱田区一番* 0.9 知多市緑町* 0.9 扶桑町高雄* 0.8 名古屋瑞穂区塩入町* 0.8 豊田市大沼町* 0.8 豊田市坂上町* 0.8 豊田市足助町* 0.8 名古屋港区金城ふ頭* 0.7 大府市中央町* 0.7 名古屋緑区有松町* 0.7 岡崎市櫻山町* 0.7 瀬戸市追分町* 0.7 春日井市鳥居松町* 0.7 豊田市小坂本町=0.6 東郷町春木* 0.6 名古屋守山区西新* 0.6 名古屋名東区名東本町* 0.6 豊田市小渡町* 0.6 岡崎市若宮町=0.5 尾張旭市東大道町* 0.5 愛西市稲葉町=0.5 新城市作手高里松風呂* 0.5 新城市東入船* 0.5 各務原市川島河田町* 2.2 各務原市那加桜町* 2.0 海津市海津町* 2.0 瑞穂市別府* 1.7 輪之内町四郷* 1.6 岐南町八剣* 1.6 笠松町司町* 1.6 岐阜市柳津町* 1.5 1 海津市平田町* 1.4 岐阜市加納二之丸=1.3 大垣市丸の内* 1.2 神戸町神戸* 1.2 岐阜市京町* 1.2 羽島市竹鼻町* 1.1 養老町高田* 1.1 川辺町中川辺* 1.1 恵那市上矢作町* 1.1 大垣市墨俣町* 1.0 八百津町八百津* 0.9 関ヶ原町関ヶ原* 0.9 富加町滝田* 0.9 関市若草通り* 0.8 岐阜池田町六之井* 0.8 瑞穂市宮田* 0.8 海津市南濃町* 0.8 大垣市上石津町* 0.8 岐阜山県市大門* 0.7 本巣市早野* 0.7 揖斐川町東津汲* 0.7 大野町大野* 0.7 美濃加茂市太田町=0.7 安八町氷取* 0.7 関市武芸川町* 0.6 北方町北方* 0.6	35° 16.5' N	136° 42.8' E	17km	M: 3.8

令和6年10月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日 時 分	震源地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		長野県 三重県 滋賀県				可児市広見*0.6 瑞浪市上平町*0.6 御嵩町御嵩*0.6 垂井町役場*0.5 土岐市肥田*0.5 中津川市山口*0.5 坂祝町取組*0.5 揖斐川町東杉原*0.5 岐阜山県市高富*0.5 本巢市下真桑*0.5 揖斐川町谷汲*0.5 揖斐川町春日*0.5 美濃加茂市西町*0.5 1 根羽村役場*0.9 1 桑名市多度町多度*1.1 いなべ市員弁町笠田新田*0.8 いなべ市藤原町市場*0.8 桑名市長島町松ヶ島*0.7 東員町山田*0.6 いなべ市北勢町阿下喜*0.6 亀山市本丸町*0.6 菟野町潤田*0.5 いなべ市大安町丹生川久下*0.5 1 東近江市市子川原町*1.2 米原市長岡*0.8 近江八幡市桜宮町*0.8 竜王町小口*0.8 東近江市君ヶ畑町*0.8 東近江市上二俣町*0.8 彦根市城町*0.5 高島市勝野*0.5 愛荘町安孫子*0.5 近江八幡市出町*0.5
90	21 17 40	福島県沖 茨城県	36° 54.5' N	140° 55.5' E	91km	M: 3.5 1 日立市助川小学校*1.2
91	21 23 11	十勝地方中部 北海道	42° 44.3' N	143° 41.0' E	111km	M: 4.3 2 浦幌町桜町*2.3 豊頃町茂岩本町*2.2 広尾町並木通=1.8 十勝池田町西1条*1.7 えりも町目黒*1.7 厚岸町真栄*1.7 釧路町別保*1.6 釧路市音別町中園*1.6 広尾町白樺通=1.5 1 幕別町本町*1.4 本別町向陽町*1.4 浜中町茶内*1.4 幕別町忠類錦町*1.2 釧路市阿寒町中央*1.2 浦河町築地*1.2 標茶町塘路*1.2 根室市厚床*1.2 本別町北2丁目=1.2 新得町2条*1.1 更別村更別*1.1 十勝大樹町東本通*1.1 函館市新浜町*1.1 鶴居村鶴居東*1.0 白糠町西1条*1.0 別海町常盤=1.0 浦河町潮見=1.0 十勝清水町南4条=1.0 芽室町東2条*1.0 様似町栄町*0.9 新ひだか町三石旭町*0.9 中札内村東2条*0.8 新ひだか町静内山手町*0.8 函館市泊町*0.8 釧路市幸町*0.8 帯広市東4条*0.8 厚岸町尾幌=0.8 弟子屈町弟子屈*0.7 帯広市東6条*0.7 浦河町野深=0.7 標茶町川上*0.6 えりも町えりも岬*0.6 別海町本別海*0.6 幕別町忠類明和=0.6 青森県 1 八戸市湊町=1.3 青森南部町苦米地*1.1 八戸市内丸*1.0 東通村砂子又沢内*1.0 階上町道仏*0.9 五戸町古館=0.7 八戸市南郷*0.7 七戸町森ノ上*0.7 平内町小湊=0.6 五戸町倉石中市*0.6 三沢市桜町*0.6 岩手県 1 軽米町軽米*1.0 久慈市枝成沢=0.8 盛岡市薮川*0.6 八幡平市田頭*0.6
92	22 02 40	京都府沖 兵庫県	35° 41.0' N	134° 53.9' E	11km	M: 3.4 2 豊岡市城崎町*1.8 1 豊岡市竹野町*0.9 京都府 1 京丹後市久美浜町広瀬*1.2 京丹後市久美浜市民局*1.1 与謝野町加悦*0.7 京丹後市峰山町*0.6
93	22 10 12	茨城県沖 福島県 茨城県	36° 14.7' N	141° 10.6' E	33km	M: 3.9 1 泉崎村泉崎*0.7 白河市新白河*0.6 1 茨城鹿嶋市宮中*1.0 ひたちなか市南神敷台*0.9 日立市助川小学校*0.9 東海村東海*0.8 水戸市千波町*0.8 土浦市常名=0.7 水戸市栗崎町*0.7 茨城鹿嶋市鉢形=0.6 水戸市内原町*0.6 笠間市石井*0.5
94 (注)	23 07 08 23 07 08	和歌山県北部 和歌山県	34° 11.6' N 34° 11.2' N	135° 12.8' E 135° 12.8' E	5km 4km	M: 4.0 M: 3.2 3 和歌山市男野芝丁=3.4 和歌山市一番丁*3.2 紀の川市貴志川町神戸*2.6 2 紀美野町下佐々*2.4 海南市下津*2.2 紀の川市桃山町元*2.0 岩出市西野*1.9 有田市初島町*1.8 海南市南赤坂*1.7 かつらぎ町丁ノ町*1.7 1 紀の川市粉河=1.4 紀の川市那賀総合センター*1.4 紀の川市西大井*1.4 橋本市東家*1.2 和歌山日高町高家*1.1 御坊市湯川*1.1 和歌山広川町広*1.1 橋本市高野口町名倉*1.0 有田市箕島=1.0 有田川町下津野*1.0 日高川町土生*0.9 由良町里*0.8 御坊市菌=0.8 湯浅町青木*0.8 紀美野町神野市場*0.7 高野町高野山中学校=0.5 大阪府 2 大阪岬町深日*2.1 泉南市男里*1.8 阪南市尾崎町*1.7 1 泉南市消防本部*1.3 田尻町嘉祥寺*0.9 泉佐野市市場*0.9 熊取町野田*0.7 富田林市本町=0.6 泉佐野市りんくう往来*0.6 河南町白木*0.6 富田林市高辺台*0.5 千早赤阪村水分*0.5 岸和田市畑町*0.5 奈良県 1 高取町観音寺*1.1 三郷町勢野西*1.0 五條市岡口*0.7 斑鳩町法隆寺西*0.5
95	23 09 25	和歌山県北部 和歌山県	34° 11.4' N	135° 12.6' E	5km	M: 3.2 2 和歌山市一番丁*2.3 海南市下津*2.3 和歌山市男野芝丁=2.0 有田市初島町*1.5 1 海南市南赤坂*1.4 有田市箕島=0.9 紀美野町下佐々*0.9 紀の川市貴志川町神戸*0.7 湯浅町青木*0.7
96	23 09 32	和歌山県北部 和歌山県	34° 11.4' N	135° 12.5' E	5km	M: 1.9 1 和歌山市男野芝丁=0.7
97	23 09 56	和歌山県北部 和歌山県	34° 11.3' N	135° 12.7' E	4km	M: 2.9 2 和歌山市男野芝丁=2.0 海南市下津*1.7 和歌山市一番丁*1.6 1 有田市初島町*0.9 海南市南赤坂*0.7
98	23 10 17	和歌山県北部 和歌山県	34° 11.4' N	135° 12.8' E	5km	M: 2.8 2 和歌山市男野芝丁=1.8 和歌山市一番丁*1.8 1 紀の川市貴志川町神戸*1.0 紀美野町下佐々*0.8 海南市下津*0.6
99	23 11 23	和歌山県北部	34° 11.5' N	135° 12.9' E	6km	M: 2.4

令和6年10月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日 時 分	震源地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
100	23 12 38	和歌山県 和歌山県北部 和歌山県	2 34° 11.3' N 1	和歌山県 和歌山市男野芝丁=1.5 和歌山市一番丁*=1.5 和歌山市男野芝丁=1.3 和歌山市男野芝丁=1.3 海南市下津*=0.8	5km	M: 2.5
101	23 15 18	和歌山県北部 和歌山県	2 34° 11.3' N 1	和歌山県 和歌山市男野芝丁=0.9 和歌山市一番丁*=0.8	5km	M: 2.1
102	23 17 11	青森県 青森県 北海道	2 41° 30.2' N 1	青森県 東通村砂子又沢内*=1.5 六ヶ所村尾駸=1.0 八戸市湊町=0.7 平内町小湊=0.5 東通村砂子又蒲谷地=0.5 函館市泊町*=0.7	56km	M: 3.9
103	23 23 41	愛媛県 愛媛県	2 33° 41.9' N 1	愛媛県 宇和島市丸穂*=1.6 西条市丹原町鞍瀬=1.1 久万高原町久万*=0.8 宇和島市三間町*=0.8	39km	M: 3.5
104	23 23 50	和歌山県北部 和歌山県	2 34° 11.7' N 1	和歌山県 和歌山市一番丁*=0.9	5km	M: 1.9
105	24 03 26	宮崎県 宮崎県 鹿児島県	2 31° 43.7' N 1	宮崎県 宮崎県南部山沿い 都城市姫城町*=2.1 都城市菖蒲原=2.0 三股町五本松*=1.9 鹿儿岛県 曾於市財部町南俣*=1.1 曾於市末吉町二之方*=0.9 曾於市大隅町中之内*=0.8	6km	M: 3.1
106	24 08 20	能登半島沖 石川県	2 37° 08.9' N 1	能登半島沖 志賀町富来領家町=1.4	3km	M: 1.8
107	24 14 30	豊後水道 愛媛県 高知県	2 33° 11.3' N 1	豊後水道 宇和島市丸穂*=0.9 宿毛市桜町*=1.2	37km	M: 2.8
108	24 20 16	福島県沖 福島県	2 37° 41.0' N 1	福島県沖 浪江町幾世橋=0.9	40km	M: 4.1
109	25 02 51	硫黄島近海 東京都	2 25° 39.0' N 1	硫黄島近海 小笠原村母島=1.1 小笠原村父島三日月山=0.6	0km	M: 5.4
110	25 11 20	和歌山県北部 和歌山県	2 34° 11.1' N 1	和歌山県北部 和歌山市男野芝丁=0.5	5km	M: 2.0
111	25 11 44	和歌山県北部 和歌山県	2 34° 11.2' N 1	和歌山県北部 和歌山市男野芝丁=0.8 和歌山市一番丁*=0.5	5km	M: 2.1
112	25 12 59	熊本県球磨地方 熊本県	2 32° 20.8' N 1	熊本県球磨地方 球磨村渡*=1.0	10km	M: 2.6
113	25 15 31	根室半島南東沖 北海道	2 43° 15.7' N 1	根室半島南東沖 根室市瑤瑤瑠*=1.9 中標津町丸山*=1.8 根室市牧の内*=1.5 標茶町塘路*=1.5 浜中町茶内*=1.4 根室市厚床*=1.3 別海町本別海*=1.2 標津町北2条*=1.1 別海町常盤=1.1 羅臼町岬町*=1.0 浜中町湯沸=0.9 中標津町養老牛*=0.8 弟子屈町弟子屈*=0.7 鶴居村鶴居東*=0.7 釧路市幸町=0.6 厚岸町尾幌=0.5 斜里町ウトロ香川*=0.5 白糠町西1条*=0.5	66km	M: 4.5
114	25 16 14	福島県会津 福島県	2 37° 03.5' N 1	福島県会津 檜枝岐村上河原*=1.0	8km	M: 2.0
115	25 17 23	和歌山県北部 和歌山県	2 34° 11.3' N 1	和歌山県北部 和歌山市男野芝丁=0.6 和歌山市一番丁*=0.5	5km	M: 2.0
116	25 20 17	福島県沖 福島県 宮城県	2 37° 04.1' N 1	福島県沖 田村市大越町*=1.8 田村市滝根町*=1.4 大熊町大川原*=1.2 双葉町長塚*=1.2 須賀川市八幡山*=0.9 大玉村南小屋=0.9 白河市新白河*=0.9 浪江町幾世橋=0.9 南相馬市原町区高見町*=0.9 天栄村下松本*=0.8 いわき市三和町=0.8 相馬市中村*=0.8 大熊町野上*=0.7 福島市花園町=0.6 郡山市朝日=0.5 宮城県 岩沼市桜*=0.9 石巻市桃生町*=0.9 角田市角田*=0.8	24km	M: 4.6
117	25 21 22	浦河沖 北海道	2 42° 02.3' N 1	浦河沖 新ひだか町三石旭町*=0.7 新ひだか町静内山手町=0.6	63km	M: 3.6
118	25 23 41	瀬戸内海中 岡山県	2 34° 26.1' N 1	瀬戸内海中 倉敷市下津井*=2.3 岡山南区片岡*=1.5 倉敷市児島小川町*=1.1 笠岡市殿川*=0.7 里庄町里見*=0.7 倉敷市白楽町*=0.7 倉敷市新田=0.7 笠岡市笠岡*=0.6 倉敷市沖*=0.6 岡山中区浜*=0.5 岡山南区浦安南町*=0.5 玉野市田井*=0.5	16km	M: 3.2

令和6年10月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
119	25 23 55	香川県 1 宇多津町役場*1.2 綾川町山田下*0.9 綾川町滝宮*0.7 坂出市久米町*0.6 多度津町家中*0.6 丸亀市大手町*0.6 坂出市王越町*0.5 丸亀市新田町*0.5 丸亀市綾歌町*0.5	37° 41.4' N	140° 01.0' E	5km	M: 2.8
120	26 06 20	福島県会津 福島県 1 北塩原村北山*1.1	35° 50.1' N	139° 21.2' E	56km	M: 3.9
		埼玉県南部 埼玉県 2 狭山市入間川*1.8 朝霞市本町*1.5 1 新座市野火止*1.3 熊谷市大里*1.1 さいたま北区宮原*1.1 志木市中宗岡*1.0 和光市広沢*1.0 入間市豊岡*0.9 所沢市北有楽町*0.9 越生町越生*0.9 ふじみ野市福岡*0.8 蕨市中央*0.8 埼玉三芳町藤久保*0.8 川島町下八ツ林*0.8 宮代町笠原*0.8 川口市中青木分室*0.8 ときがわ町玉川*0.7 川越市旭町*0.7 熊谷市江南*0.7 鴻巣市吹上富士見*0.7 上尾市本町*0.7 さいたま浦和区高砂*0.7 富士見市鶴馬*0.7 鴻巣市川里*0.6 行田市南河原*0.6 川口市安行領家*0.6 滑川町福田*0.6 嵐山町杉山*0.6 鶴ヶ島市三ツ木*0.6 東松山市松葉町*0.6 吉見町下細谷*0.5 春日部市粕壁*0.5 桶川市泉*0.5 東松山市市ノ川*0.5 さいたま南区別所*0.5 久喜市下早見*0.5 ふじみ野市大井*0.5 長瀬町野上下郷*0.5				
		東京都 2 小平市小川町*1.8 東大和市中央*1.8 調布市西つつじヶ丘*1.7 東京練馬区豊玉北*1.6 青梅市東青梅*1.5 国分寺市泉町*1.5 1 東京中野区中野*1.4 多摩市関戸*1.4 町田市忠生*1.3 青梅市日向和田*1.3 東京渋谷区本町*1.2 あきる野市伊奈*1.2 国分寺市戸倉*1.2 西東京市中町*1.2 小金井市本町*1.1 日野市神明*1.1 東村山市本町*1.1 東京新宿区百人町*1.1 武蔵野市緑町*1.0 東京府中市寿町*1.0 多摩市鶴牧*1.0 瑞穂町箱根ヶ崎*1.0 昭島市田中町*1.0 東京千代田区大手町*1.0 東京杉並区桃井*1.0 八王子市石川町*1.0 清瀬市中清戸*0.9 東京杉並区高井戸*0.9 東京板橋区相生町*0.9 東京品川区平塚*0.9 武蔵村山市本町*0.8 八王子市大横町*0.8 羽村市緑ヶ丘*0.8 武蔵野市吉祥寺東町*0.8 東京渋谷区宇田川町*0.8 東京北区西ヶ原*0.8 東京板橋区高島平*0.8 東京千代田区富士見*0.7 東京中央区勝どき*0.7 立川市泉町*0.7 東京中野区江古田*0.7 檜原村本宿*0.7 東京練馬区東大泉*0.6 東京足立区伊興*0.6 国立市富士見台*0.6 東京江戸川区中央*0.6 東京世田谷区成城*0.6 東京府中市朝日町*0.6 東京港区白金*0.6 調布市小島町*0.6 東京世田谷区世田谷*0.6 町田市森野*0.5 東京港区海岸*0.5 東京練馬区光が丘*0.5 福生市福生*0.5 東京新宿区歌舞伎町*0.5 東京江東区森下*0.5 稲城市東長沼*0.5 東京目黒区中央町*0.5				
		神奈川県 2 相模原緑区大島*1.7 1 愛川町角田*1.3 相模原中央区中央*1.3 相模原緑区橋本*1.3 横浜緑区十日市場町*1.0 川崎麻生区片平*1.0 相模原緑区中野*1.0 相模原緑区久保沢*0.9 川崎川崎区宮前町*0.8 川崎中原区小杉町*0.8 南足柄市関本*0.8 山北町山北*0.8 横浜鶴見区末広町*0.7 川崎宮前区宮前平*0.7 三浦市城山町*0.7 秦野市首屋*0.7 相模原南区磯部*0.7 横浜瀬谷区中屋敷*0.6				
		茨城県 1 坂東市岩井*0.5 栃木県 1 宇都宮市明保野町*1.2 栃木市岩舟町静*0.8 下野市笹原*0.8 群馬県 1 安中市安中*1.1 渋川市赤城町*0.5 千葉県 1 千葉緑区おゆみ野*0.8 習志野市鷺沼*0.7 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*0.7 八千代市大和田新田*0.5 市川市本行徳*0.5 柏市旭町*0.5				
		山梨県 1 上野原市役所*1.1 大月市御大刀*1.0 甲州市塩山上於曾*0.7 大月市大月*0.6 静岡県 1 小山町藤曲*0.8				
121	26 07 20	石垣島近海 沖縄県 1 石垣市新栄町*0.5	24° 12.5' N	124° 11.9' E	14km	M: 3.5
122	26 10 21	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村諏訪之瀬島*1.0	29° 37.8' N	129° 36.4' E	12km	M: 2.5
123	26 11 02	トカラ列島近海 鹿児島県 2 鹿児島十島村諏訪之瀬島*1.9	29° 35.5' N	129° 45.8' E	1km	M: 3.2
124	26 18 26	能登半島沖 石川県 2 志賀町香能*2.2	37° 07.6' N	136° 37.9' E	9km	M: 2.7
125	26 21 30	新潟県上中越沖 新潟県 1 柏崎市日石町*0.6	37° 23.9' N	138° 31.5' E	18km	M: 2.7
126	27 01 56	岩手県内陸北部 岩手県 1 八幡平市叭田*1.4 二戸市浄法寺町*0.9	40° 06.4' N	141° 06.1' E	7km	M: 3.0
127	27 02 10	釧路沖 北海道 1 浜中町茶内*1.0	42° 40.5' N	145° 22.2' E	24km	M: 3.6
128	27 12 32	茨城県沖 茨城県 3 水戸市千波町*2.5 水戸市栗崎町*2.5 日立市助川小学校*2.5 2 水戸市金町*2.2 常陸大宮市北町*2.2 ひたちなか市南神敷台*2.1 笠間市石井*2.1 日立市十王町友部*2.0 那珂市瓜連*2.0 常陸大宮市野口*1.9 東海村東海*1.8 日立市役所*1.8 常陸太田市高柿町*1.8 ひたちなか市東石川*1.8 鉾田市汲上*1.8	36° 26.5' N	140° 41.2' E	52km	M: 3.8

令和6年10月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日 時 分	震源地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		城里町石塚*=1.7 土浦市常名=1.7 水戸市内原町*=1.7 笠間市笠間*=1.6 茨城町小堤*=1.6 土浦市藤沢*=1.6 常陸太田市金井町*=1.6 小美玉市堅倉*=1.5 大洗町磯浜町*=1.5 常陸太田市町田町*=1.5 桜川市真壁*=1.5 笠間市下郷*=1.5 1 常陸太田市山方*=1.4 那珂市福田*=1.4 石岡市柿岡=1.4 石岡市若宮*=1.4 石岡市石岡*=1.4 美浦村受領*=1.4 桜川市岩瀬*=1.4 土浦市田中*=1.3 城里町徳蔵*=1.3 つくば市研究学園*=1.2 大子町池田*=1.2 筑西市門井*=1.2 ひたちなか市山ノ上町=1.2 鉾田市鉾田=1.2 小美玉市小川*=1.1 稲敷市江戸崎甲*=1.1 石岡市八郷*=1.1 筑西市二木成*=1.1 かすみがうら市大和田*=1.1 かすみがうら市上土田*=1.1 城里町阿波山*=1.1 笠間市中央*=1.1 茨城鹿嶋市宮中*=1.0 鉾田市造谷*=1.0 常陸大宮市中富町=1.0 常陸太田市大中町*=0.9 つくば市小茎*=0.9 茨城鹿嶋市鉢形=0.9 高萩市安良川*=0.9 下妻市本城町*=0.8 取手市寺田*=0.8 つくば市天王台*=0.8 行方市玉造*=0.8 小美玉市上玉里*=0.8 高萩市本町*=0.8 筑西市海老ヶ島*=0.7 北茨城市中郷町*=0.7 行方市山田*=0.7 桜川市羽田*=0.7 稲敷市結佐*=0.6 常陸大宮市上小瀬*=0.6 潮来市堀之内=0.6 守谷市大柏*=0.5 阿見町中央*=0.5 1 浅川町浅川*=0.7 矢祭町戸塚*=0.5 1 真岡市田町*=1.1 茂木町茂木*=1.0 栃木那珂川町小川*=1.0 市貝町市塙*=0.9 芳賀町祖母井*=0.9 宇都宮市中里町*=0.8 真岡市荒町*=0.8 栃木那珂川町馬頭*=0.8 真岡市石島*=0.6 益子町益子=0.6 小山市神島谷*=0.5 1 成田市名古屋=0.6 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*=0.6 白井市復*=0.6 野田市鶴奉*=0.5 習志野市鷺沼*=0.5 柏市旭町=0.5 八千代市大和田新田*=0.5 栄町安食台*=0.5				
129	28 04 50	日向灘 宮崎県	31° 48.9' N	131° 35.9' E	34km	M: 3.3 1 宮崎市松橋*=1.2 宮崎市霧島=1.1 都城市山之口町花木*=0.6
130	28 15 22	周防灘 愛媛県 山口県 大分県	33° 45.2' N	131° 47.7' E	82km	M: 3.4 1 宇和島市三間町*=0.8 久万高原町久万*=0.7 八幡浜市五反田*=0.6 1 下松市大手町*=1.3 光市中央*=0.6 1 国東市田深*=0.6
131	28 18 25	トカラ列島近海 鹿児島県	29° 59.6' N	130° 23.4' E	41km	M: 4.0 1 鹿児島十島村中之島徳之尾=1.3 屋久島町平内=1.3 屋久島町尾之間*=1.3 屋久島町宮之浦*=1.3 鹿児島十島村口之島出張所*=1.1 屋久島町小瀬田=0.9
132	29 05 34	宮城県沖 岩手県	38° 32.2' N	141° 59.7' E	80km	M: 3.1 1 一関市室根町*=0.9
133	29 10 50	岐阜県飛騨地方 岐阜県	36° 03.0' N	137° 35.4' E	6km	M: 2.2 1 高山市高根町*=0.5
134	30 04 36	岩手県沖 青森県 岩手県	40° 08.1' N	142° 23.2' E	40km	M: 3.9 1 青森南部町苦米地*=0.7 八戸市南郷*=0.6 八戸市湊町=0.5 五戸町古館=0.5 1 盛岡市洪民*=1.1 普代村銅屋*=1.0 久慈市川崎町=1.0 宮古市川井*=0.9 盛岡市藪川*=0.8 住田町世田米*=0.8 八幡平市田頭*=0.7 宮古市田老*=0.6 久慈市長内町*=0.5
135	30 05 37	岩手県沖 岩手県	39° 57.4' N	142° 23.8' E	37km	M: 3.7 1 宮古市田老*=0.6
136	30 12 00	岩手県沖 青森県 岩手県	40° 11.1' N	142° 17.5' E	43km	M: 3.7 1 八戸市南郷*=0.5 1 軽米町軽米*=0.6
137	30 15 14	茨城県南部 茨城県	36° 02.7' N	139° 54.7' E	45km	M: 4.0 2 土浦市藤沢*=2.4 坂東市馬立*=2.3 水戸市内原町*=2.1 桜川市岩瀬*=2.0 桜川市真壁*=2.0 土浦市常名=2.0 笠間市石井*=2.0 石岡市柿岡=2.0 笠間市下郷*=2.0 筑西市二木成*=2.0 下妻市本城町*=1.9 茨城古河市仁連*=1.9 坂東市役所*=1.9 笠間市笠間*=1.9 筑西市門井*=1.8 坂東市山*=1.8 石岡市若宮*=1.8 筑西市舟生=1.8 石岡市石岡*=1.7 下妻市鬼怒*=1.7 笠間市中央*=1.7 桜川市羽田*=1.7 茨城古河市下大野*=1.7 石岡市八郷*=1.6 つくば市小茎*=1.6 守谷市大柏*=1.6 常総市新石下*=1.6 つくばみらい市福田*=1.5 小美玉市小川*=1.5 筑西市海老ヶ島*=1.5 坂東市岩井=1.5 かすみがうら市上土田*=1.5 1 水戸市千波町*=1.4 水戸市栗崎町*=1.4 ひたちなか市南神敷台*=1.4 常陸大宮市山方*=1.4 常陸大宮市野口*=1.4 城里町石塚*=1.4 取手市寺田*=1.4 つくば市天王台*=1.4 境町旭町*=1.4 常総市北海道諏訪町*=1.4 八千代町菅谷*=1.3 常陸大宮市北町*=1.3 土浦市田中*=1.3 つくばみらい市加藤*=1.3 小美玉市堅倉*=1.2 五霞町小福田*=1.1 茨城町小堤*=1.1 かすみがうら市大和田*=1.1 つくば市研究学園*=1.1 水戸市金町=1.1 茨城古河市長谷町*=1.0 結城市中央町*=1.0 日立市助川小学校*=1.0 小美玉市上玉里*=1.0 東海村東海*=1.0 ひたちなか市東石川*=0.9 鉾田市鉾田=0.9 鉾田市汲上*=0.9 大子町池田*=0.9 常陸太田市町屋町=0.9 取手市藤代*=0.9 牛久市中央*=0.9 稲敷市江戸崎甲*=0.9 城里町阿波山*=0.8 那珂市瓜連*=0.8 高萩市安良川*=0.8 取手市井野*=0.7 行方市玉造*=0.7 鉾田市造谷*=0.7 茨城鹿嶋市鉢形=0.6 美浦村受領*=0.6 阿見町中央*=0.6 城里町徳蔵*=0.6 利根町布川=0.5 常陸大宮市高部*=0.5 龍ヶ崎市役所*=0.5 1 下野市笹原*=2.4 下野市田中*=2.2 栃木市旭町=2.2 宇都宮市明保野町=2.1 真岡市石島*=1.9 壬生町壬生甲*=1.8 茂木町茂木*=1.5 野木町丸林*=1.5 1 佐野市高砂町*=1.4 鹿沼市見望台*=1.4 真岡市田町*=1.4 真岡市荒町*=1.4 栃木市西方町本城*=1.3 芳賀町祖母井*=1.3 下野市大松山*=1.3 足利市大正町*=1.3

令和6年10月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		<p>栃木市岩舟町静* =1.2 栃木市藤岡町藤岡* =1.2 栃木市都賀町家中* =1.2 宇都宮市中里町* =1.2 栃木市万町* =1.2 上三川町しらさぎ* =1.1 日光市鬼怒川温泉大原* =1.1 宇都宮市旭* =1.0 佐野市田沼町* =1.0 栃木市大平町富田* =0.9 益子町益子* =0.9 日光市藤原庁舎* =0.9 小山市神鳥谷* =0.9 宇都宮市塙田* =0.8 市貝町市塙* =0.8 鹿沼市口栗野* =0.8 日光市足尾町通洞* =0.8 鹿沼市今宮町* =0.7 小山市中央町* =0.7 佐野市葛生東* =0.7 茂木町北高岡天矢場* =0.6 日光市黒部* =0.6 日光市芹沼* =0.6 日光市足尾町中才* =0.5 2 板倉町板倉=1.6 館林市上三林町* =1.5 1 大泉町日の出* =1.3 千代田町赤岩* =1.2 邑楽町中野* =1.2 桐生市元宿町* =1.1 桐生市新里町* =0.9 片品村鎌田* =0.8 太田市西本町* =0.8 群馬明和町新里* =0.8 沼田市西倉内町=0.8 太田市大原町* =0.7 伊勢崎市西久保町* =0.5 みどり市大間々町* =0.5 伊勢崎市東町* =0.5 館林市城町* =0.5 渋川市赤城町* =0.5</p> <p>埼玉県 2 久喜市下早見=2.1 加須市騎西* =2.0 春日部市粕壁* =1.9 久喜市鷲宮* =1.8 宮代町笠原* =1.7 川口市中青木分室* =1.6 さいたま見沼区堀崎* =1.6 さいたま浦和区高砂=1.6 さいたま北区宮原* =1.5 さいたま大宮区大門* =1.5 1 白岡市千駄野* =1.3 加須市北川辺* =1.2 久喜市青葉* =1.2 幸手市東* =1.2 吉川市きよみ野* =1.2 杉戸町清地* =1.2 さいたま南区別所* =1.2 久喜市栗橋* =1.1 春日部市谷原新田* =1.1 上尾市本町* =1.1 越谷市越ヶ谷* =1.1 桶川市泉* =1.1 三郷市中央* =1.1 さいたま西区指扇* =1.1 さいたま緑区中尾* =1.1 加須市大利根* =1.1 さいたま中央区下落合* =1.0 八潮市中央* =1.0 蓮田市黒浜* =1.0 東松山市松葉町* =1.0 さいたま大宮区天沼町* =1.0 滑川町福田* =0.9 和光市広沢* =0.9 鴻巣市中央* =0.8 さいたま浦和区常盤* =0.8 蕨市中央* =0.8 北本市本町* =0.8 熊谷市江南* =0.8 加須市三俣* =0.8 羽生市東* =0.8 川島町下八ツ林* =0.7 戸田市上戸田* =0.7 松伏町松伏* =0.7 久喜市菖蒲* =0.7 さいたま桜区道場* =0.7 長瀨町野上下郷* =0.7 行田市本丸* =0.6 川越市旭町=0.6 川口市三ツ和* =0.6 伊奈町中央* =0.6 朝霞市本町* =0.6 鴻巣市川里* =0.6 熊谷市桜町=0.6 志木市中宗岡* =0.5 熊谷市妻沼* =0.5 東松山市市ノ川* =0.5</p> <p>千葉県 2 野田市鶴奉* =2.0 野田市東宝珠花* =1.7 柏市旭町=1.6 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷* =1.6 1 市川市大町* =1.4 柏市柏* =1.3 柏市大島田* =1.1 流山市平和台* =1.1 白井市復* =1.1 松戸市西馬橋* =1.0 習志野市鷲沼* =0.8 八千代市大和田新田* =0.7 栄町安食台* =0.7 芝山町小池* =0.7 松戸市根本* =0.5</p> <p>福島県 1 いわき市三和町=0.5</p> <p>東京都 1 東京練馬区豊玉北* =1.3 東京中野区江古田* =1.1 調布市西つじヶ丘* =0.9 国分寺市戸倉=0.9 東京杉並区高井戸* =0.8 東京板橋区相生町* =0.8 東京千代田区大手町=0.7 東京中野区中野* =0.7 東京杉並区桃井* =0.7 東京足立区神明南* =0.7 東京足立区伊興* =0.7 東京文京区大塚* =0.6 東京板橋区高島平* =0.6 東京練馬区光が丘* =0.6 東京葛飾区立石* =0.6 東京豊島区南池袋* =0.5 東京北区西ヶ原* =0.5 東京練馬区東大泉* =0.5 東京江戸川区中央=0.5 西東京市中町* =0.5</p> <p>神奈川県 1 川崎麻生区片平* =1.1 川崎宮前区宮前平* =0.7 横浜瀬谷区中屋敷* =0.5</p>				
138	30 20 25	豊後水道 愛媛県 1 宇和島市丸穂* =0.9 伊方町湊浦* =0.6 八幡浜市五反田* =0.5	33° 24.7' N	132° 14.5' E	49km	M: 3.2
139	31 02 00	茨城県北部 茨城県 1 日立市助川小学校* =0.6	36° 36.0' N	140° 37.8' E	8km	M: 2.0
140	31 03 07	北海道東方沖 北海道 1 根室市瑤瑤瑠* =0.7	43° 17.0' N	147° 00.4' E	64km	M: 4.5
141	31 10 18	宮城県沖 宮城県 1 岩沼市桜* =0.5	38° 41.7' N	141° 50.0' E	70km	M: 3.6
142	31 22 12	根室半島南東沖 北海道 1 根室市瑤瑤瑠* =1.1	42° 47.0' N	146° 52.8' E	39km	M: 4.4
143	31 23 11	茨城県北部 茨城県 1 日立市助川小学校* =0.6 ひたちなか市東石川* =0.6	36° 35.8' N	140° 25.6' E	67km	M: 2.8

● 付録2. 過去1年間に震度1以上を観測した地震の最大震度別の月別回数
 〈令和5年（2023年）11月～令和6年（2024年）10月〉

	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	計	記事
令和5年（2023年）											
11月	105	34	9	4						152	トカラ列島近海（口之島・中之島付近）の地震活動 （11月中：震度4：1回、震度3：3回、震度2：2回、震度1：15回）
12月	108	35	7							150	トカラ列島近海（宝島付近）の地震活動 （12月中：震度3：1回、震度2：3回、震度1：11回）
令和6年（2024年）											
1月*	1024	425	164	47	7	8	2		1	1678	「令和6年能登半島地震」の地震活動 （1月中：震度7：1回、震度6弱：2回、震度5強：8回、震度5弱：7回、震度4：45回、震度3：159回、震度2：395回、震度1：941回）
2月	189	64	23	7						283	「令和6年能登半島地震」の地震活動 （2月中：震度4：3回、震度3：12回、震度2：34回、震度1：95回） 千葉県東方沖の地震活動 （2月中：震度4：1回、震度3：3回、震度2：3回、震度1：6回）
3月	122	58	16	8	2					206	「令和6年能登半島地震」の地震活動 （3月中：震度3：4回、震度2：17回、震度1：49回） 千葉県東方沖の地震活動 （3月中：震度4：3回、震度3：4回、震度2：12回、震度1：16回）
4月	160	56	20	4	2		1			243	2日 岩手県沿岸北部（震度5弱） 8日 大隅半島東方沖（震度5弱） 17日 豊後水道（震度6弱） （4月中：震度6弱：1回、震度4：1回、震度3：2回、震度2：15回、震度1：47回） 「令和6年能登半島地震」の地震活動 （4月中：震度3：4回、震度2：9回、震度1：32回）
5月	86	33	12	2						133	「令和6年能登半島地震」の地震活動 （5月中：震度3：2回、震度2：6回、震度1：20回） 豊後水道の地震活動 （5月中：震度3：2回、震度2：1回、震度1：10回）
6月	96	43	14	3		1				157	3日 石川県能登地方（震度5強） 「令和6年能登半島地震」の地震活動 （6月中：震度5強：1回、震度4：1回、震度3：1回、震度2：5回、震度1：27回） トカラ列島近海（小宝島付近）の地震活動 （6月中：震度3：3回、震度2：4回、震度1：9回）
7月	89	25	15	4						133	「令和6年能登半島地震」の地震活動 （7月中：震度3：1回、震度2：3回、震度1：16回）
8月	106	28	10	2	2		1			149	8日 日向灘（震度6弱） （8月中：震度6弱：1回、震度3：3回、震度2：5回、震度1：16回） 9日 神奈川県西部（震度5弱） 19日 茨城県北部（震度5弱） 「令和6年能登半島地震」の地震活動 （8月中：震度3：1回、震度2：4回、震度1：13回）
9月	98	30	6	3						137	「令和6年能登半島地震」の地震活動 （9月中：震度2：4回、震度1：14回）
10月	98	34	11							143	「令和6年能登半島地震」の地震活動 （10月中：震度2：6回、震度1：8回） 和歌山県北部の地震活動 （10月中：震度3：1回、震度2：4回、震度1：7回）
2024年計	2068	796	291	80	13	9	4	0	1	3262	
過去1年計	2281	865	307	84	13	9	4	0	1	3564	（令和5年11月～令和6年10月）

※ 2024年1月中の回数は、後日の調査で変更する場合があります。

注) 「記事」の欄には主に震度5弱以上を観測した地震、または震度1以上を10回以上観測した地震活動について記載した。

● 付録3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード（M）別の月別地震回数
 <令和5年（2023年）11月～令和6年（2024年）10月>

	M3.0 ～ M3.9	M4.0 ～ M4.9	M5.0 ～ M5.9	M6.0 ～ M6.9	M7.0 以上	計 M3.0 以上	計 M4.0 以上	記事
令和5年（2023年）								
11月	333	62	7		1	403	70	24日 マリアナ諸島（M7.5）
12月	351	83	5	1		440	89	28日 択捉島南東沖（M6.6）
令和6年（2024年）								
1月	1488	255	22	2	1	1768	280	1日16時10分 石川県能登地方（M7.6） 1日16時18分 石川県能登地方（M6.1） 9日 佐渡付近（M6.1）
2月	466	77	14	1		558	92	12日 硫黄島近海（M6.5）
3月	329	69	8			406	77	
4月	908	217	41	13	1	1180	272	2日 岩手県沿岸北部（M6.0） 3日08時58分 台湾付近（M7.7） 3日09時11分 台湾付近（M6.6） 3日09時35分 台湾付近（M6.3） 3日10時39分 台湾付近（M6.0） 3日11時14分 台湾付近（M6.0） 4日 福島県沖（M6.3） 17日 豊後水道（M6.6） 22日 台湾付近（M6.2） 23日03時26分 台湾付近（M6.7） 23日03時32分 台湾付近（M6.5） 23日05時49分 台湾付近（M6.0） 23日09時04分 台湾付近（M6.3） 27日 小笠原諸島西方沖（M6.7）
5月	430	82	5	1		518	88	10日 台湾付近（M6.5）
6月	318	84	9	1		412	94	3日 石川県能登地方（M6.0）
7月	356	89	15	1		461	105	8日 小笠原諸島西方沖（M6.4）
8月	397	82	6	2	1	488	91	8日 日向灘（M7.1） 10日 オホーツク海南部（M6.7） 16日 台湾付近（M6.1）
9月※	329	79	12			420	91	
10月	331	77	5			413	82	
2024年計	5352	1111	137	21	3	6624	1272	
過去1年計	6036	1256	149	22	4	7467	1431	（令和5年11月～令和6年10月）

※ 2024年9月中の回数には、9月24日の鳥島近海の地震（M5.8）を含む。この地震は震源決定精度がやや劣るものである。

注）日本及びその周辺：原則、北緯20～49度、東経120～154度の範囲。「記事」の欄には主にM6.0以上の地震を記載した。

● 付録4. 長周期地震動階級1以上を観測した地震

令和6年10月に長周期地震動階級*1以上を観測した地震はなかった。

平成25年3月～令和6年10月に長周期地震動階級1以上を観測した地震の月別回数

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成25年 (2013年)			1	4	1	0	0	1	1	1	1	1	11
平成26年 (2014年)	0	1	1	0	1	1	3	0	1	1	1	0	10
平成27年 (2015年)	0	3	0	1	2	0	2	0	0	0	1	0	9
平成28年 (2016年)	1	0	0	13	1	1	0	2	0	2	4	1	25
平成29年 (2017年)	1	2	0	0	0	1	2	0	1	1	0	1	9
平成30年 (2018年)	1	0	1	1	1	2	2	0	2	2	0	0	12
平成31年 /令和元年 (2019年)	1	1	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	6
令和2年 (2020年)	1	1	1	1	0	2	0	0	2	0	1	2	11
令和3年 (2021年)	0	1	1	0	2	0	0	0	1	1	0	0	6
令和4年 (2022年)	2	0	3	0	1	1	0	0	0	1	0	0	8
令和5年 (2023年)	0	1	1	0	5	1	0	1	2	0	0	0	11
令和6年 (2024年)	15	0	1	4	0	1	0	1	0	0			22

長周期地震動階級関連解説表

長周期地震動階級	人の体感・行動	室内の状況	備考
長周期地震動階級1	室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。驚く人もいる。	ブラインドなど吊り下げもの大きく揺れる。	—
長周期地震動階級2	室内で大きな揺れを感じ、物につかまりたいと感じる。物につかまらなると歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	キャスター付き什器がわずかに動く。棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。	—
長周期地震動階級3	立っていることが困難になる。	キャスター付き什器が大きく動く。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が入ることがある。
長周期地震動階級4	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされる。	キャスター付き什器が大きく動き、転倒するものがある。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が多くなる。

※ 長周期地震動階級に関する詳細は、「地震・火山月報（防災編）」令和5年12月号の付録10「長周期地震動階級関連解説表」を参照のこと。

https://www.data.jma.go.jp/egev/data/gaikyo/monthly/202312/202312furoku_10.pdf

● 付録5. 緊急地震速報の提供状況

令和6年10月に緊急地震速報（警報）を発表した地震はなかった。また、緊急地震速報（予報）を発表した回数は61回であった。

平成19年10月～令和6年10月に発表した緊急地震速報の月別回数

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成19年 (2007年)										0(48)	0(33)	0(39)	0(120)
平成20年 (2008年)	0(35)	0(41)	0(48)	1(42)	1(70)	3(75)	2(63)	0(47)	1(58)	0(46)	1(40)	0(57)	9(622)
平成21年 (2009年)	0(44)	0(39)	0(34)	0(34)	0(24)	0(54)	0(36)	2(65)	0(47)	1(44)	0(39)	0(47)	3(507)
平成22年 (2010年)	0(53)	1(44)	1(50)	0(36)	0(27)	0(35)	0(47)	0(51)	1(40)	1(50)	0(40)	1(34)	5(507)
平成23年 (2011年)	0(50)	0(74)	45(1191)	26(770)	5(425)	5(304)	5(248)	3(239)	4(188)	1(163)	2(135)	1(136)	97(3923)
平成24年 (2012年)	2(149)	3(141)	3(142)	2(128)	1(129)	3(118)	0(102)	1(107)	0(70)	0(109)	0(77)	1(134)	16(1406)
平成25年 (2013年)	0(81)	2(99)	0(53)	3(103)	0(91)	0(83)	0(102)	2(97)	1(61)	0(80)	0(93)	1(67)	9(1010)
平成26年 (2014年)	0(70)	0(70)	1(68)	0(62)	0(53)	0(57)	2(97)	1(96)	1(68)	0(84)	1(87)	0(75)	6(887)
平成27年 (2015年)	0(67)	1(88)	0(90)	1(77)	3(71)	0(84)	1(74)	0(88)	0(81)	0(92)	1(86)	0(75)	7(973)
平成28年 (2016年)	1(76)	0(71)	0(65)	20(228)	1(101)	2(89)	0(95)	0(71)	1(80)	3(92)	2(124)	1(86)	31(1178)
平成29年 (2017年)	0(77)	0(72)	0(61)	0(60)	0(52)	1(55)	1(79)	1(73)	2(52)	1(53)	0(57)	1(77)	7(768)
平成30年 (2018年)	2(64)	0(61)	1(76)	2(80)	1(52)	2(70)	1(55)	0(58)	2(158)	4(97)	1(68)	0(69)	16(908)
平成31年 /令和元年 (2019年)	1(66)	1(62)	0(63)	0(88)	1(64)	2(59)	0(59)	1(56)	0(50)	0(72)	0(56)	2(68)	8(763)
令和2年 (2020年)	1(60)	1(54)	1(60)	2(76)	4(74)	1(96)	2(59)	0(46)	1(67)	0(42)	1(43)	3(77)	17(754)
令和3年 (2021年)	0(62)	1(90)	1(75)	0(74)	1(79)	0(52)	0(80)	0(80)	1(60)	3(56)	2(60)	2(92)	11(860)
令和4年 (2022年)	2(81)	0(63)	6(150)	0(74)	2(83)	2(78)	0(49)	1(64)	0(68)	1(65)	1(66)	0(72)	15(913)
令和5年 (2023年)	1(59)	1(45)	0(56)	0(70)	12(155)	1(74)	0(49)	0(51)	1(82)	1(60)	0(61)	0(62)	17(824)
令和6年 (2024年)	20(376)	2(104)	2(82)	4(90)	0(54)	2(81)	0(68)	2(65)	0(62)	0(61)			32(1043)

※ 表中の数字は緊急地震速報（警報）の発表回数、（）内の数字は緊急地震速報（予報）の発表回数を示す。

緊急地震速報（警報及び予報）の提供には、気象庁の地震計の観測データに加え、国立研究開発法人防災科学技術研究所の地震観測データを利用している。